

別表第1（第7条関係）教育課程及び履修方法

(1) 法学部・経済学部・経営学部・外国語学部・国際日本学部・人間科学部・理学部・工学部・建築学部・化学生命学部・情報学部 共通教養科目

① 外国語科目を除く共通教養科目

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
共通基盤科目	初年次ゼミナール	F Y S	1	2		2単位	
	教養基礎演習	文章表現基礎演習	1・2・3・4		2		各学科の規定による
		教養データサイエンス	1・2・3・4		2		
	人文の分野	哲学	1・2・3・4		2	各学科の規定による	
		倫理学	1・2・3・4		2		
		宗教学	1・2・3・4		2		
		心理学	1・2・3・4		2		
		文学	1・2・3・4		2		
		日本語学	1・2・3・4		2		
		言語学	1・2・3・4		2		
		世界史	1・2・3・4		2		
		日本史	1・2・3・4		2		
		民俗学	1・2・3・4		2		
		考古学	1・2・3・4		2		
	文化人類学	1・2・3・4		2			
	社会の分野	社会学	1・2・3・4		2	各学科の規定による	
		人文地理学	1・2・3・4		2		
		国際関係概論	1・2・3・4		2		
		法学	1・2・3・4		2		
日本国憲法		1・2・3・4		2			
政治学		1・2・3・4		2			
社会心理学		1・2・3・4		2			
経済学		1・2・3・4		2			
ジェンダー論		1・2・3・4		2			
ボランティア論		1・2・3・4		2			
経営学		1・2・3・4		2			
生涯学習論		1・2・3・4		2			
◇日本事情		1・2・3・4		2			
自然の分野	基礎数学	1・2・3・4		2	各学科の規定による		
	数学	1・2・3・4		2			
	統計学	1・2・3・4		2			
	基礎物理学	1・2・3・4		2			
	物理学	1・2・3・4		2			
	基礎化学	1・2・3・4		2			
	化学	1・2・3・4		2			
	基礎生物学	1・2・3・4		2			
	生物学	1・2・3・4		2			
	教養デジタルテクノロジー	1・2・3・4		2			
	物理科学	1・2・3・4		2			
	生命科学	1・2・3・4		2			
	科学技術史	1・2・3・4		2			
	AIの実践と社会への展開	1・2・3・4		1			
人間形成の分野	キャリアデザイン	1・2・3・4		2	各学科の規定による		
	国内インターンシップ	1・2・3・4		2			
	海外インターンシップ	1・2・3・4		2			
	体験型研修	1・2・3・4		2			
	手話入門	1・2・3・4		2			
	神奈川大学の歴史	1・2・3・4		2			
	健康科学とスポーツⅠ	1・2・3・4		1			
	健康科学とスポーツⅡ	1・2・3・4		1			
	教養スポーツ	1・2・3・4		1			
	公衆衛生	1・2・3・4		2			
	芸術	1・2・3・4		2			
共通テーマ科目	現代社会と市民	社会と人間	1・2・3・4		2	各学科の規定による	
		科学技術と社会	1・2・3・4		2		
		世界の中の日本	1・2・3・4		2		
		公共の新しいかたちをもとめて	1・2・3・4		2		
		社会生活とスポーツ	1・2・3・4		2		
		環境と社会	1・2・3・4		2		
		科学の世界	1・2・3・4		2		

◇印は外国人留学生（外国高等学校在学経験者〔帰国生徒等〕を含む。）を対象とした科目を示す

② 外国語科目

授 業 科 目 の 名 称				授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間			卒 業 要 件 単 位 数
					必 修	選 択	自 由	
			□1	英語 I (基礎)	1		2	
			□1	英語 I (初級)	1		2	
			□1	英語 I (中級)	1		2	
			□1	英語 I (上級)	1		2	
			□1	英語 II (基礎)	1		2	
			□1	英語 II (初級)	1		2	
			□1	英語 II (中級)	1		2	
			□1	英語 II (上級)	1		2	
			□1	英語 III (基礎)	1・2		2	
			□1	英語 III (初級)	1・2		2	
			□1	英語 III (中級)	1・2		2	
			□1	英語 III (上級)	1・2		2	
			□1	英語 IV (基礎)	1・2		2	
			□1	英語 IV (初級)	1・2		2	
			□1	英語 IV (中級)	1・2		2	
			□1	英語 IV (上級)	1・2		2	
			□2	英語 I (Listening)	1		1	
			□2	英語 II (Listening)	1		1	
			□2	英語 I (Speaking)	1		1	
			□2	英語 II (Speaking)	1		1	
			□3	英語 I (Reading)	2		1	
			□3	英語 II (Reading)	2		1	
			□3	英語 I (Writing)	1・2		1	
			□3	英語 II (Writing)	1・2		1	
			□4	英語 I (総合)	1	2		
			□4	英語 II (総合)	1	2		
			□4	英語 III (総合)	2	2		
			□4	英語 IV (総合)	2	2		
			□5-1	英語 I (再入門)	2・3・4		1	
			□5-2	英語 II (再入門)	2・3・4		1	
			□5-3	英語 III (再入門)	2・3・4		1	
			□5-4	英語 IV (再入門)	2・3・4		1	
			□6	実用英語 I	2	1		
			□6	実用英語 II	2	1		
			□6	実用英語 III	3	1		
			□6	実用英語 IV	3	1		
			□7	科学技術英語 I	2	2		
			□7	科学技術英語 II	2	2		
			□8	英語会話 (初級 I)	1・2・3・4		1	
			□8	英語会話 (初級 II)	1・2・3・4		1	
			□8	英語会話 (中級 I)	1・2・3・4		1	
			□8	英語会話 (中級 II)	1・2・3・4		1	
			□8	英語会話 (上級 I)	1・2・3・4		1	
			□8	英語会話 (上級 II)	1・2・3・4		1	
			□8	TOEIC 演習 (初級 I)	1・2・3・4		1	
			□8	TOEIC 演習 (初級 II)	1・2・3・4		1	
			□8	TOEIC 演習 (中級 I)	1・2・3・4		1	
			□8	TOEIC 演習 (中級 II)	1・2・3・4		1	
			□8	TOEIC 演習 (上級 I)	1・2・3・4		1	
			□8	TOEIC 演習 (上級 II)	1・2・3・4		1	
			□8	TOEFL 演習 (初級 I)	1・2・3・4		1	
			□8	TOEFL 演習 (初級 II)	1・2・3・4		1	
			□8	特修英語 (中級 I)	2・3・4		1	
			□8	特修英語 (中級 II)	2・3・4		1	
			□8	特修英語 (中級 III)	2・3・4		1	
			□8	特修英語 (中級 IV)	2・3・4		1	
			□8	特修英語 (上級 I)	2・3・4		1	
			□8	特修英語 (上級 II)	2・3・4		1	
			□8	特修英語 (上級 III)	2・3・4		1	
			□8	特修英語 (上級 IV)	2・3・4		1	

各学科の規定による

共通教養科目

共通基盤科目

外国語科目

英語

授 業 科 目 の 名 称		授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間			卒 業 要 件 単 位 数
			必 修	選 択	自 由	
英 語	□9 留 学 英 語 準 備 講 座 I	1・2・3・4		2		各 学 科 の 規 定 に よ る
	□9 留 学 英 語 準 備 講 座 II	1・2・3・4		2		
	□9 留 学 英 語 準 備 講 座 III	1・2・3・4		2		
	□9 留 学 英 語 準 備 講 座 IV	1・2・3・4		2		
韓 国 語	□10 初 級 韓 国 語 I a	1・2・3・4		1		
	□10 初 級 韓 国 語 I b	1・2・3・4		1		
	□10 初 級 韓 国 語 II a	1・2・3・4		1		
	□10 初 級 韓 国 語 II b	1・2・3・4		1		
	□10 初 級 韓 国 語 III a	1・2・3・4		1		
	□10 初 級 韓 国 語 III b	1・2・3・4		1		
	□10 初 級 韓 国 語 IV a	1・2・3・4		1		
	□10 初 級 韓 国 語 IV b	1・2・3・4		1		
	□10 中 級 韓 国 語 I a	1・2・3・4		1		
	□10 中 級 韓 国 語 I b	1・2・3・4		1		
	□10 中 級 韓 国 語 II a	1・2・3・4		1		
	□10 中 級 韓 国 語 II b	1・2・3・4		1		
	□10 中 級 韓 国 語 III a	1・2・3・4		1		
	□10 中 級 韓 国 語 III b	1・2・3・4		1		
	□10 中 級 韓 国 語 IV a	1・2・3・4		1		
	□10 中 級 韓 国 語 IV b	1・2・3・4		1		
	□10 上 級 韓 国 語 I	2・3・4		1		
	□10 上 級 韓 国 語 II	2・3・4		1		
	□10 上 級 韓 国 語 III	2・3・4		1		
	□10 上 級 韓 国 語 IV	2・3・4		1		
□10 特 修 韓 国 語 I	1・2・3・4		1			
□10 特 修 韓 国 語 II	2・3・4		1			
ス ペ イ ン 語	□10 初 級 ス ペ イ ン 語 I a	1・2・3・4		1		
	□10 初 級 ス ペ イ ン 語 I b	1・2・3・4		1		
	□10 初 級 ス ペ イ ン 語 II a	1・2・3・4		1		
	□10 初 級 ス ペ イ ン 語 II b	1・2・3・4		1		
	□10 初 級 ス ペ イ ン 語 III a	1・2・3・4		1		
	□10 初 級 ス ペ イ ン 語 III b	1・2・3・4		1		
	□10 初 級 ス ペ イ ン 語 IV a	1・2・3・4		1		
	□10 初 級 ス ペ イ ン 語 IV b	1・2・3・4		1		
	□10 中 級 ス ペ イ ン 語 I a	1・2・3・4		1		
	□10 中 級 ス ペ イ ン 語 I b	1・2・3・4		1		
	□10 中 級 ス ペ イ ン 語 II a	1・2・3・4		1		
	□10 中 級 ス ペ イ ン 語 II b	1・2・3・4		1		
	□10 中 級 ス ペ イ ン 語 III a	1・2・3・4		1		
	□10 中 級 ス ペ イ ン 語 III b	1・2・3・4		1		
	□10 中 級 ス ペ イ ン 語 IV a	1・2・3・4		1		
	□10 中 級 ス ペ イ ン 語 IV b	1・2・3・4		1		
	□10 上 級 ス ペ イ ン 語 I	2・3・4		1		
	□10 上 級 ス ペ イ ン 語 II	2・3・4		1		
	□10 上 級 ス ペ イ ン 語 III	2・3・4		1		
	□10 上 級 ス ペ イ ン 語 IV	2・3・4		1		
□10 特 修 ス ペ イ ン 語 I	1・2・3・4		1			
□10 特 修 ス ペ イ ン 語 II	2・3・4		1			
中 国 語	□10 初 級 中 国 語 I a	1・2・3・4		1		
	□10 初 級 中 国 語 I b	1・2・3・4		1		
	□10 初 級 中 国 語 II a	1・2・3・4		1		
	□10 初 級 中 国 語 II b	1・2・3・4		1		
	□10 初 級 中 国 語 III a	1・2・3・4		1		
	□10 初 級 中 国 語 III b	1・2・3・4		1		
	□10 初 級 中 国 語 IV a	1・2・3・4		1		
	□10 初 級 中 国 語 IV b	1・2・3・4		1		
	□10 中 級 中 国 語 I a	1・2・3・4		1		
	□10 中 級 中 国 語 I b	1・2・3・4		1		
	□10 中 級 中 国 語 II a	1・2・3・4		1		
	□10 中 級 中 国 語 II b	1・2・3・4		1		
	□10 中 級 中 国 語 III a	1・2・3・4		1		
	□10 中 級 中 国 語 III b	1・2・3・4		1		
	□10 中 級 中 国 語 IV a	1・2・3・4		1		
	□10 中 級 中 国 語 IV b	1・2・3・4		1		
	□10 上 級 中 国 語 I	2・3・4		1		
	□10 上 級 中 国 語 II	2・3・4		1		
	□10 上 級 中 国 語 III	2・3・4		1		
	□10 上 級 中 国 語 IV	2・3・4		1		
□10 特 修 中 国 語 I	1・2・3・4		1			
□10 特 修 中 国 語 II	2・3・4		1			

共 通 教 養 科 目

共 通 基 盤 科 目

外 国 語 科 目

授 業 科 目 の 名 称		授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間			卒 業 要 件 単 位 数	
			必 修	選 択	自 由		
共通教養科目	共通基盤科目	外国語科目	ドイツ語	<input type="checkbox"/> 10 初級ドイツ語 I a	1・2・3・4	1	各学科の規定による
				<input type="checkbox"/> 10 初級ドイツ語 I b	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 初級ドイツ語 II a	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 初級ドイツ語 II b	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 初級ドイツ語 III a	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 初級ドイツ語 III b	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 初級ドイツ語 IV a	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 初級ドイツ語 IV b	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 中級ドイツ語 I a	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 中級ドイツ語 I b	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 中級ドイツ語 II a	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 中級ドイツ語 II b	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 中級ドイツ語 III a	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 中級ドイツ語 III b	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 中級ドイツ語 IV a	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 中級ドイツ語 IV b	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 上級ドイツ語 I	2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 上級ドイツ語 II	2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 上級ドイツ語 III	2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 上級ドイツ語 IV	2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 特修ドイツ語 I	1・2・3・4	1	
			<input type="checkbox"/> 10 特修ドイツ語 II	2・3・4	1		
			フランス語	<input type="checkbox"/> 10 初級フランス語 I a	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 初級フランス語 I b	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 初級フランス語 II a	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 初級フランス語 II b	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 初級フランス語 III a	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 初級フランス語 III b	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 初級フランス語 IV a	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 初級フランス語 IV b	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 中級フランス語 I a	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 中級フランス語 I b	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 中級フランス語 II a	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 中級フランス語 II b	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 中級フランス語 III a	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 中級フランス語 III b	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 中級フランス語 IV a	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 中級フランス語 IV b	1・2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 上級フランス語 I	2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 上級フランス語 II	2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 上級フランス語 III	2・3・4	1	
				<input type="checkbox"/> 10 上級フランス語 IV	2・3・4	1	
<input type="checkbox"/> 10 特修フランス語 I	1・2・3・4	1					
<input type="checkbox"/> 10 特修フランス語 II	2・3・4	1					
ロシア語	<input type="checkbox"/> 10 初級ロシア語 I a	1・2・3・4	1				
	<input type="checkbox"/> 10 初級ロシア語 I b	1・2・3・4	1				
	<input type="checkbox"/> 10 初級ロシア語 II a	1・2・3・4	1				
	<input type="checkbox"/> 10 初級ロシア語 II b	1・2・3・4	1				
	<input type="checkbox"/> 10 初級ロシア語 III a	1・2・3・4	1				
	<input type="checkbox"/> 10 初級ロシア語 III b	1・2・3・4	1				
	<input type="checkbox"/> 10 初級ロシア語 IV a	1・2・3・4	1				
	<input type="checkbox"/> 10 初級ロシア語 IV b	1・2・3・4	1				
	<input type="checkbox"/> 10 中級ロシア語 I a	1・2・3・4	1				
	<input type="checkbox"/> 10 中級ロシア語 I b	1・2・3・4	1				
	<input type="checkbox"/> 10 中級ロシア語 II a	1・2・3・4	1				
	<input type="checkbox"/> 10 中級ロシア語 II b	1・2・3・4	1				
	<input type="checkbox"/> 10 中級ロシア語 III a	1・2・3・4	1				
	<input type="checkbox"/> 10 中級ロシア語 III b	1・2・3・4	1				
	<input type="checkbox"/> 10 中級ロシア語 IV a	1・2・3・4	1				
	<input type="checkbox"/> 10 中級ロシア語 IV b	1・2・3・4	1				
	<input type="checkbox"/> 10 上級ロシア語 I	2・3・4	1				
	<input type="checkbox"/> 10 上級ロシア語 II	2・3・4	1				
	<input type="checkbox"/> 10 上級ロシア語 III	2・3・4	1				
	<input type="checkbox"/> 10 上級ロシア語 IV	2・3・4	1				
	<input type="checkbox"/> 10 特修ロシア語 I	1・2・3・4	1				
<input type="checkbox"/> 10 特修ロシア語 II	2・3・4	1					

授 業 科 目 の 名 称				授業を行う年次	単位数又は時間			卒業要件 単位数
					必修	選択	自由	
共通 教養 科目	共通 基盤 科目	外国 語科 目	日 本 語	* 日本語 I a	1・2・3・4		1	各 学 科 の 規 定 に よ る
				* 日本語 I b	1・2・3・4		1	
				* 日本語 II a	1・2・3・4		1	
				* 日本語 II b	1・2・3・4		1	
				* 日本語 III a	1・2・3・4		1	
				* 日本語 III b	1・2・3・4		1	
				* 日本語 IV a	1・2・3・4		1	
				* 日本語 IV b	1・2・3・4		1	
				* 日本語演習 I	2・3・4		1	
				* 日本語演習 II	2・3・4		1	
				* 日本語演習 III	2・3・4		1	
				☆ 日本語特別演習 (基礎) A I	1・2・3・4		1	
				☆ 日本語特別演習 (基礎) A II	1・2・3・4		1	
				☆ 日本語特別演習 (作文) A I	1・2・3・4		1	
				☆ 日本語特別演習 (作文) A II	1・2・3・4		1	
				☆ 日本語特別演習 (応用) A I	1・2・3・4		1	
				☆ 日本語特別演習 (応用) A II	1・2・3・4		1	
				☆ 日本語特別演習 (知識) A I	1・2・3・4		1	
				☆ 日本語特別演習 (知識) A II	1・2・3・4		1	
				☆ 日本語特別演習 (理解) A I	1・2・3・4		1	
☆ 日本語特別演習 (理解) A II	1・2・3・4		1					

- 1 1印は、経営学部、理学部を対象とした習熟度別クラス英語
- 2 2印は、法学部、経済学部、外国語学部（英語英文学科を除く）、国際
日本学部、人間科学部、工学部（応用物理学科を除く）、建築学部、
化学生命学部、情報学部を対象とした習熟度別クラス英語
- 3 3印は、法学部、経済学部、外国語学部（英語英文学科を除く）、国際
日本学部、人間科学部、電気電子情報工学科、建築学部、計算機科学科、
先端情報領域プログラムを対象とした習熟度別クラス英語
- 4 4印は、応用物理学科を対象とした習熟度別クラス英語
- 5 5-1印は、「英語 I (Listening)」、「英語 II (Listening)」の再履修科目
 5-2印は、「英語 I (Speaking)」、「英語 II (Speaking)」の再履修科目
 5-3印は、「英語 I (Reading)」、「英語 II (Reading)」の再履修科目
 5-4印は、「英語 I (Writing)」、「英語 II (Writing)」の再履修科目
- 6 6印は、機械工学科、経営工学科、システム数理学科を対象とした
クラス英語
- 7 7印は、化学生命学部を対象としたクラス英語
- 8 8印は、選択英語であり、全学部（英語英文学科を除く）を対象とした科目
- 9 9印は、選択英語であり、全学部を対象とした科目
ただし、プレイスメントテスト上位者等から選抜され受講を希望する者が
対象
- 10 10印は、全学部を対象とした科目
ただし、「スペイン語」はスペイン語学科を、「中国語」は中国語学科を除く
「初級韓国語Ⅲa・Ⅲb・Ⅳa・Ⅳb」、「初級スペイン語Ⅲa・Ⅲb・Ⅳa・Ⅳb」、
「初級中国語Ⅲa・Ⅲb・Ⅳa・Ⅳb」、「初級ドイツ語Ⅲa・Ⅲb・Ⅳa・Ⅳb」、
「初級フランス語Ⅲa・Ⅲb・Ⅳa・Ⅳb」、「初級ロシア語Ⅲa・Ⅲb・Ⅳa・Ⅳb」
は理学部、工学部、建築学部、化学生命学部、情報学部を除く
- 11 *印は、外国人留学生〔外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）を含む〕
（国際文化交流学科を除く）を対象とした科目
- 12 ☆印は、受入交換留学生を対象とした科目
- 13 視覚・聴覚障がい等のために必修の英語科目の受講が困難な者には、他の
英語科目で代替することができる

(2) 法学部 法律学科 専攻科目

① 法律職コース

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
A群科目	憲法	I		2		28単位以上	
	民法	II		2			
	民事訴訟法	I		2			
	刑事訴訟法	I		2			
	民法基礎	A		4			
	民法基礎	B		4			
	民法基礎	C		4			
	憲法	III		2			
	憲法	IV		2			
	刑法	I		2			
	刑法	II		2			
	刑法	III		2			
	刑法	IV		2			
	行政法	I		2			
	行政法	II		2			
	民法応用	A		2			
	民法応用	B		2			
	民法応用	C		2			
	家族法	I		2			
	家族法	II		2			
民事訴訟法	I		2				
民事訴訟法	II		2				
民事訴訟法	I		2				
民事訴訟法	II		2				
B群科目	法学部入門演習	I		2		28単位以上	
	政治学	I		2			
	企業法	I		2			
	法学部基礎演習	I		2			
	法学部基礎演習	II		2			
	自治体法	I		2			
	自治体法	II		2			
	環境法	I		2			
	環境法	II		2			
	環境法	I		2			
	環境法	II		2			
	本学行政学	I		2			
	本学行政学	II		2			
	日本政治	I		2			
	日本政治	II		2			
	国際法	I		2			
	国際法	II		2			
	国際政治学	I		2			
	国際政治学	II		2			
	憲法論点研究	I		3			
	憲法論点研究	II		3			
	少年法	I		2			
	少年法	II		2			
	刑事政策	I		2			
	刑事政策	II		2			
	税法	I		2			
	税法	II		2			
	社会保険法	I		2			
	社会保険法	II		2			
	防災行政とまちづくり	I		2			
	防災行政とまちづくり	II		2			
	防災行政とまちづくり	I		2			
防災行政とまちづくり	II		2				
労働法	I		2				
労働法	II		2				
民事執行法	I		2				
民事執行法	II		2				
倒産処理	I		2				
倒産処理	II		2				
国際協力論	I		2				
国際協力論	II		2				

専攻科目から86単位以上

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数		
			必修	選択	自由			
専攻科目	C群科目	法律学特講 C	3		2			
		法律学特講 D	3		2			
		政治学特講 IV	3		2			
		政治学特講 V	3		2			
		行政学特講 I	3		2			
		行政学特講 II	3		2			
		手形・小切手法	4		2			
		法政治学英語特講 I	1・2		2			
		法政治学英語特講 II	1・2		2			
		法政治学英語特講 III	1・2		2			
		法政治学英語特講 IV	1・2		2			
		法政治学英語特講 V	1・2		2			
		法政治学英語特講 VI	1・2		2			
		法律学特修 I	2		2			
		法律学特修 II	2		2			
		Global Perspective Program 特修	2		2			
		警察官実務特修 I	2		2			
		自治体実務特修 I	2		2			
		自治体実務特修 II	2		2			
		法律学特修 III	3・4		2			
		法律学特修 IV	3・4		2			
		法律学特修 V	3・4		2			
		法律学特修 VI	3・4		2			
		警察官実務特修 II	3・4		2			
		警察官実務特修 III	3・4		2			
		警察官実務特修 IV	3・4		2			
		自治体実務特修 III	3・4		2			
		自治体実務特修 IV	3・4		2			
		企業法務実務特修 I	3・4		2			
		企業法務実務特修 II	3・4		2			
専攻科目	関連科目	情報処理論 I	1・2・3・4		2		C群科目及び関連科目から30単位以上	専攻科目から86単位以上
		情報処理論 II	1・2・3・4		2			
		日本史概論 I	1・2・3・4		2			
		日本史概論 II	1・2・3・4		2			
		外国史概論 I	1・2・3・4		2			
		外国史概論 II	1・2・3・4		2			
		人文地理学概論 I	1・2・3・4		2			
		人文地理学概論 II	1・2・3・4		2			
		経済地理学概論 I	1・2・3・4		2			
		経済地理学概論 II	1・2・3・4		2			
		自然地理学概論 I	1・2・3・4		2			
		自然地理学概論 II	1・2・3・4		2			
		社会学概論 I	1・2・3・4		2			
		社会学概論 II	1・2・3・4		2			
		哲学概論 I	1・2・3・4		2			
		哲学概論 II	1・2・3・4		2			
		ミクロ経済学 I	1・2・3・4		4			
		日本経済史 I	1・2・3・4		2			
		日本経済史 II	1・2・3・4		2			
		世界経済論 I	1・2・3・4		2			
		世界経済論 II	1・2・3・4		2			
		マクロ経済学 I	1・2・3・4		4			
		マクロ経済学 II	1・2・3・4		4			
		マナーケテイング I	1・2・3・4		2			
		マナーケテイング II	1・2・3・4		2			
		社会経済政策 I	1・2・3・4		4			
		社会経済政策 II	1・2・3・4		4			
		西洋経済史 I	1・2・3・4		2			
		西洋経済史 II	1・2・3・4		2			
		西財政治学 I	1・2・3・4		2			
西財政治学 II	1・2・3・4		2					
金融融論 I	1・2・3・4		4					
金融融論 II	1・2・3・4		4					
経営学総論 I	1・2・3・4		2					
経営学総論 II	1・2・3・4		2					
社経学思想史 I	1・2・3・4		2					
社経学思想史 II	1・2・3・4		2					
税務會計論 I	1・2・3・4		2					
税務會計論 II	1・2・3・4		2					
税務會計論 III	1・2・3・4		2					

〔履修要件〕

- 1 1・2年次は、上位年次の授業科目(関連科目を除く)を履修することはできない。
- 2 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 3 科目によっては履修資格や人数が制限される場合があるので注意すること。
- 4 共通教養科目の「日本国憲法」は、教職課程本登録者のみ履修することができる。
- 5 各セメスターにおいて履修登録できる単位数は、22単位以内とする。
- 6 長期履修学生制度適用者が各セメスターにおいて履修登録できる単位数は、16単位以内とする。
- 7 通年科目を履修する場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する。
- 8 各種課程に関する科目及び教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等(各教科の指導法を含む)」の単位数は、上記5・6の制限の枠外とする。
- 9 「Global Perspective Program」受講者は○印の科目を2年次に履修することを認める。
- 10 「法学部基礎演習Ⅰ」は1年次、「法学部基礎演習Ⅱ」は2年次に履修するものとする。ただし、特別に担当教員及び法学部長の許可を得た者は、この限りではない。

〔コース制〕

- 1 2年次当初に「法律職コース」、「ビジネス法コース」、「現代社会コース」のうち、いずれかのコースを選択しなければならない。
- 2 コースの変更を希望する者は、3年次当初または4年次当初に「コース変更届」を提出すること。年度途中での変更は認めない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔法律学科卒業要件〕

共通教養科目								専攻科目				自由 選択 科目	合 計		
共通基盤科目							共通テーマ 科目	A 群	B 群	C 群	関 連 科 目			専 攻 科 目 合 計	
初 年 次 ゼ ミ ナ ー ル	外 国 語 科 目 (英 語)	教 養 基 礎 演 習	人 文 の 分 野	社 会 の 分 野	自 然 の 分 野	人 間 形 成 の 分 野	現 代 社 会 と 市 民					共通 教 養 科 目 合 計			
2	8		4	4	4	2	2	32	28	28	30	86	6	124	
		6													

- 1 4年以上(長期履修学生制度適用者については6年以上)在学し、学則所定の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。
- 2 共通教養科目については、次の単位を含めて32単位以上修得すること。
 - (1)初年次ゼミナール2単位(必修)。
 - (2)「外国語科目」から「英語」を8単位以上。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者(帰国生徒等)は申請により、「英語」に換えて4~6単位を「日本語」とすることができる。なお、8単位に不足する単位は「英語」で補うものとする。
 - (3)人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上。
 - (4)人間形成の分野から2単位以上。
 - (5)「共通テーマ科目」から2単位以上。
 - (6)教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
 - (7)人間形成の分野のうち「キャリアデザイン」、「国内インターンシップ」及び「海外インターンシップ」の単位は、卒業要件単位としては計2単位までしか算入できない。
- 3 専攻科目から次の内訳で計86単位以上修得すること。
 - (1)A群から28単位以上修得すること。
 - (2)B群から28単位以上修得すること。

(3) C群及び関連科目から30単位以上修得すること。

なお、A群の「卒業要件単位数」を超える単位はB群に換算できる。また、換算した単位を含めてB群の「卒業要件単位数」を超える単位はC群に換算できる。

4 自由選択科目の単位として、6単位以上修得すること。自由選択科目の単位として算入できるものは、次のとおりとする。

(1) 共通教養科目・専攻科目の各「卒業要件単位数」を超える単位。

(2) 自治行政学科・他学部開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目は履修することができない。

(3) 教職課程本登録者が修得した教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。ただし、6単位を上限とする。

授 業 科 目 の 名 称		授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			卒 業 要 件 単 位 数	
			必 修	選 択	自 由		
専 攻 科 目	関連科目	情報	I	1・2・3・4	2		
		報 報	II	1・2・3・4	2		
		本 本	I	1・2・3・4	2		
		日 日	II	1・2・3・4	2		
		外 外	I	1・2・3・4	2		
		経 経	II	1・2・3・4	2		
		人 人	I	1・2・3・4	2		
		自 自	II	1・2・3・4	2		
		地 地	I	1・2・3・4	2		
		社 社	II	1・2・3・4	2		
		哲 哲	I	1・2・3・4	2		
		ミ 日	II	1・2・3・4	2		
		日 世	I	1・2・3・4	2		
		マ 世	II	1・2・3・4	2		
		マ 一	I	1・2・3・4	4		
		マ 一	II	1・2・3・4	2		
		財 計	I	1・2・3・4	2		
		会 計	II	1・2・3・4	2		
		経 政	I	1・2・3・4	4		
		社 史	II	1・2・3・4	2		
		社 史	I	1・2・3・4	2		
		西 史	II	1・2・3・4	2		
		財 学	I	1・2・3・4	2		
		財 学	II	1・2・3・4	2		
		金 融	I	1・2・3・4	4		
		税 計	II	1・2・3・4	2		
		社 論	I	1・2・3・4	4		
		経 論	II	1・2・3・4	2		

C群科目及び
関連科目
から30単位
以上

専攻科目か
ら86単位以
上

〔履修要件〕

- 1 1・2年次は、上位年次の授業科目(関連科目を除く)を履修することはできない。
- 2 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 3 科目によっては履修資格や人数が制限される場合があるので注意すること。
- 4 共通教養科目の「日本国憲法」は、教職課程本登録者のみ履修することができる。
- 5 各セメスターにおいて履修登録できる単位数は、22単位以内とする。
- 6 長期履修学生制度適用者が各セメスターにおいて履修登録できる単位数は、16単位以内とする。
- 7 通年科目を履修する場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する。
- 8 各種課程に関する科目及び教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等(各教科の指導法を含む)」の単位数は、上記5・6の制限の枠外とする。
- 9 「Global Perspective Program」受講者は○印の科目を2年次に履修することを認める。
- 10 「法学部基礎演習Ⅰ」は1年次、「法学部基礎演習Ⅱ」は2年次で履修するものとする。ただし、特別に担当教員及び法学部長の許可を得た者は、この限りではない。

〔コース制〕

- 1 2年次当初に「法律職コース」、「ビジネス法コース」、「現代社会コース」のうち、いずれかのコースを選択しなければならない。
- 2 コースの変更を希望する者は、3年次当初または4年次当初に「コース変更届」を提出すること。年度途中での変更は認めない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔法律学科卒業要件〕

共通教養科目								専攻科目				自由 選択 科目	合 計	
共通基盤科目						共通テーマ 科目	A 群	B 群	C 群	関 連 科 目	専 攻 科 目 合 計			
初 年 次 ゼ ミ ナ ー ル	外 国 語 科 目 (英 語)	教 養 基 礎 演 習	人 文 の 分 野	社 会 の 分 野	自 然 の 分 野	人 間 形 成 の 分 野						現 代 社 会 と 市 民		
2	8		4	4	4	2	2	32	28	28	30	86	6	124
		6												

- 1 4年以上(長期履修学生制度適用者については6年以上)在学し、学則所定の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。
- 2 共通教養科目については、次の単位を含めて32単位以上修得すること。
 - (1)初年次ゼミナール2単位(必修)。
 - (2)「外国語科目」から「英語」を8単位以上。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者(帰国生徒等)は申請により、「英語」に換えて4~6単位を「日本語」とすることができる。なお、8単位に不足する単位は「英語」で補うものとする。
 - (3)人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上。
 - (4)人間形成の分野から2単位以上。
 - (5)「共通テーマ科目」から2単位以上。
 - (6)教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
 - (7)人間形成の分野のうち「キャリアデザイン」、「国内インターンシップ」及び「海外インターンシップ」の単位は、卒業要件単位としては計2単位までしか算入できない。
- 3 専攻科目から次の内訳で計86単位以上修得すること。
 - (1)A群から28単位以上修得すること。
 - (2)B群から28単位以上修得すること。

(3) C群及び関連科目から30単位以上修得すること。

なお、A群の「卒業要件単位数」を超える単位はB群に換算できる。また、換算した単位を含めてB群の「卒業要件単位数」を超える単位はC群に換算できる。

4 自由選択科目の単位として、6単位以上修得すること。自由選択科目の単位として算入できるものは、次のとおりとする。

(1) 共通教養科目・専攻科目の各「卒業要件単位数」を超える単位。

(2) 自治行政学科・他学部開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目は履修することができない。

(3) 教職課程本登録者が修得した教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。ただし、6単位を上限とする。

③ 現代社会コース

	授 業 科 目 の 名 称	授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			卒 業 要 件 単 位 数		
			必 修	選 択	自 由			
専 攻 科 目	A群科目	憲法	I			28単位以上		
		民法	II					
		行政法	II					
		労働法	I					
		社会法	I					
		憲法	A					
		民法	B					
		行政法	C					
		労働法	III					
		社会法	IV					
		憲法	I					
		民法	II					
		行政法	I					
		労働法	II					
		社会法	I					
	B群科目	法社会学	I			28単位以上		
		法社会学	II					
		法社会学	III					
		法社会学	IV					
		法社会学	I					
		法社会学	II					
		法社会学	III					
		法社会学	IV					
		法社会学	I					
		法社会学	II					
		法社会学	III					
		法社会学	IV					
		法社会学	I					
		法社会学	II					
		法社会学	III					
		法社会学	IV					
		C群科目	法社会学	I				C群科目及び 関連科目から30単位以上
			法社会学	II				
法社会学	III							
法社会学	IV							
法社会学	I							
法社会学	II							
法社会学	III							
法社会学	IV							
法社会学	I							
法社会学	II							

授 業 科 目 の 名 称		授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			卒 業 要 件 単 位 数	
			必 修	選 択	自 由		
C 群 科 目	法 律 学 特 修 I	2				C 群 科 目 及 び 関 連 科 目 か ら 30 単 位 以 上	専 攻 科 目 か ら 86 単 位 以 上
	法 律 学 特 修 II	2					
	Global Perspective Program 特修	2					
	警 察 官 実 務 特 修 I	2					
	自 治 治 体 実 務 特 修 I	2					
	自 治 治 体 実 務 特 修 II	2					
	法 律 学 特 修 III	3・4					
	法 律 学 特 修 IV	3・4					
	法 律 学 特 修 V	3・4					
	法 律 学 特 修 VI	3・4					
	警 察 官 実 務 特 修 II	3・4					
	警 察 官 実 務 特 修 III	3・4					
	自 治 治 体 実 務 特 修 IV	3・4					
	自 治 治 体 実 務 特 修 IV	3・4					
	企 業 法 務 実 務 特 修 I	3・4					
	企 業 法 務 実 務 特 修 II	3・4					
専 攻 科 目	関 連 科 目	情 報 処 理 I	1・2・3・4				
		情 報 処 理 II	1・2・3・4				
		日 本 史 概 論 I	1・2・3・4				
		日 本 史 概 論 II	1・2・3・4				
		外 国 史 概 論 I	1・2・3・4				
		外 国 史 概 論 II	1・2・3・4				
		経 済 地 理 I	1・2・3・4				
		経 済 地 理 II	1・2・3・4				
		人 文 地 理 学 概 論 I	1・2・3・4				
		人 文 地 理 学 概 論 II	1・2・3・4				
		自 然 地 理 学 概 論 I	1・2・3・4				
		自 然 地 理 学 概 論 II	1・2・3・4				
		社 会 学 概 論 I	1・2・3・4				
		社 会 学 概 論 II	1・2・3・4				
		哲 学 概 論 I	1・2・3・4				
		哲 学 概 論 II	1・2・3・4				
		世 界 経 済 論 I	1・2・3・4				
		日 本 経 済 論 I	1・2・3・4				
		日 本 経 済 史 I	1・2・3・4				
		日 本 経 済 史 II	1・2・3・4				
		マ ク ロ 経 済 学 I	1・2・3・4				
		マ ク ロ 経 済 学 II	1・2・3・4				
		社 会 營 業 学 概 論 I	1・2・3・4				
		社 会 營 業 学 概 論 II	1・2・3・4				
		経 済 政 策 I	1・2・3・4				
		経 済 政 策 II	1・2・3・4				
		社 会 思 想 史 I	1・2・3・4				
		社 会 思 想 史 II	1・2・3・4				
		西 洋 経 済 史 I	1・2・3・4				
		西 洋 経 済 史 II	1・2・3・4				
		財 政 学 I	1・2・3・4				
		財 政 学 II	1・2・3・4				
財 政 融 合 論 I	1・2・3・4						
財 政 融 合 論 II	1・2・3・4						
マ マ 税 務 計 画 I	1・2・3・4						
マ マ 税 務 計 画 II	1・2・3・4						
マ マ 税 務 計 画 III	1・2・3・4						
マ マ 税 務 計 画 IV	1・2・3・4						

〔履修要件〕

- 1 1・2年次は、上位年次の授業科目(関連科目を除く)を履修することはできない。
- 2 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 3 科目によっては履修資格や人数が制限される場合があるので注意すること。
- 4 共通教養科目の「日本国憲法」は、教職課程本登録者のみ履修することができる。
- 5 各セメスターにおいて履修登録できる単位数は、22単位以内とする。
- 6 長期履修学生制度適用者が各セメスターにおいて履修登録できる単位数は、16単位以内とする。
- 7 通年科目を履修する場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する。
- 8 各種課程に関する科目及び教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等(各教科の指導法を含む)」の単位数は、上記5・6の制限の枠外とする。
- 9 「Global Perspective Program」受講者は○印の科目を2年次に履修することを認める。
- 10 「法学部基礎演習Ⅰ」は1年次、「法学部基礎演習Ⅱ」は2年次で履修するものとする。ただし、特別に担当教員及び法学部長の許可を得た者は、この限りではない。

〔コース制〕

- 1 2年次当初に「法律職コース」、「ビジネス法コース」、「現代社会コース」のうち、いずれかのコースを選択しなければならない。
- 2 コースの変更を希望する者は、3年次当初または4年次当初に「コース変更届」を提出すること。年度途中での変更は認めない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔法律学科卒業要件〕

共通教養科目								専攻科目				自由 選択 科目	合 計		
共通基盤科目						共通テーマ 科目	A 群	B 群	C 群	関 連 科 目	専 攻 科 目 合 計				
初 年 次 ゼ ミ ナ ー ル	外 国 語 科 目 (英 語)	教 養 基 礎 演 習	人 文 の 分 野	社 会 の 分 野	自 然 の 分 野	人 間 形 成 の 分 野						現 代 社 会 と 市 民			
2	8		4	4	4	2	2	32	28	28	30	86	6	124	
		6													

- 1 4年以上(長期履修学生制度適用者については6年以上)在学し、学則所定の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。
- 2 共通教養科目については、次の単位を含めて32単位以上修得すること。
 - (1)初年次ゼミナール2単位(必修)。
 - (2)「外国語科目」から「英語」を8単位以上。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者(帰国生徒等)は申請により、「英語」に換えて4~6単位を「日本語」とすることができる。なお、8単位に不足する単位は「英語」で補うものとする。
 - (3)人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上。
 - (4)人間形成の分野から2単位以上。
 - (5)「共通テーマ科目」から2単位以上。
 - (6)教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
 - (7)人間形成の分野のうち「キャリアデザイン」、「国内インターンシップ」及び「海外インターンシップ」の単位は、卒業要件単位としては計2単位までしか算入できない。
- 3 専攻科目から次の内訳で計86単位以上修得すること。
 - (1)A群から28単位以上修得すること。
 - (2)B群から28単位以上修得すること。

(3) C群及び関連科目から30単位以上修得すること。

なお、A群の「卒業要件単位数」を超える単位はB群に換算できる。また、換算した単位を含めてB群の「卒業要件単位数」を超える単位はC群に換算できる。

4 自由選択科目の単位として、6単位以上修得すること。自由選択科目の単位として算入できるものは、次のとおりとする。

(1) 共通教養科目・専攻科目の各「卒業要件単位数」を超える単位。

(2) 自治行政学科・他学部開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目は履修することができない。

(3) 教職課程本登録者が修得した教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。ただし、6単位を上限とする。

(3) 法学部 自治行政学科 専攻科目

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数		
			必修	選択	自由			
A群科目	憲法	I		2		28単位以上		
	民法	II		2				
	行政法	I		2				
	政治学	I		2				
	民法	A		4				
	民法	B		4				
	民法	C		4				
	憲法	III		2				
	憲法	IV		2				
	自治	I		2				
	自治	II		2				
	環境	I		2				
	環境	II		2				
	本用	行政学		2				
	行政	行政学		2				
	行政	I		3				
	行政	II		3				
	社会	I		3				
	社会	II		3				
	地方	I		3				
	地方	II		3				
	公共	II		3				
	公共	III		3				
	B群科目	法学部	入門		2			28単位以上
		法学部	入門		2			
		法学部	基礎		2			
		法学部	基礎		2			
		刑法	I		2			
		刑法	II		2			
		日本	I		2			
		日本	II		2			
		比較	政治学		2			
		比較	政治学		2			
国際		I		2				
国際		II		2				
国際		I		2				
国際		II		2				
経済		入門		2				
消費		入門		2				
環境		行政特論		2				
刑事		III		3				
刑事		IV		3				
捜査		法		3				
税務		法		3				
労働		法		3				
労働		I		3				
労働		II		3				
防災		行政とまちづくり		3				
防災		行政とまちづくり		3				
公務		法		3				
公務		法		3				
都市		策論		3				
都市		策論		3				
国際		協		3				
国際		協		3				
アジア		政治		3				
アジア	政治		3					
ヨーロッパ	政治		3					
ヨーロッパ	政治		3					
西洋	政治		3					
西洋	政治		3					
まち	づくり		3					

授業科目の名称		授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専攻科目	C群科目	国際法 III	3				
		国際法 IV	3				
		国際取引法 I	3				
		国際取引法 II	3				
		国際私法 I	3				
		国際私法 II	3				
		法律学特講 C	3				
		法律学特講 D	3				
		法律学特講 E	4				
		政治学英語特講 I	1・2				
		政治学英語特講 II	1・2				
		政治学英語特講 III	1・2				
		政治学英語特講 IV	1・2				
		政治学英語特講 V	1・2				
		政治学英語特講 VI	1・2				
		Global Perspective Program特修	2				
		警察官実務特修 I	2				
		自治体実務特修 I	2				
		自治体実務特修 II	2				
		法律学特修 I	2				
	法律学特修 II	2					
	法律学特修 III	3・4					
	法律学特修 IV	3・4					
	法律学特修 V	3・4					
	法律学特修 VI	3・4					
	警察官実務特修 II	3・4					
	警察官実務特修 III	3・4					
	警察官実務特修 IV	3・4					
	警察官実務特修 III	3・4					
	警察官実務特修 IV	3・4					
	企業法務実務特修 I	3・4					
	企業法務実務特修 II	3・4					
関連科目	情報処理 I	1・2・3・4					
	情報処理 II	1・2・3・4					
	日本史概論 I	1・2・3・4					
	日本史概論 II	1・2・3・4					
	外国史概論 I	1・2・3・4					
	外国史概論 II	1・2・3・4					
	人文地理学概論 I	1・2・3・4					
	人文地理学概論 II	1・2・3・4					
	自然地理学概論 I	1・2・3・4					
	自然地理学概論 II	1・2・3・4					
	地理学(含地誌) I	1・2・3・4					
	地理学(含地誌) II	1・2・3・4					
	社会学概論 I	1・2・3・4					
	社会学概論 II	1・2・3・4					
	哲学概論 I	1・2・3・4					
	哲学概論 II	1・2・3・4					
	ミクログロウズ I	1・2・3・4					
	ミクログロウズ II	1・2・3・4					
	マクログロウズ I	1・2・3・4					
	マクログロウズ II	1・2・3・4					
経政学策 I	1・2・3・4						
経政学策 II	1・2・3・4						
日本経済史 I	1・2・3・4						
日本経済史 II	1・2・3・4						
西洋経済史 I	1・2・3・4						
西洋経済史 II	1・2・3・4						
経地学 I	1・2・3・4						
経地学 II	1・2・3・4						
社会思想史 I	1・2・3・4						
社会思想史 II	1・2・3・4						
財政学 I	1・2・3・4						
財政学 II	1・2・3・4						
マケテイング I	1・2・3・4						
マケテイング II	1・2・3・4						
マケテイング論 I	1・2・3・4						
マケテイング論 II	1・2・3・4						
マケテイング論 III	1・2・3・4						
マケテイング論 IV	1・2・3・4						
マケテイング論 V	1・2・3・4						
マケテイング論 VI	1・2・3・4						
マケテイング論 VII	1・2・3・4						
マケテイング論 VIII	1・2・3・4						
マケテイング論 IX	1・2・3・4						
マケテイング論 X	1・2・3・4						
マケテイング論 XI	1・2・3・4						
マケテイング論 XII	1・2・3・4						
マケテイング論 XIII	1・2・3・4						
マケテイング論 XIV	1・2・3・4						
マケテイング論 XV	1・2・3・4						
マケテイング論 XVI	1・2・3・4						
マケテイング論 XVII	1・2・3・4						
マケテイング論 XVIII	1・2・3・4						
マケテイング論 XIX	1・2・3・4						
マケテイング論 XX	1・2・3・4						
マケテイング論 XXI	1・2・3・4						
マケテイング論 XXII	1・2・3・4						
マケテイング論 XXIII	1・2・3・4						
マケテイング論 XXIV	1・2・3・4						
マケテイング論 XXV	1・2・3・4						
マケテイング論 XXVI	1・2・3・4						
マケテイング論 XXVII	1・2・3・4						
マケテイング論 XXVIII	1・2・3・4						
マケテイング論 XXIX	1・2・3・4						
マケテイング論 XXX	1・2・3・4						
マケテイング論 XXXI	1・2・3・4						
マケテイング論 XXXII	1・2・3・4						
マケテイング論 XXXIII	1・2・3・4						
マケテイング論 XXXIV	1・2・3・4						
マケテイング論 XXXV	1・2・3・4						
マケテイング論 XXXVI	1・2・3・4						
マケテイング論 XXXVII	1・2・3・4						
マケテイング論 XXXVIII	1・2・3・4						
マケテイング論 XXXIX	1・2・3・4						
マケテイング論 XL	1・2・3・4						
マケテイング論 XLI	1・2・3・4						
マケテイング論 XLII	1・2・3・4						
マケテイング論 XLIII	1・2・3・4						
マケテイング論 XLIV	1・2・3・4						
マケテイング論 XLV	1・2・3・4						
マケテイング論 XLVI	1・2・3・4						
マケテイング論 XLVII	1・2・3・4						
マケテイング論 XLVIII	1・2・3・4						
マケテイング論 XLIX	1・2・3・4						
マケテイング論 L	1・2・3・4						

C群科目及び関連科目から30単位以上
専攻科目から86単位以上

〔履修要件〕

- 1 1・2年次は、上位年次の授業科目(関連科目を除く)を履修することはできない。
- 2 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 3 科目によっては履修資格や人数が制限される場合があるので注意すること。
- 4 共通教養科目の「日本国憲法」は、教職課程本登録者のみ履修することができる。
- 5 各セメスターにおいて履修登録できる単位数は、22単位以内とする。
- 6 長期履修学生制度適用者が各セメスターにおいて履修登録できる単位数は、16単位以内とする。
- 7 通年科目を履修する場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する。
- 8 各種課程に関する科目及び教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等(各教科の指導法を含む)」の単位数は、上記5・6の制限の枠外とする。
- 9 「Global Perspective Program」受講者は○印の科目を2年次に履修することを認める。
- 10 「法学部基礎演習Ⅰ」は1年次、「法学部基礎演習Ⅱ」は2年次に履修するものとする。ただし、特別に担当教員及び法学部長の許可を得た者は、この限りではない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔自治行政学科卒業要件〕

共通教養科目								専攻科目				自由選択科目	合計	
共通基盤科目							共通テーマ科目	A群	B群	C群	関連科目			専攻科目合計
初年次ゼミナール	外国語科目(英語)	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	現代社会と市民					共通教養科目合計		
2	8		4	4	4	2	2	32	28	28	30	86	6	124
6														

- 1 4年以上(長期履修学生制度適用者については6年以上)在学し、学則所定の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。
- 2 共通教養科目については、次の単位を含めて32単位以上修得すること。
 - (1)初年次ゼミナール2単位(必修)。
 - (2)「外国語科目」から「英語」を8単位以上。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者(帰国生徒等)は申請により、「英語」に換えて4～6単位を「日本語」とすることができる。なお、8単位に不足する単位は「英語」で補うものとする。
 - (3)人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上。
 - (4)人間形成の分野から2単位以上。
 - (5)「共通テーマ科目」から2単位以上。
 - (6)教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
 - (7)人間形成の分野のうち「キャリアデザイン」、「国内インターンシップ」及び「海外インターンシップ」の単位は、卒業要件単位としては計2単位までしか算入できない。
- 3 専攻科目から次の内訳で計86単位以上修得すること。
 - (1)A群から28単位以上修得すること。
 - (2)B群から28単位以上修得すること。
 - (3)C群及び関連科目から30単位以上修得すること。
 なお、A群の「卒業要件単位数」を超える単位はB群に換算できる。また、換算した単位を含めてB群の「卒業要件単位数」を超える単位はC群に換算できる。
- 4 自由選択科目の単位として、6単位以上修得すること。自由選択科目の単位として算入できるものは、次のとおりとする。
 - (1)共通教養科目・専攻科目の各「卒業要件単位数」を超える単位。
 - (2)法律学科・他学部開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目は履修することができない。
 - (3)教職課程本登録者が修得した教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等(各教科の指導法を含む)」の単位。ただし、6単位を上限とする。

(4) 経済学部 経済学科 専攻科目

① 現代経済専攻 福祉・環境・公共政策コース

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
			必修	選択	自由	
専攻科目	A群	経済学入門 I	1		2	16単位以上
		経済学入門 II	1		2	
		現代経済学 I	1		4	
		現代経済学 II	1		4	
		現代経済学 III	2		4	
		現代経済学 IV	2		4	
	B群	財政学 I	2		2	36単位以上
		財政学 II	2		2	
		労働経済学 I	2		2	
		労働経済学 II	2		2	
		公共経済学 I	2		4	
		公共経済学 II	2		4	
		金融経済学 I	2		2	
		金融経済学 II	2		2	
		経済政策学 I	2		4	
		経済政策学 II	2		4	
		環境経済学 I	3・4		2	
		環境経済学 II	3・4		2	
		社会保障論 I	3・4		2	
		社会保障論 II	3・4		2	
		租税論 I	3・4		2	
	租税論 II	3・4		2		
	地方財政論 I	3・4		2		
	地方財政論 II	3・4		2		
	都市経済論 I	3・4		2		
	都市経済論 II	3・4		2		
	農村経済学 I	3・4		4		
農村経済学 II	3・4		2			
C群	基礎経済学 I	1		2	34単位以上 (含む関連8単位まで可)	
	基礎経済学 II	1		2		
	経済情報学 I	1		2		
	経済情報学 II	1		2		
	経済地理学 I	1		2		
	経済地理学 II	1		2		
	経営学 I	1		2		
	経営学 II	1		2		
	情報システム学 I	1		2		
	情報システム学 II	1		2		
	基礎簿記 I	1		2		
	基礎簿記 II	1		2		
	外国語 A	1		2		
	外国語 B	1		2		
	外国語 C	1		2		
	外国語 D	1		2		
現代経済学の質問題 A	1		2			
現代経済学の質問題 B	1		2			
現代経済学の質問題 C	1		2			
現代経済学の質問題 D	1		2			
現代経済学の質問題 E	1		2			
現代経済学の質問題 F	1		2			
現代経済学の質問題 G	1		2			
現代経済学の質問題 H	1		2			
現代経済学の質問題 I	1		2			
現代経済学の質問題 J	1		2			
現代経済学の質問題 K	1		2			
現代経済学の質問題 L	1		2			
現代経済学の質問題 M	1		2			
現代経済学の質問題 N	1		2			
現代経済学の質問題 O	1		2			
現代経済学の質問題 P	1		2			
現代経済学の質問題 Q	1		2			
現代経済学の質問題 R	1		2			
現代経済学の質問題 S	1		2			
現代経済学の質問題 T	1		2			
現代経済学の質問題 U	1		2			
現代経済学の質問題 V	1		2			
現代経済学の質問題 W	1		2			
現代経済学の質問題 X	1		2			
現代経済学の質問題 Y	1		2			
現代経済学の質問題 Z	1		2			

授業科目の名称		授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専攻科目	C群	社会思想史 I	3・4		2	34単位以上 (含む関連8 単位まで 可)	専攻科目か ら86単位
		社会思想史 II	3・4		2		
		証券市場論 I	3・4		2		
		証券市場論 II	3・4		2		
		情報経済論 I	3・4		2		
		情報経済論 II	3・4		2		
		ビッグデータ分析 I	3・4		2		
		ビッグデータ分析 II	3・4		2		
		会社法概説 I	3・4		2		
		会社法概説 II	3・4		2		
		開発経済学 I	3・4		2		
		開発経済学 II	3・4		2		
		国際商務論 I	3・4		2		
		国際商務論 II	3・4		2		
		国際金融機関論 I	3・4		2		
		国際金融機関論 II	3・4		2		
		マーケティングコミュニケーション I	3・4		2		
		マーケティングコミュニケーション II	3・4		2		
		マーケティングリサーチ I	3・4		2		
		マーケティングリサーチ II	3・4		2		
		経営情報論 I	3・4		2		
		経営情報論 II	3・4		2		
		国際金融論 I	3・4		2		
		国際金融論 II	3・4		2		
		グローバルマーケティング I	3・4		2		
		グローバルマーケティング II	3・4		2		
		ロシア経済論 I	3・4		2		
		ロシア経済論 II	3・4		2		
		ラテンアメリカ経済論 I	3・4		2		
		ラテンアメリカ経済論 II	3・4		2		
		グローバルロジスティクス I	3・4		2		
		グローバルロジスティクス II	3・4		2		
		国際ビジネス論 I	3・4		2		
		国際ビジネス論 II	3・4		2		
		人的資源管理論 I	3・4		2		
		人的資源管理論 II	3・4		2		
		中東政治経済論 I	3・4		2		
		中東政治経済論 II	3・4		2		
		経済専修英語(会話) III	3・4		2		
		経済専修英語(会話) IV	3・4		2		
経済専修英語(講読) III	3・4		2				
経済専修英語(講読) IV	3・4		2				
経済専修英語(作文) III	3・4		2				
経済専修英語(作文) IV	3・4		2				
フアイナンス(基礎)	3・4		2				
フアイナンス(応用)	3・4		2				
会計史論	3・4		2				
国際税務会計論	3・4		2				
環境会計論	3・4		2				
会社思想論	3・4		2				
経営戦略論	3・4		2				
意思決定論	3・4		2				
マイクロ経済学演習	3・4		2				
マクロ経済学演習	3・4		2				
国際ビジネスコミュニケーション I	3・4		2				
国際ビジネスコミュニケーション II	3・4		2				
Case Studies in International Business I	3・4		2				
Case Studies in International Business II	3・4		2				

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専攻科目	C群	中国経済論 I	3・4		2	34単位以上 (含む関連8 単位まで 可)	専攻科目か ら86単位
		中国経済論 II	3・4		2		
		現代の経済問題 E	3・4		2		
		現代の経済問題 F	3・4		2		
		コンピュータ演習 I	2		2		
		コンピュータ演習 II	2		2		
		コンピュータ演習 III	2		2		
		コンピュータ演習 IV	2		2		
		コンピュータ演習 V	3・4		2		
		コンピュータ演習 VI	3・4		2		
		コンピュータ演習 VII	3・4		2		
		コンピュータ演習 VIII	3・4		2		
		経済ゼミナール I	2		2		
		経済ゼミナール II a	3		2		
		経済ゼミナール II b	3		2		
	経済ゼミナール III a	4		2			
	経済ゼミナール III b	4		2			
	関連科目	外国史概論 I	1・2・3・4		2		
		外国史概論 II	1・2・3・4		2		
		憲法概説 I	1・2・3・4		2		
		憲法概説 II	1・2・3・4		2		
		自然地理学概論 I	1・2・3・4		2		
		自然地理学概論 II	1・2・3・4		2		
		社会学概論 I	1・2・3・4		2		
		社会学概論 II	1・2・3・4		2		
		人文地理学概論 I	1・2・3・4		2		
		人文地理学概論 II	1・2・3・4		2		
		哲学概論 I	1・2・3・4		2		
		哲学概論 II	1・2・3・4		2		
		日本史概論 I	1・2・3・4		2		
		日本史概論 II	1・2・3・4		2		
		地誌学概論	1・2・3・4		2		
		刑法概説	1・2・3・4		2		
地理学(含地誌)		1・2・3・4		2			
政治学入門		1・2・3・4		2			
行政学 I	1・2・3・4		2				
行政学 II	1・2・3・4		2				
国際政治学 I	1・2・3・4		2				
国際政治学 II	1・2・3・4		2				
国際法 I	1・2・3・4		2				
国際法 II	1・2・3・4		2				
職業指導 I (商業)	1・2・3・4		2				
職業指導 II (商業)	1・2・3・4		2				
日本政治	1・2・3・4		2				
日本政治史	1・2・3・4		2				
労働法 I	1・2・3・4		2				
労働法 II	1・2・3・4		2				
ヨーロッパ政治	1・2・3・4		2				
ヨーロッパ政治史	1・2・3・4		2				
自由選択科目	(1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。 (2) 教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等(各教科の指導法を含む)」の単位。ただし、教職課程登録者のみ履修でき、6単位を上限として自由選択科目に算入できる。 (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。					10単位	

〔履修要件〕

- 1 各年次ではそれぞれ上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 2 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 3 各セメスターの履修単位は、それぞれ24単位を上限とする。
ただし、
 - ①長期履修学生制度適用者に対する各セメスターの履修単位は14単位を上限とする。
 - ②成績優良者（直前の学期の GPA が3.0以上の者）については、申請により、半期4単位（年間8単位）まで履修単位数の上限を超えて履修することができる。（長期履修学生制度適用者を除く）
 - ③資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数はこの上限単位に含めない。
 - ④通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する。
- 4 「経済入門」は1年次のみ履修することができる。
- 5 「経済ゼミナールⅠ」は2年次後学期、「経済ゼミナールⅡa」は3年次前学期、「経済ゼミナールⅡb」は3年次後学期、「経済ゼミナールⅢa」は4年次前学期、「経済ゼミナールⅢb」は4年次後学期で履修するものとする。

〔コース登録〕

- 1 1年次終了時に「福祉・環境・公共政策コース」「市場・企業・産業コース」「国際経済・社会コース」のうち、いずれかのコースを選択し、登録しなければならない。
- 2 コースの変更を希望する者は、2年次終了時に申請のうえ、許可を得なければならない。

〔進級要件〕（2年次から3年次）

- 1 2年次終了までに「卒業要件単位数」のうち、初年次ゼミナールの2単位を含む44単位以上を修得しなければならない。
- 2 1の中には、資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数は含めない。
- 3 ただし、長期履修学生制度適用者は、進級要件を適用しない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、進級要件単位及び卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間又は協定に基づく国内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。
- 4 派遣交換留学等により派遣先大学で修得した単位の内、帰国後本学における審査を経て本学の単位として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 1 4年(8セメスター)以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

共通教養科目								共通教養科目合計	専攻科目				専攻科目合計	自由選択科目	合計
共通基盤科目						共通テーマ科目			A群	B群	C群	関連科目(8可)			
初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	現代社会と市民								
2	8		4	4	4	2	2	32	16	36	34	86	10	128	
		6													

- 2 共通教養科目から次の内訳で合計32単位以上を修得すること。
(1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。

- (2) 外国語科目から英語を8単位。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、英語に換えて、4～6単位を日本語とすることができる。なお、8単位に不足する単位は英語で補うものとする。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上修得すること。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上修得すること。
 - (5) 共通テーマ科目から2単位以上修得すること。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
- 3 専攻科目から86単位以上修得すること。ただし、次の単位を修得しなければならない。
- (1) A群から16単位以上修得すること。
 - (2) B群から36単位以上修得すること。
 - (3) C群から34単位以上修得すること。ただし、関連科目は8単位までC群に換算できる。
なお、A群の「卒業要件単位」を超える単位はB群に換算できる。また、換算した単位を含めてB群の「卒業要件単位」を超える単位はC群に換算できる。
- 4 自由選択科目の単位として、10単位以上を修得すること。
自由選択科目の単位として算入できるものは、次のとおりとする。
- (1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。
 - (2) 教職課程本登録者が修得した教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。ただし、6単位を上限とする。（教職課程仮登録者は算入できない）
 - (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。

② 現代経済専攻 市場・企業・産業コース

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数		
			必修	選択	自由			
専攻科目	A群	入門	1		2	16単位以上		
		経済学I	1		2			
		経済学II	1		2			
		ミクロ経済学	1		4			
		現代マクロ経済学	1		4			
		社会経済学	2		4			
	B群	基礎	1		2	36単位以上		
		基礎	1		2			
		基礎	2		2			
		基礎	2		2			
		基礎	2		2			
		基礎	2		2			
		基礎	2		2			
		基礎	2		2			
		基礎	2		2			
		基礎	2		2			
		基礎	2		2			
		基礎	2		4			
		基礎	2		2			
		基礎	2		4			
		基礎	2		2			
		基礎	2		4			
		基礎	2		4			
		基礎	2		4			
		基礎	2		4			
		基礎	2		4			
		基礎	2		4			
		基礎	2		4			
		C群	基礎	1			2	34単位以上 (含む関連8単位まで可)
			基礎	1			2	
基礎	1			2				
基礎	1			2				
基礎	1			2				
基礎	1			2				
基礎	1			2				
基礎	1			2				
基礎	1			2				
基礎	1			2				
基礎	1			2				
基礎	1			2				
基礎	1			2				
基礎	1			2				
基礎	1			2				
基礎	1			2				

専攻科目から86単位

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数									
			必修	選択	自由										
専攻科目	C群	ア	メ	リ	カ	経	済	論	I	2					
		ア	メ	リ	カ	経	済	論	II	2					
		ヨ	ー	ロ	ッ	パ	経	済	論	I	2				
		ヨ	ー	ロ	ッ	パ	経	済	論	II	2				
		ア	ジ	ア	ア	経	済	論	I	2					
		ア	ジ	ア	ア	経	済	論	II	2					
		国	際	際	経	済	学	学	I	2					
		国	際	際	経	済	学	学	II	2					
		国	際	易	易	論	論		I	2					
		世	界	界	経	済	論	論	I	2					
		世	界	界	経	済	論	論	II	2					
		管	理	理	会	計	論			2					
		コ	ス	ト	マ	ネ	ジ	メ	ン	ト	論	2			
		経	営	営	営	営	営	営	営	営	論	2			
		財	務	務	務	務	務	務	務	務	論	2			
		現	代	代	代	代	代	代	代	代	学	2			
		中	小	小	小	小	小	小	小	小	論	2			
		ベ	ン	チ	ヤ	一	企	業	業	業	論	2			
		経	専	修	英	語	(会	話)	I	2			
		経	専	修	英	語	(会	話)	II	2			
		経	専	修	英	語	(講	読)	I	2			
		経	専	修	英	語	(講	読)	II	2			
		経	専	修	英	語	(作	文)	I	2			
		経	専	修	英	語	(作	文)	II	2			
		財	務	計	会	基	準	論	論		I	2			
		財	務	計	会	基	準	論	論		II	2			
		流	通	通	行	行	論	動	論		I	2			
		流	通	通	行	行	論	動	論		II	2			
		消	費	者	テ	イ	ク	ス	ス		I	2			
		消	費	者	テ	イ	ク	ス	ス		II	2			
		口	ジ	ス	テ	イ	ク	ス	ス		I	2			
		口	ジ	ス	テ	イ	ク	ス	ス		II	2			
		貿	易	コ	ミ	ニ	ケ	一	シ	ョ	ン	I	2		
		貿	易	コ	ミ	ニ	ケ	一	シ	ョ	ン	II	2		
		国	際	商	取	取	引	論	論		I	2			
		国	際	商	取	取	引	論	論		II	2			
		流	通	通	営	営	史	史	史		I	2			
		流	通	通	営	営	史	史	史		II	2			
		経	営	営	営	営	史	史	史		I	2			
		経	営	営	営	営	史	史	史		II	2			
ラ	イ	テ	イ	ン	グ	学	学		II	2					
経	一	ケ	テ	イ	ン	グ	学		III	2					
マ	代	の	の	の	の	の	の		II	2					
現	代	の	の	の	の	の	の		C	2					
現	代	の	の	の	の	の	の		D	2					
租		税	論	論	論	論	論		I	3・4					
租		税	論	論	論	論	論		II	3・4					
社	会	思	想	想	史	史	史		I	3・4					
社	会	思	想	想	史	史	史		II	3・4					
農	業	経	済	学	学	学	学		論	3・4					
食	糧	経	済	学	学	学	学		論	3・4					
経	済	哲	哲	学	学	学	学		I	3・4					
経	済	哲	哲	学	学	学	学		II	3・4					
地	方	財	政	政	論	論	論		I	3・4					
地	方	財	政	政	論	論	論		II	3・4					
ミ	ク	ロ	ク	ク	ク	ク	ク			3・4					
マ	ク	ロ	ク	ク	ク	ク	ク			3・4					

34単位以上
(含む関連8
単位まで
可)
専攻科目か
ら86単位

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専攻科目	C群	フアイナンス (基礎)	3・4		2		
		フアイナンス (応用)	3・4		2		
		国際金融論 I	3・4		2		
		国際金融論 II	3・4		2		
		開発経済学 I	3・4		2		
		開発経済学 II	3・4		2		
		社会保険論 I	3・4		2		
		社会保険論 II	3・4		2		
		ロシア経済論 I	3・4		2		
		ロシア経済論 II	3・4		2		
		都市経済論 I	3・4		2		
		都市経済論 II	3・4		2		
		環境経済論 I	3・4		2		
		環境経済論 II	3・4		2		
		国際商務論 I	3・4		2		
		国際商務論 II	3・4		2		
		経営情報論 I	3・4		2		
		経営情報論 II	3・4		2		
		経営戦略論	3・4		2		
		意思決定論	3・4		2		
		国会計想論	3・4		2		
		税務会計論	3・4		2		
		環境会計論	3・4		2		
		グローバルマーケティング I	3・4		2		
		グローバルマーケティング II	3・4		2		
		ビッグデータ分析 I	3・4		2		
		ビッグデータ分析 II	3・4		2		
		経済専修英語 (会話) III	3・4		2		
		経済専修英語 (会話) IV	3・4		2		
		経済専修英語 (講読) III	3・4		2		
		経済専修英語 (講読) IV	3・4		2		
		経済専修英語 (作文) III	3・4		2		
		経済専修英語 (作文) IV	3・4		2		
		会社法概説 I	3・4		2		
		会社法概説 II	3・4		2		
		マーケティングコミュニケーション I	3・4		2		
		マーケティングコミュニケーション II	3・4		2		
		マーケティングリサーチ I	3・4		2		
		マーケティングリサーチ II	3・4		2		
		グローバルロジスティクス I	3・4		2		
		グローバルロジスティクス II	3・4		2		
		国際ビジネスコミュニケーション I	3・4		2		
		国際ビジネスコミュニケーション II	3・4		2		
		人的資源管理論 I	3・4		2		
		人的資源管理論 II	3・4		2		
中東政治経済論 I	3・4		2				
中東政治経済論 II	3・4		2				
国際ビジネス論 I	3・4		2				
国際ビジネス論 II	3・4		2				
Case Studies in International Business I	3・4		2				
Case Studies in International Business II	3・4		2				
ラテンアメリカ経済論 I	3・4		2				
ラテンアメリカ経済論 II	3・4		2				
現代資本主義論 I	3・4		2				
現代資本主義論 II	3・4		2				
中国経済論 I	3・4		2				
中国経済論 II	3・4		2				

34単位以上
(含む関連8専攻科目か
単位までら86単位
可)

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数		
			必修	選択	自由			
専攻科目	C群	現代の経済問題 E	3・4		2		34単位以上 (含む関連8 単位まで 可)	専攻科目か ら86単位
		現代の経済問題 F	3・4		2			
		コンピュータ演習 I	2		2			
		コンピュータ演習 II	2		2			
		コンピュータ演習 III	2		2			
		コンピュータ演習 IV	2		2			
		コンピュータ演習 V	3・4		2			
		コンピュータ演習 VI	3・4		2			
		コンピュータ演習 VII	3・4		2			
		コンピュータ演習 VIII	3・4		2			
		経済ゼミナール I	2		2			
		経済ゼミナール II a	3		2			
		経済ゼミナール II b	3		2			
		経済ゼミナール III a	4		2			
	経済ゼミナール III b	4		2				
	関連科目	憲法概説 I	1・2・3・4		2			
		憲法概説 II	1・2・3・4		2			
		日本史概論 I	1・2・3・4		2			
		日本史概論 II	1・2・3・4		2			
		外国史概論 I	1・2・3・4		2			
		外国史概論 II	1・2・3・4		2			
		人文地理学概論 I	1・2・3・4		2			
		人文地理学概論 II	1・2・3・4		2			
		自然地理学概論 I	1・2・3・4		2			
		自然地理学概論 II	1・2・3・4		2			
		社会学概論 I	1・2・3・4		2			
		社会学概論 II	1・2・3・4		2			
哲学概論 I		1・2・3・4		2				
哲学概論 II	1・2・3・4		2					
地理学(含地誌)	1・2・3・4		2					
政治学入門	1・2・3・4		2					
政治学概論	1・2・3・4		2					
刑法概説	1・2・3・4		2					
行政法 I	1・2・3・4		2					
行政法 II	1・2・3・4		2					
国際法 I	1・2・3・4		2					
国際法 II	1・2・3・4		2					
職業指導 I (商業)	1・2・3・4		2					
職業指導 II (商業)	1・2・3・4		2					
日本政治学	1・2・3・4		2					
国際政治学 I	1・2・3・4		2					
国際政治学 II	1・2・3・4		2					
ヨーロッパ政治	1・2・3・4		2					
ヨーロッパ政治史	1・2・3・4		2					
労働法 I	1・2・3・4		2					
労働法 II	1・2・3・4		2					
自由選択科目	(1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。 (2) 教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等(各教科の指導法を含む)」の単位。ただし、教職課程登録者のみ履修でき、6単位を上限として自由選択科目に算入できる。 (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。					10単位		

〔履修要件〕

- 1 各年次ではそれぞれ上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 2 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 3 各セメスターの履修単位は、それぞれ24単位を上限とする。
ただし、
 - ①長期履修学生制度適用者に対する各セメスターの履修単位は14単位を上限とする。
 - ②成績優良者（直前の学期の GPA が3.0以上の者）については、申請により、半期4単位（年間8単位）まで履修単位数の上限を超えて履修することができる。（長期履修学生制度適用者を除く）
 - ③資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数はこの上限単位に含めない。
 - ④通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する。
- 4 「経済入門」は1年次のみ履修することができる。
- 5 「経済ゼミナールⅠ」は2年次後学期、「経済ゼミナールⅡa」は3年次前学期、「経済ゼミナールⅡb」は3年次後学期、「経済ゼミナールⅢa」は4年次前学期、「経済ゼミナールⅢb」は4年次後学期で履修するものとする。

〔コース登録〕

- 1 1年次終了時に「福祉・環境・公共政策コース」「市場・企業・産業コース」「国際経済・社会コース」のうち、いずれかのコースを選択し、登録しなければならない。
- 2 コースの変更を希望する者は、2年次終了時に申請のうえ、許可を得なければならない。

〔進級要件〕（2年次から3年次）

- 1 2年次終了までに「卒業要件単位数」のうち、初年次ゼミナールの2単位を含む44単位以上を修得しなければならない。
- 2 1の中には、資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数は含めない。
- 3 ただし、長期履修学生制度適用者は、進級要件を適用しない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、進級要件単位及び卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間又は協定に基づく国内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。
- 4 派遣交換留学等により派遣先大学で修得した単位の内、帰国後本学における審査を経て本学の単位として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 1 4年(8セメスター)以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

共通教養科目								共通 教養 科目 合計	専攻科目				専攻 科目 合計	自由 選択 科目	合計
共通基盤科目						共通テーマ科目			A 群	B 群	C 群	関 連 科 目 (8可)			
初 年 次 ゼ ミ ナ ー ル	外 国 語 科 目	教 養 基 礎 演 習	人 文 の 分 野	社 会 の 分 野	自 然 の 分 野	人 間 形 成 の 分 野	現 代 社 会 と 市 民								
2	8		4	4	4	2	2	32	16	36	34	86	10	128	
6															

- 2 共通教養科目から次の内訳で合計32単位以上を修得すること。
(1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。

- (2) 外国語科目から英語を8単位。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、英語に換えて、4～6単位を日本語とすることができる。なお、8単位に不足する単位は英語で補うものとする。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上修得すること。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上修得すること。
 - (5) 共通テーマ科目から2単位以上修得すること。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
- 3 専攻科目から86単位以上修得すること。ただし、次の単位を修得しなければならない。
- (1) A群から16単位以上修得すること。
 - (2) B群から36単位以上修得すること。
 - (3) C群から34単位以上修得すること。ただし、関連科目は8単位までC群に換算できる。
なお、A群の「卒業要件単位」を超える単位はB群に換算できる。また、換算した単位を含めてB群の「卒業要件単位」を超える単位はC群に換算できる。
- 4 自由選択科目の単位として、10単位以上を修得すること。
自由選択科目の単位として算入できるものは、次のとおりとする。
- (1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。
 - (2) 教職課程本登録者が修得した教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。ただし、6単位を上限とする。（教職課程仮登録者は算入できない）
 - (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。

③ 現代経済専攻 国際経済・社会コース

授業科目の名称		授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
			必修	選択	自由	
A群	経済入門	1		2		16単位以上
	ミクロ経済学	1		4		
	マクロ経済学	1		2		
	現代日本経済	1		2		
	経済学論	1		4		
	社会学	2		4		
B群	アジア経済論 I	2		2		36単位以上
	アジア経済論 II	2		2		
	アメリカ経済論 I	2		2		
	アメリカ経済論 II	2		2		
	ヨーロッパ経済論 I	2		2		
	ヨーロッパ経済論 II	2		2		
	国際経済学 I	2		2		
	国際経済学 II	2		2		
	国際経済学史 I	2		2		
	国際経済学史 II	2		2		
	国際経済学論 I	2		2		
	国際経済学論 II	2		2		
	国際貿易論 I	2		2		
	国際貿易論 II	2		2		
	国際金融論 I	3・4		2		
	国際金融論 II	3・4		2		
	中国政治経済論 I	3・4		2		
	中国政治経済論 II	3・4		2		
	中国開発経済学 I	3・4		2		
	中国開発経済学 II	3・4		2		
ロシア経済論 I	3・4		2			
ロシア経済論 II	3・4		2			
中国経済論 I	3・4		2			
中国経済論 II	3・4		2			
C群	簿記	1		2		34単位以上 (含む関連8単位 まで可)
	基礎学	1		2		
	経営学	1		2		
	基礎経済学 I	1		2		
	基礎経済学 II	1		2		
	経済情報学 I	1		2		
	経済情報学 II	1		2		
	現代の経済地理 I	1		2		
	現代の経済地理 II	1		2		
	現代の経済問題 A	1		2		
	現代の経済問題 B	1		2		
	現代の経済問題 C	1		2		
	現代の経済問題 D	1		2		
	情報システム	1		2		
	人口経済学	1		2		
	民法	1		2		
マナー	1		2			

専攻科目から
86単位

授業科目の名称		授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専攻科目	C群	労働経済論 I	2		2	34単位以上 (含む関連8単位 まで可)	専攻科目から 86単位
		労働経済論 II	2		2		
		公共経済学 I	2		4		
		公共経済学 II	2		4		
		本経学 I	2		2		
		本経学 II	2		2		
		財経学 I	2		2		
		財経学 II	2		2		
		中級ミクロ経済学 I	2		2		
		中級ミクロ経済学 II	2		2		
		ベネチア企業論	2		2		
		農業経営論	2		2		
		経営史 I	2		2		
		経営史 II	2		2		
		コスト管理論	2		2		
		経営管理論	2		2		
		財経分計学	2		2		
		現経代済数	2		2		
		経流通論 I	2		2		
		経流通論 II	2		2		
		経専修英(会話) I	2		2		
		経専修英(会話) II	2		2		
		経専修英(講読) I	2		2		
		経専修英(講読) II	2		2		
		経専修英(作文) I	2		2		
		経専修英(作文) II	2		2		
		財経務計基行論	2		2		
		消費者行動論 I	2		2		
		消費者行動論 II	2		2		
		ロジスティクス I	2		2		
		ロジスティクス II	2		2		
		貿易コミュニケーション I	2		2		
		貿易コミュニケーション II	2		2		
		国際商取引論 I	2		2		
		国際商取引論 II	2		2		
		流通史 I	2		2		
		流通史 II	2		2		
		ラテンアメリカ経済論 I	2		4		
		ラテンアメリカ経済論 II	2		4		
		基礎統計学 C	2		2		
現代の経済問題 D	2		2				
証券市場論 I	3・4		2				
証券市場論 II	3・4		2				
金融機関論 I	3・4		2				
金融機関論 II	3・4		2				
現代資本主義論 I	3・4		2				
現代資本主義論 II	3・4		2				

授業科目の名称		授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専攻科目	C群	社会学思想史 I	3・4		2	34単位以上 (含む関連8単位 まで可)	専攻科目から 86単位
		社会学思想史 II	3・4		2		
		社会学演習 I	3・4		2		
		社会学演習 II	3・4		2		
		経済学論 I	3・4		2		
		経済学論 II	3・4		2		
		財政論 I	3・4		2		
		財政論 II	3・4		2		
		財政組織論 I	3・4		2		
		財政組織論 II	3・4		2		
		都市経済論 I	3・4		2		
		都市経済論 II	3・4		2		
		経済哲学 I	3・4		2		
		経済哲学 II	3・4		2		
		社会保障論 I	3・4		2		
		社会保障論 II	3・4		2		
		環境経済論 I	3・4		2		
		環境経済論 II	3・4		2		
		国際経済論 I	3・4		2		
		国際経済論 II	3・4		2		
		国際商務論 I	3・4		2		
		国際商務論 II	3・4		2		
		グローバルロジクス I	3・4		2		
		グローバルロジクス II	3・4		2		
		国際会計論	3・4		2		
		国際会計論	3・4		2		
		環境会計論	3・4		2		
		環境会計史	3・4		2		
		マーケティング I	3・4		2		
		マーケティング II	3・4		2		
		マーケティング (基礎)	3・4		2		
		マーケティング (応用)	3・4		2		
		データ分析 I	3・4		2		
		データ分析 II	3・4		2		
		英語 (会話) III	3・4		2		
		英語 (会話) IV	3・4		2		
		英語 (講読) III	3・4		2		
		英語 (講読) IV	3・4		2		
		英語 (作文) III	3・4		2		
		英語 (作文) IV	3・4		2		
情報論 I	3・4		2				
情報論 II	3・4		2				
戦略論	3・4		2				
戦 略 論	3・4		2				
法 概 説 I	3・4		2				
法 概 説 II	3・4		2				
マーケティングコミュニケーション I	3・4		2				
マーケティングコミュニケーション II	3・4		2				
マーケティングリサーチ I	3・4		2				
マーケティングリサーチ II	3・4		2				
国際ビジネスコミュニケーション I	3・4		2				
国際ビジネスコミュニケーション II	3・4		2				
人的資源管理論 I	3・4		2				
人的資源管理論 II	3・4		2				
国際ビジネス論 I	3・4		2				
国際ビジネス論 II	3・4		2				
Case Studies in International Business I	3・4		2				
Case Studies in International Business II	3・4		2				
計 量 経 済 学	3・4		4				

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数		
			必修	選択	自由			
専攻科目	C群	現代の経済問題 E	3・4		2		34単位以上 (含む関連8単位 まで可)	専攻科目から 86単位
		現代の経済問題 F	3・4		2			
		コンピュータ演習 I	2		2			
		コンピュータ演習 II	2		2			
		コンピュータ演習 III	2		2			
		コンピュータ演習 IV	2		2			
		コンピュータ演習 V	3・4		2			
		コンピュータ演習 VI	3・4		2			
		コンピュータ演習 VII	3・4		2			
		コンピュータ演習 VIII	3・4		2			
	経済ゼミナール I	2		2				
	経済ゼミナール II a	3		2				
	経済ゼミナール II b	3		2				
	経済ゼミナール III a	4		2				
	経済ゼミナール III b	4		2				
	関連科目	憲法概説 I	1・2・3・4		2			
		憲法概説 II	1・2・3・4		2			
		日本史概論 I	1・2・3・4		2			
		日本史概論 II	1・2・3・4		2			
		外国史概論 I	1・2・3・4		2			
		外国史概論 II	1・2・3・4		2			
		人文地理学概論 I	1・2・3・4		2			
		人文地理学概論 II	1・2・3・4		2			
		自然地理学概論 I	1・2・3・4		2			
		自然地理学概論 II	1・2・3・4		2			
		社会学概論 I	1・2・3・4		2			
		社会学概論 II	1・2・3・4		2			
哲学概論 I		1・2・3・4		2				
哲学概論 II		1・2・3・4		2				
地理学(含地誌)		1・2・3・4		2				
刑法概説		1・2・3・4		2				
地誌学概論		1・2・3・4		2				
政治学入門		1・2・3・4		2				
行政学 I		1・2・3・4		2				
行政学 II		1・2・3・4		2				
国際法 I	1・2・3・4		2					
国際法 II	1・2・3・4		2					
職業指導 I (商業)	1・2・3・4		2					
職業指導 II (商業)	1・2・3・4		2					
日本政治史	1・2・3・4		2					
国際政治学 I	1・2・3・4		2					
国際政治学 II	1・2・3・4		2					
ヨーロッパ政治	1・2・3・4		2					
ヨーロッパ政治史	1・2・3・4		2					
労働法 I	1・2・3・4		2					
労働法 II	1・2・3・4		2					
自由選択科目	(1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。 (2) 教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等(各教科の指導法を含む)」の単位。ただし、教職課程登録者のみ履修でき、6単位を上限として自由選択科目に算入できる。 (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。					10単位		

〔履修要件〕

- 1 各年次ではそれぞれ上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 2 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 3 各セメスターの履修単位は、それぞれ24単位を上限とする。
ただし、
 - ①長期履修学生制度適用者に対する各セメスターの履修単位は14単位を上限とする。
 - ②成績優良者（直前の学期の GPA が3.0以上の者）については、申請により、半期4単位（年間8単位）まで履修単位数の上限を超えて履修することができる。（長期履修学生制度適用者を除く）
 - ③資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数はこの上限単位に含めない。
 - ④通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する。
- 4 「経済入門」は1年次のみ履修することができる。
- 5 「経済ゼミナールⅠ」は2年次後学期、「経済ゼミナールⅡa」は3年次前学期、「経済ゼミナールⅡb」は3年次後学期、「経済ゼミナールⅢa」は4年次前学期、「経済ゼミナールⅢb」は4年次後学期で履修するものとする。

〔コース登録〕

- 1 1年次終了時に「福祉・環境・公共政策コース」「市場・企業・産業コース」「国際経済・社会コース」のうち、いずれかのコースを選択し、登録しなければならない。
- 2 コースの変更を希望する者は、2年次終了時に申請のうえ、許可を得なければならない。

〔進級要件〕（2年次から3年次）

- 1 2年次終了までに「卒業要件単位数」のうち、初年次ゼミナールの2単位を含む44単位以上を修得しなければならない。
- 2 1の中には、資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数は含めない。
- 3 ただし、長期履修学生制度適用者は、進級要件を適用しない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、進級要件単位及び卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間又は協定に基づく国内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。
- 4 派遣交換留学等により派遣先大学で修得した単位の内、帰国後本学における審査を経て本学の単位として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 1 4年(8セメスター)以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

共通教養科目								共通 教養 科目 合計	専攻科目				専攻 科目 合計	自由 選択 科目	合計
共通基盤科目						共通テーマ科目			A 群	B 群	C 群	関 連 科 目 (8可)			
初 年 次 ゼ ミ ナ ー ル	外 国 語 科 目	教 養 基 礎 演 習	人 文 の 分 野	社 会 の 分 野	自 然 の 分 野	人 間 形 成 の 分 野	現 代 社 会 と 市 民	32					16	36	34
			4	4	4	2			2						
2	8	6													

- 2 共通教養科目から次の内訳で合計32単位以上を修得すること。
(1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。

- (2) 外国語科目から英語を8単位。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、英語に換えて、4～6単位を日本語とすることができる。なお、8単位に不足する単位は英語で補うものとする。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上修得すること。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上修得すること。
 - (5) 共通テーマ科目から2単位以上修得すること。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
- 3 専攻科目から86単位以上修得すること。ただし、次の単位を修得しなければならない。
- (1) A群から16単位以上修得すること。
 - (2) B群から36単位以上修得すること。
 - (3) C群から34単位以上修得すること。ただし、関連科目は8単位までC群に換算できる。
なお、A群の「卒業要件単位」を超える単位はB群に換算できる。また、換算した単位を含めてB群の「卒業要件単位」を超える単位はC群に換算できる。
- 4 自由選択科目の単位として、10単位以上を修得すること。
自由選択科目の単位として算入できるものは、次のとおりとする。
- (1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。
 - (2) 教職課程本登録者が修得した教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。ただし、6単位を上限とする。（教職課程仮登録者は算入できない）
 - (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。

④ 経済分析専攻 政策分析コース

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
			必修	選択	自由	
専攻科目	A群	入門	1		2	18単位以上
		シモン	1		2	
		数学	1		2	
		経済学	1		2	
		ミラ	1		4	
		クイ	1		2	
		現代	1		4	
		マク	2		4	
	B群	経済情報	1		2	42単位以上
		経済情報	1		2	
		公共	2		4	
		経済	2		4	
		財政	2		2	
		労働	2		2	
		労働	2		2	
		国際	2		2	
		国際	2		2	
		基礎	2		2	
		経済	2		4	
統計		2		2		
経済		2		4		
計量		2		2		
金融		2		4		
ミマ		2		4		
クク		3・4		2		
クク		3・4		2		
租税		3・4		2		
租税		3・4		2		
地方		3・4		2		
地方	3・4		2			
産業	3・4		2			
産業	3・4		2			
会社	3・4		2			
会社	3・4		2			
環境	3・4		2			
環境	3・4		2			
C群	基礎	1		2	26単位以上 (含む関連8単位 まで可)	
	基礎	1		2		
	経済	1		2		
	経済	1		2		
	経営	1		2		
	経営	1		2		
	基礎	1		2		
	基礎	1		2		
	経済	1		2		
	経済	1		2		
	外外	1		2		
	外外	1		2		
	外外	1		2		
	外外	1		2		
	現代	1		2		
	現代	1		2		
	情報	1		2		
刑法	1		2			
憲法	1		2			
憲法	1		2			
民法	1		2			
民法	1		2			

専攻科目から86単位

授業科目の名称		授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専攻科目	C群	マーケティング I	1		2	26単位以上 (含む関連8単位 まで可)	専攻 科目 から 86単 位
		経済学 I	2		2		
		経済学 II	2		2		
		日本経済史 I	2		2		
		日本経済史 II	2		2		
		西洋経済史 I	2		2		
		西洋経済史 II	2		2		
		アメリカ経済論 I	2		2		
		アメリカ経済論 II	2		2		
		ヨーロッパ経済論 I	2		2		
		ヨーロッパ経済論 II	2		2		
		アジア経済論 I	2		2		
		アジア経済論 II	2		2		
		行政学 I	2		2		
		行政学 II	2		2		
		中級経済学	2		2		
		中級経済学	2		2		
		管理会計論	2		2		
		コストマネジメント論	2		2		
		経営管理論	2		2		
		経財分業論	2		2		
		現中企業論	2		2		
		ベネチヤ一企業業論	2		2		
		経済専修英語(会話) I	2		2		
		経済専修英語(会話) II	2		2		
		経済専修英語(講読) I	2		2		
		経済専修英語(講読) II	2		2		
		経済専修英語(作文) I	2		2		
		経済専修英語(作文) II	2		2		
		経財会計基準論	2		2		
		流通論 I	2		2		
		流通論 II	2		2		
		消費行動論 I	2		2		
		消費行動論 II	2		2		
		消費行動論	2		2		
		世界経済論 I	2		2		
		世界経済論 II	2		2		
		ロジスティクス I	2		2		
		ロジスティクス II	2		2		
		貿易コミュニケーション I	2		2		
貿易コミュニケーション II	2		2				
国際取引論 I	2		2				
国際取引論 II	2		2				
国際流通史 I	2		2				
国際流通史 II	2		2				
経営史 I	2		2				
経営史 II	2		2				
マーケティング II	2		2				
現代の経済問題 C	2		4				
現代の経済問題 D	2		2				
現代農業経済論	3・4		2				
現代農業経済論	3・4		2				

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専攻科目	C群	都市経済論 I	3・4		2	26単位以上 (含む関連8単位 まで可)	専攻 科目 から 86単 位
		都市経済論 II	3・4		2		
		証券市場論 I	3・4		2		
		証券市場論 II	3・4		2		
		金融機関論 I	3・4		2		
		金融機関論 II	3・4		2		
		ファイナンス(基礎)	3・4		2		
		ファイナンス(応用)	3・4		2		
		ビッグデータ分析 I	3・4		2		
		ビッグデータ分析 II	3・4		2		
		国際金融論 I	3・4		2		
		国際金融論 II	3・4		2		
		現代資本主義論 I	3・4		2		
		現代資本主義論 II	3・4		2		
		経済哲学 I	3・4		2		
		経済哲学 II	3・4		2		
		社会思想史 I	3・4		2		
		社会思想史 II	3・4		2		
		開発経済学 I	3・4		2		
		開発経済学 II	3・4		2		
		ロシア経済論 I	3・4		2		
		ロシア経済論 II	3・4		2		
		情報経済論 I	3・4		2		
		情報経済論 II	3・4		2		
		マーケティングコミュニケーション I	3・4		2		
		マーケティングコミュニケーション II	3・4		2		
		マーケティングリサーチ I	3・4		2		
		マーケティングリサーチ II	3・4		2		
		国際会計論	3・4		2		
		国会思想論	3・4		2		
		税務会計論	3・4		2		
		環境会計論	3・4		2		
		グローバルマーケティング I	3・4		2		
		グローバルマーケティング II	3・4		2		
		経済専修英語(会話) III	3・4		2		
		経済専修英語(会話) IV	3・4		2		
		経済専修英語(講読) III	3・4		2		
		経済専修英語(講読) IV	3・4		2		
		経済専修英語(作文) III	3・4		2		
		経済専修英語(作文) IV	3・4		2		
		国際商務論 I	3・4		2		
		国際商務論 II	3・4		2		
		経営情報論 I	3・4		2		
		経営情報論 II	3・4		2		
		ラテンアメリカ経済論 I	3・4		2		
		ラテンアメリカ経済論 II	3・4		2		
		経営戦略論	3・4		2		
		意思決定論	3・4		2		
		会社法概説 I	3・4		2		
		会社法概説 II	3・4		2		
グローバルロジスティクス I	3・4		2				
グローバルロジスティクス II	3・4		2				
国際ビジネスコミュニケーション I	3・4		2				
国際ビジネスコミュニケーション II	3・4		2				
人的資源管理論 I	3・4		2				
人的資源管理論 II	3・4		2				
中国東アジア政治経済論 I	3・4		2				
中国東アジア政治経済論 II	3・4		2				
国際ビジネス	3・4		2				
国際ビジネス	3・4		2				

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専攻科目	C群	Case Studies in International Business I	3・4		2	26単位以上 (含む関連8単位 まで可)	専攻科目から 86単位
		Case Studies in International Business II	3・4		2		
		中国経済論 I	3・4		2		
		中国経済論 II	3・4		2		
		現代の経済問題 E	3・4		2		
		現代の経済問題 F	3・4		2		
		コンピュータ演習 I	2		2		
		コンピュータ演習 II	2		2		
		コンピュータ演習 III	2		2		
		コンピュータ演習 IV	2		2		
		コンピュータ演習 V	3・4		2		
		コンピュータ演習 VI	3・4		2		
		コンピュータ演習 VII	3・4		2		
		コンピュータ演習 VIII	3・4		2		
	経済ゼミナール I	2		2			
	経済ゼミナール II a	3		2			
	経済ゼミナール II b	3		2			
	経済ゼミナール III a	4		2			
	経済ゼミナール III b	4		2			
	関連科目	日本史概論 I	1・2・3・4		2		
		日本史概論 II	1・2・3・4		2		
		外国史概論 I	1・2・3・4		2		
		外国史概論 II	1・2・3・4		2		
		人文地理学概論 I	1・2・3・4		2		
		人文地理学概論 II	1・2・3・4		2		
		自然地理学概論 I	1・2・3・4		2		
自然地理学概論 II		1・2・3・4		2			
社会学概論 I		1・2・3・4		2			
社会学概論 II		1・2・3・4		2			
哲学概論 I		1・2・3・4		2			
哲学概論 II		1・2・3・4		2			
地理学(含地誌)	1・2・3・4		2				
政治学入門	1・2・3・4		2				
地誌学概論	1・2・3・4		2				
国際法 I	1・2・3・4		2				
国際法 II	1・2・3・4		2				
職業指導 I (商業)	1・2・3・4		2				
職業指導 II (商業)	1・2・3・4		2				
日本政治	1・2・3・4		2				
日本政治史	1・2・3・4		2				
国際政治学 I	1・2・3・4		2				
国際政治学 II	1・2・3・4		2				
ヨーロッパ政治	1・2・3・4		2				
ヨーロッパ政治史	1・2・3・4		2				
労働法 I	1・2・3・4		2				
労働法 II	1・2・3・4		2				
自由選択科目	(1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。 (2) 教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等(各教科の指導法を含む)」の単位。ただし、教職課程登録者のみ履修でき、6単位を上限として自由選択科目に算入できる。 (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。					10単位	

〔履修要件〕

- 1 各年次ではそれぞれ上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 2 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 3 各セメスターの履修単位は、それぞれ24単位を上限とする。
ただし、
 - ①長期履修学生制度適用者に対する各セメスターの履修単位は14単位を上限とする。
 - ②成績優良者（直前の学期の GPA が3.0以上の者）については、申請により、半期4単位（年間8単位）まで履修単位数の上限を超えて履修することができる。（長期履修学生制度適用者を除く）
 - ③資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数はこの上限単位に含めない。
 - ④通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する。
- 4 「経済入門」は1年次のみ履修することができる。
- 5 「経済ゼミナールⅠ」は2年次後学期、「経済ゼミナールⅡa」は3年次前学期、「経済ゼミナールⅡb」は3年次後学期、「経済ゼミナールⅢa」は4年次前学期、「経済ゼミナールⅢb」は4年次後学期で履修するものとする。

〔コース登録〕

- 1 1年次終了時に「政策分析コース」「データ分析コース」のいずれかのコースを選択し、登録しなければならない。
- 2 コースの変更を希望する者は、2年次終了時に申請のうえ、許可を得なければならない。

〔進級要件〕（2年次から3年次）

- 1 2年次終了までに「卒業要件単位数」のうち、初年次ゼミナールの2単位を含む44単位以上を修得しなければならない。
- 2 1の中には、資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数は含めない。
- 3 ただし、長期履修学生制度適用者は、進級要件を適用しない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、進級要件単位及び卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間又は協定に基づく国内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。
- 4 派遣交換留学等により派遣先大学で修得した単位の内、帰国後本学における審査を経て本学の単位として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 1 4年(8セメスター)以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

共通教養科目								共通 教養 科目 合計	専攻科目			専攻 科目 合計	自由 選択 科目	合計
共通基盤科目						共通テーマ科目	A 群		B 群	C 群	関 連 科 目 (8可)			
初 年 次 ゼ ミ ナ ー ル	外 国 語 科 目	教 養 基 礎 演 習	人 文 の 分 野	社 会 の 分 野	自 然 の 分 野	人 間 形 成 の 分 野		現 代 社 会 と 市 民						
2	8		4	4	4	2	2	32	18	42	26	86	10	128
6														

- 2 共通教養科目から次の内訳で合計32単位以上を修得すること。
 - (1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。

- (2) 外国語科目から英語を8単位。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、英語に換えて、4～6単位を日本語とすることができる。なお、8単位に不足する単位は英語で補うものとする。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上修得すること。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上修得すること。
 - (5) 共通テーマ科目から2単位以上修得すること。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
- 3 専攻科目から86単位以上修得すること。ただし、次の単位を修得しなければならない。
- (1) A群から18単位以上修得すること。
 - (2) B群から42単位以上修得すること。
 - (3) C群から26単位以上修得すること。ただし、関連科目は8単位までC群に換算できる。
なお、A群の「卒業要件単位」を超える単位はB群に換算できる。また、換算した単位を含めてB群の「卒業要件単位」を超える単位はC群に換算できる。
- 4 自由選択科目の単位として、10単位以上を修得すること。
自由選択科目の単位として算入できるものは、次のとおりとする。
- (1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。
 - (2) 教職課程本登録者が修得した教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。ただし、6単位を上限とする。（教職課程仮登録者は算入できない）
 - (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。

⑤ 経済分析専攻 データ分析コース

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数		
			必修	選択	自由			
専攻科目	A群	経済数学 I	1		2	18単位以上		
		経済数学 II	1		2			
		経済学入門	1		2			
		現代日本経済論	1		4			
		デジタルシンキング	1		2			
		ミクロ経済学	1		4			
		マクロ経済学	1		2			
			2		4			
		B群	経済情報処理 I	1			2	42単位以上
			経済情報処理 II	1			2	
	基礎簿記		1		2			
	基礎会計		1		2			
	情報システム社会学 I		1		2			
	マーケティング I		1		2			
	経済数学 III		2		2			
	金融統計		2		4			
	基礎統計学		2		2			
	経済統計学		2		4			
	財務分析		2		2			
	計量経済学		2		4			
	コンピュータ演習 I		2		2			
	コンピュータ演習 II		2		2			
	コンピュータ演習 III		2		2			
	コンピュータ演習 IV		2		2			
	マーケティング II		2		2			
	証券市場論 I		3・4		2			
	証券市場論 II		3・4		2			
	国際金融論 I		3・4		2			
	国際金融論 II	3・4		2				
	情報経済論 I	3・4		2				
情報経済論 II	3・4		2					
経営情報論 I	3・4		2					
経営情報論 II	3・4		2					
ファイナンス(基礎)	3・4		2					
ファイナンス(応用)	3・4		2					
ビッグデータ分析 I	3・4		2					
ビッグデータ分析 II	3・4		2					
C群	経済史 I	1		2	26単位以上 (含む関連8単位まで可)			
	経済史 II	1		2				
	経営学総論 I	1		2				
	経営学総論 II	1		2				
	経済地理学 I	1		2				
	経済地理学 II	1		2				
	現代の経済問題 A	1		2				
	現代の経済問題 B	1		2				
	基礎経済学 I	1		2				
	基礎経済学 II	1		2				
経済外国語 A	1		2					
経済外国語 B	1		2					
経済外国語 C	1		2					
経済外国語 D	1		2					
民法概説	1		2					
労働経済論 I	2		2					
労働経済論 II	2		2					

専攻科目から86単位

	授業科目の名称	授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数				
			必修	選択	自由					
専攻科目	財	政	学	I	2	2				
	財	政	学	II	2	2				
	国際	経	学	I	2	2				
	国際	経	学	II	2	2				
	経	学	史	I	2	2				
	経	学	史	II	2	2				
	日本	経	史	I	2	2				
	日本	経	史	II	2	2				
	西洋	経	史	I	2	2				
	西洋	経	史	II	2	2				
	世界	経	論	I	2	2				
	世界	経	論	II	2	2				
	アメリカ	メ	リ	カ	経	学	I	2	2	
	アメリカ	メ	リ	カ	経	学	II	2	2	
	ヨーロッパ	一	ロ	ッ	パ	経	学	I	2	2
	ヨーロッパ	一	ロ	ッ	パ	経	学	II	2	2
	アジア	ジ	ア	経	学	I	2	2	2	
	アジア	ジ	ア	経	学	II	2	2	2	
	流通	通	論	論	I	2	2			
	流通	通	論	論	II	2	2			
	貿易	易	論	論	I	2	2			
	貿易	易	論	論	II	2	2			
	中小	チ	ヤ	企	業	I	2	2	2	
	中小	チ	ヤ	企	業	II	2	2	2	
	中級	級	マ	ク	ロ	学	2	2	2	
	中級	級	マ	ク	ロ	学	2	2	2	
	管理	理	会	計	論	2	2			
	管理	理	会	計	論	2	2			
	経営	ス	ト	メ	ン	ト	2	2	2	
	経営	ス	ト	メ	ン	ト	2	2	2	
	経営	営	組	織	論	2	2			
	経営	営	組	織	論	2	2			
	英語	修	英	語	(会	話	I	2	2
	英語	修	英	語	(会	話	II	2	2
	英語	修	英	語	(講	読	I	2	2
	英語	修	英	語	(講	読	II	2	2
	英語	修	英	語	(作	文	I	2	2
	英語	修	英	語	(作	文	II	2	2
	財務	計	会	計	論	2	2			
	財務	計	会	計	論	2	2			
消費者	者	行	動	論	I	2	2	2		
消費者	者	行	動	論	II	2	2	2		
ロジ	ス	テ	イ	ク	ス	I	2	2		
ロジ	ス	テ	イ	ク	ス	II	2	2		
貿易	コ	ミ	ニ	ケ	一	シ	ン	I	2	2
貿易	コ	ミ	ニ	ケ	一	シ	ン	II	2	2
国際	商	取	引	論	I	2	2	2		
国際	商	取	引	論	II	2	2	2		
流通	通	史	史	学	I	2	2	2		
流通	通	史	史	学	II	2	2	2		
現代	共	経	計	学	2	4				
現代	共	経	計	学	2	2				
現代	の	経	政	策	2	4				
現代	の	経	政	策	2	2				
現代	の	経	問	題	C	2				
現代	の	経	問	題	D	2				
コン	ピ	ユ	一	タ	演	V	3.4	2		
コン	ピ	ユ	一	タ	演	VI	3.4	2		
コン	ピ	ユ	一	タ	演	VII	3.4	2		
コン	ピ	ユ	一	タ	演	VIII	3.4	2		

26単位以上
(含む関連8単位
まで可)

専攻科目
から
86単位

授業科目の名称		授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専攻科目	C群	ミマ産金経意租地口開農食都社社環現経社社税国会環会	3・4		2	26単位以上 (含む関連8単位 まで可)	専攻科目 から 86単位
		クク業融融営思	3・4		2		
		ロロ業組組機機	3・4		2		
		経済組織機関	3・4		2		
		経済組織機関	3・4		2		
		戦略	3・4		2		
		税論	3・4		2		
		方財政論	3・4		2		
		方財政論	3・4		2		
		シア経済論	3・4		2		
		シア経済論	3・4		2		
		発発経済学	3・4		2		
		発発経済学	3・4		2		
		業糧経済論	3・4		2		
		業糧経済論	3・4		2		
		市市経済論	3・4		2		
		市市経済論	3・4		2		
		社社保障論	3・4		2		
		社社保障論	3・4		2		
		社社保障論	3・4		2		
		社社保障論	3・4		2		
		代資本主義論	3・4		2		
		代資本主義論	3・4		2		
		社社思想史	3・4		2		
		社社思想史	3・4		2		
		務際計論	3・4		2		
		務際計論	3・4		2		
		務際計論	3・4		2		
		務際計論	3・4		2		
		グロバールマーケティング	3・4		2		
		グロバールマーケティング	3・4		2		
		国際商務論	3・4		2		
		国際商務論	3・4		2		
		経済専修英語(会話)	3・4		2		
		経済専修英語(会話)	3・4		2		
		経済専修英語(講読)	3・4		2		
		経済専修英語(講読)	3・4		2		
		経済専修英語(作文)	3・4		2		
		経済専修英語(作文)	3・4		2		
		会社法概説	3・4		2		
		会社法概説	3・4		2		
		マーケティングコミュニケーション	3・4		2		
		マーケティングコミュニケーション	3・4		2		
		マーケティングリサーチ	3・4		2		
		マーケティングリサーチ	3・4		2		
		グローバルロジスティクス	3・4		2		
		グローバルロジスティクス	3・4		2		
		国際ビジネスコミュニケーション	3・4		2		
国際ビジネスコミュニケーション	3・4		2				
人的資源管理論	3・4		2				
人的資源管理論	3・4		2				
中東政治経済論	3・4		2				
中東政治経済論	3・4		2				
国際ビジネス	3・4		2				
国際ビジネス	3・4		2				

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専攻科目	C群	Case Studies in International Business I	3・4		2	26単位以上 (含む関連8単位まで可)	専攻科目から86単位
		Case Studies in International Business II	3・4		2		
		ラテンアメリカ経済論 I	3・4		2		
		ラテンアメリカ経済論 II	3・4		2		
		中国経済論 I	3・4		2		
		中国経済論 II	3・4		2		
		現代の経済問題 E	3・4		2		
		現代の経済問題 F	3・4		2		
		経済ゼミナール I	2		2		
		経済ゼミナール II a	3		2		
		経済ゼミナール II b	3		2		
		経済ゼミナール III a	4		2		
		経済ゼミナール III b	4		2		
	関連科目	憲法概説 I	1・2・3・4		2		
		憲法概説 II	1・2・3・4		2		
		日本史概論 I	1・2・3・4		2		
		日本史概論 II	1・2・3・4		2		
		外国史概論 I	1・2・3・4		2		
		外国史概論 II	1・2・3・4		2		
		地理学(含地誌)	1・2・3・4		2		
		刑法概説	1・2・3・4		2		
		人文地理学概論 I	1・2・3・4		2		
		人文地理学概論 II	1・2・3・4		2		
		自然地理学概論 I	1・2・3・4		2		
		自然地理学概論 II	1・2・3・4		2		
		社会学概論 I	1・2・3・4		2		
社会学概論 II	1・2・3・4		2				
哲学概論 I	1・2・3・4		2				
哲学概論 II	1・2・3・4		2				
政治学概論	1・2・3・4		2				
行政学入門	1・2・3・4		2				
行政法 I	1・2・3・4		2				
行政法 II	1・2・3・4		2				
国際法 I	1・2・3・4		2				
国際法 II	1・2・3・4		2				
職業指導 I (商業)	1・2・3・4		2				
職業指導 II (商業)	1・2・3・4		2				
日本政治	1・2・3・4		2				
日本政治史	1・2・3・4		2				
国際政治学 I	1・2・3・4		2				
国際政治学 II	1・2・3・4		2				
ヨーロッパ政治	1・2・3・4		2				
ヨーロッパ政治史	1・2・3・4		2				
労働法 I	1・2・3・4		2				
労働法 II	1・2・3・4		2				
自由選択科目	(1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。 (2) 教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等(各教科の指導法を含む)」の単位。ただし、教職課程登録者のみ履修でき、6単位を上限として自由選択科目に算入できる。 (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。					10単位	

〔履修要件〕

- 1 各年次ではそれぞれ上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 2 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 3 各セメスターの履修単位は、それぞれ24単位を上限とする。
ただし、
 - ①長期履修学生制度適用者に対する各セメスターの履修単位は14単位を上限とする。
 - ②成績優良者（直前の学期の GPA が3.0以上の者）については、申請により、半期4単位（年間8単位）まで履修単位数の上限を超えて履修することができる。（長期履修学生制度適用者を除く）
 - ③資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数はこの上限単位に含めない。
 - ④通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する。
- 4 「経済入門」は1年次のみ履修することができる。
- 5 「経済ゼミナールⅠ」は2年次後学期、「経済ゼミナールⅡa」は3年次前学期、「経済ゼミナールⅡb」は3年次後学期、「経済ゼミナールⅢa」は4年次前学期、「経済ゼミナールⅢb」は4年次後学期で履修するものとする。

〔コース登録〕

- 1 1年次終了時に「政策分析コース」「データ分析コース」のいずれかのコースを選択し、登録しなければならない。
- 2 コースの変更を希望する者は、2年次終了時に申請のうえ、許可を得なければならない。

〔進級要件〕（2年次から3年次）

- 1 2年次終了までに「卒業要件単位数」のうち、初年次ゼミナールの2単位を含む44単位以上を修得しなければならない。
- 2 1の中には、資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数は含めない。
- 3 ただし、長期履修学生制度適用者は、進級要件を適用しない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、進級要件単位及び卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間又は協定に基づく国内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。
- 4 派遣交換留学等により派遣先大学で修得した単位の内、帰国後本学における審査を経て本学の単位として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 1 4年(8セメスター)以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

共通教養科目								共通 教養 科目 合計	専攻科目			専攻 科目 合計	自由 選択 科目	合計
共通基盤科目						共通テーマ科目	A 群		B 群	C 群	関 連 科 目 (8可)			
初 年 次 ゼ ミ ナ ー ル	外 国 語 科 目	教 養 基 礎 演 習	人 文 の 分 野	社 会 の 分 野	自 然 の 分 野	人 間 形 成 の 分 野		現 代 社 会 と 市 民						
2	8		4	4	4	2	2	32	18	42	26	86	10	128
6														

- 2 共通教養科目から次の内訳で合計32単位以上を修得すること。
 - (1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。

- (2) 外国語科目から英語を8単位。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、英語に換えて、4～6単位を日本語とすることができる。なお、8単位に不足する単位は英語で補うものとする。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上修得すること。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上修得すること。
 - (5) 共通テーマ科目から2単位以上修得すること。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
- 3 専攻科目から86単位以上修得すること。ただし、次の単位を修得しなければならない。
- (1) A群から18単位以上修得すること。
 - (2) B群から42単位以上修得すること。
 - (3) C群から26単位以上修得すること。ただし、関連科目は8単位までC群に換算できる。
なお、A群の「卒業要件単位」を超える単位はB群に換算できる。また、換算した単位を含めてB群の「卒業要件単位」を超える単位はC群に換算できる。
- 4 自由選択科目の単位として、10単位以上を修得すること。
自由選択科目の単位として算入できるものは、次のとおりとする。
- (1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。
 - (2) 教職課程本登録者が修得した教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。ただし、6単位を上限とする。（教職課程仮登録者は算入できない）
 - (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。

(5) 経済学部 現代ビジネス学科 専攻科目

① 貿易・国際ビジネスコース

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
			必修	選択	自由	
A群	基礎簿記	1		2		16単位以上
	基礎学	1		2		
	経営学	1		2		
	現代経営	1		2		
	マーケティング	1		2		
	マーケティング	1		2		
	流通	2		2		
	流通	2		2		
	消費者行動論	2		2		
	消費者行動論	2		2		
B群	日本経済論	1		2		36単位以上
	日本経済論	1		2		
	アジア経済論	2		2		
	アジア経済論	2		2		
	アメリカ経済論	2		2		
	アメリカ経済論	2		2		
	貿易コミュニケーション	2		2		
	貿易コミュニケーション	2		2		
	国際商取引論	2		2		
	国際商取引論	2		2		
	国際ビジネス論	2		2		
	国際ビジネス論	2		2		
	貿易論	2		2		
	貿易論	2		2		
	経済専修英語(講読)	2		2		
	経済専修英語(講読)	2		2		
	グローバルロジスティクス	3・4		2		
	グローバルロジスティクス	3・4		2		
	国際ビジネスコミュニケーション	3・4		2		
	国際ビジネスコミュニケーション	3・4		2		
	国際商務論	3・4		2		
	国際商務論	3・4		2		
	経済専修英語(講読)	3・4		2		
	経済専修英語(講読)	3・4		2		
	Case Studies in International Business	3・4		2		
	Case Studies in International Business	3・4		2		
	グローバルマーケティング	3・4		2		
	グローバルマーケティング	3・4		2		
中国経済論	3・4		2			
中国経済論	3・4		2			
C群	経済史	1		2		34単位以上 (含む関連8単位まで可)
	経済史	1		2		
	経済情報処理	1		2		
	経済情報処理	1		2		
	経済地理	1		2		
	経済地理	1		2		
	情報システム社会学	1		2		
	ミクロ経済学	1		4		
	経済外国語	1		2		
	経済外国語	1		2		
	経済外国語	1		2		
	経済外国語	1		2		
	基礎経済数学	1		2		
	基礎経済数学	1		2		
	現代の経済問題	1		2		
	現代の経済問題	1		2		
民法概説	1		2			
マクロ経済学	2		4			
社会経済学	2		4			

専攻目から86単位

授業科目の名称		授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数		
			必修	選択	自由			
専攻科目	C群	租税論	I	3・4		2	34単位以上 (含む関連8単位 まで可)	専攻科目 から 86単位
		租税論	II	3・4		2		
		中東政治経済論	I	3・4		2		
		中東政治経済論	II	3・4		2		
		経営情報報論	I	3・4		2		
		経営情報報論	II	3・4		2		
		金融機関論	I	3・4		2		
		金融機関論	II	3・4		2		
		環境経済論	I	3・4		2		
		環境経済論	II	3・4		2		
		開発経済学	I	3・4		2		
		開発経済学	II	3・4		2		
		国際金融論	I	3・4		2		
		国際金融論	II	3・4		2		
		経済専修英語(会話)	III	3・4		2		
		経済専修英語(会話)	IV	3・4		2		
		経済専修英語(作文)	III	3・4		2		
		経済専修英語(作文)	IV	3・4		2		
		経済哲学	I	3・4		2		
		経済哲学	II	3・4		2		
		ミクロ経済学演習	I	3・4		2		
		マクロ経済学演習	I	3・4		2		
		現代資本主義論	I	3・4		2		
		現代資本主義論	II	3・4		2		
		産業組織論	I	3・4		2		
		産業組織論	II	3・4		2		
		社団法人思想史論	I	3・4		2		
		社団法人思想史論	II	3・4		2		
		地方財政論	I	3・4		2		
		地方財政論	II	3・4		2		
		都市経済論	I	3・4		2		
		都市経済論	II	3・4		2		
		社会保障論	I	3・4		2		
		社会保障論	II	3・4		2		
		農業経済論	I	3・4		2		
		農業経済論	II	3・4		2		
		ラテンアメリカ経済論	I	3・4		2		
		ラテンアメリカ経済論	II	3・4		2		
		ロシアン経済論	I	3・4		2		
		ロシアン経済論	II	3・4		2		
情報経済論	I	3・4		2				
情報経済論	II	3・4		2				
社会経済概説	I	3・4		2				
社会経済概説	II	3・4		2				
会計学	I	3・4		4				
会計学	II	3・4		4				
現代の経済問題	E	3・4		2				
現代の経済問題	F	3・4		2				
コンピュータ演習	I	2		2				
コンピュータ演習	II	2		2				
コンピュータ演習	III	2		2				
コンピュータ演習	IV	2		2				
コンピュータ演習	V	3・4		2				
コンピュータ演習	VI	3・4		2				
コンピュータ演習	VII	3・4		2				
コンピュータ演習	VIII	3・4		2				
経済ゼミナール	I	2		2				
経済ゼミナール	II a	3		2				
経済ゼミナール	II b	3		2				
経済ゼミナール	III a	4		2				
経済ゼミナール	III b	4		2				

授業科目の名称		授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専攻科目	関連科目	憲法概説 I			2	34単位以上 (含む関連8単位 まで可)	専攻科目 から 86単位
		憲法概説 II			2		
		日本史概論 I			2		
		日本史概論 II			2		
		外国史概論 I			2		
		外国史概論 II			2		
		人文地理学概論 I			2		
		人文地理学概論 II			2		
		自然地理学概論 I			2		
		自然地理学概論 II			2		
		社会学概論 I			2		
		社会学概論 II			2		
		哲学概論 I			2		
		哲学概論 II			2		
		地理学(含地誌)			2		
		刑法概説			2		
		地誌学概論			2		
		政治学入門			2		
		行政法 I			2		
		行政法 II			2		
		国際法 I			2		
		国際法 II			2		
		職業指導 I (商業)			2		
		職業指導 II (商業)			2		
		日本政治史			2		
		国際政治学 I			2		
		国際政治学 II			2		
		ヨーロッパ政治			2		
		ヨーロッパ政治史			2		
		労働法 I			2		
労働法 II			2				
自由選択科目	(1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。 (2) 教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等(各教科の指導法を含む)」の単位。 ただし、教職課程登録者のみ履修でき、6単位を上限として自由選択科目に算入できる。 (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。					10単位	

〔履修要件〕

- 1 各年次ではそれぞれ上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 2 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 3 各セメスターの履修単位は、それぞれ24単位を上限とする。
ただし、
 - ①長期履修学生制度適用者に対する各セメスターの履修単位は14単位を上限とする。
 - ②成績優良者（直前の学期のGPAが3.0以上の者）については、申請により、半期4単位（年間8単位）まで履修単位数の上限を超えて履修することができる。（長期履修学生制度適用者を除く）
 - ③資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数はこの上限単位に含めない。
 - ④通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する。
- 4 「現代ビジネス入門」は1年次のみ履修することができる。
- 5 「経済ゼミナールⅠ」は2年次後学期、「経済ゼミナールⅡa」は3年次前学期、「経済ゼミナールⅡb」は3年次後学期、「経済ゼミナールⅢa」は4年次前学期、「経済ゼミナールⅢb」は4年次後学期で履修するものとする。

〔コース登録〕

- 1 1年次終了時に「貿易・国際ビジネスコース」「経営・マーケティングコース」「企業・会計コース」のうち、いずれかのコースを選択し、登録しなければならない。
- 2 コースの変更を希望する者は、2年次終了時に申請のうえ、許可を得なければならない。

〔進級要件〕（2年次から3年次）

- 1 2年次終了までに「卒業要件単位数」のうち、初年次ゼミナールの2単位を含む44単位以上を修得しなければならない。
- 2 1の中には、資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数は含めない。
- 3 ただし、長期履修学生制度適用者は、進級要件を適用しない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、進級要件単位及び卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間又は協定に基づく国内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。
- 4 派遣交換留学等により派遣先大学で修得した単位の内、帰国後本学における審査を経て本学の単位として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 1 4年(8セメスター)以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

共通教養科目							共通テーマ科目	共通教養科目合計	専攻科目			専攻科目合計	自由選択科目	合計	
共通基盤科目				現代社会と市民					A群	B群	C群				
初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	2	32	16	36	34	86	10	128	
			4	4	4	2									
2	8	6													

- 2 共通教養科目から次の内訳で合計32単位以上を修得すること。
 - (1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。

- (2) 外国語科目から英語を8単位。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、英語に換えて、4～6単位を日本語とすることができる。なお、8単位に不足する単位は英語で補うものとする。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上修得すること。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上修得すること。
 - (5) 共通テーマ科目から2単位以上修得すること。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
- 3 専攻科目から86単位以上修得すること。ただし、次の単位を修得しなければならない。
- (1) A群から16単位以上修得すること。
 - (2) B群から36単位以上修得すること。
 - (3) C群から34単位以上修得すること。ただし、関連科目は8単位までC群に換算できる。
なお、A群の「卒業要件単位」を超える単位はB群に換算できる。また、換算した単位を含めてB群の「卒業要件単位」を超える単位はC群に換算できる。
- 4 自由選択科目の単位として、10単位以上を修得すること。
自由選択科目の単位として算入できるものは、次のとおりとする。
- (1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。
 - (2) 教職課程本登録者が修得した教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。ただし、6単位を上限とする。（教職課程仮登録者は算入できない）
 - (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。

② 経営・マーケティングコース

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
			必修	選択	自由	
専攻科目	A群	経営学 総論 I	1	2		16単位以上
		経営学 総論 II	1	2		
		基礎簿記 I	1	2		
		基礎簿記 II	1	2		
		現代マーケティング I	1	2		
		現代マーケティング II	1	2		
		流通消費者行動論 I	2	2		
		流通消費者行動論 II	2	2		
		消費消費者行動論 I	2	2		
		消費消費者行動論 II	2	2		
	B群	日本経済論 I	1	2		36単位以上
		日本経済論 II	1	2		
		経営管理論	2	2		
		経営組織論	2	2		
		ロジスティクス I	2	2		
		ロジスティクス II	2	2		
		流通史 I	2	2		
		流通史 II	2	2		
		経営史 I	2	2		
		経営史 II	2	2		
		国際ビジネス論 I	2	2		
		国際ビジネス論 II	2	2		
		グローバルマーケティング I	3・4	2		
		グローバルマーケティング II	3・4	2		
		経営戦略論	3・4	2		
		意思決定論	3・4	2		
		人的資源管理論 I	3・4	2		
		人的資源管理論 II	3・4	2		
		経営情報論 I	3・4	2		
		経営情報論 II	3・4	2		
	グローバルロジスティクス I	3・4	2			
	グローバルロジスティクス II	3・4	2			
	マーケティングリサーチ I	3・4	2			
マーケティングリサーチ II	3・4	2				
マーケティングコミュニケーション I	3・4	2				
マーケティングコミュニケーション II	3・4	2				
C群	経済史 I	1	2		34単位以上 (含む関連8単位まで可)	
	経済史 II	1	2			
	経済情報処理 I	1	2			
	経済情報処理 II	1	2			
	経済地理学 I	1	2			
	経済地理学 II	1	2			
	情報システム社会学	1	2			
	ミクロ経済学	1	4			
	経済外国語 A	1	2			
	経済外国語 B	1	2			
	経済外国語 C	1	2			
	経済外国語 D	1	2			
	基礎経済数学 I	1	2			
基礎経済数学 II	1	2				
現代の経済問題 A	1	2				
現代の経済問題 B	1	2				
民法概説学	1	2				
ク社会経済学	2	4				
社会経済学	2	4				
アジア経済論 I	2	2				
アジア経済論 II	2	2				
アメリカ経済論 I	2	2				
アメリカ経済論 II	2	2				

専攻科目から86単位

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専攻科目	C群	管理会計論	2		2	34単位以上 (含む関連8単位 まで可)	専攻 科目 から 86単 位
		コストマネジメント論	2		2		
		財務分析	2		2		
		現代会計学Ⅰ	2		2		
		財政学Ⅱ	2		2		
		財務会計論	2		2		
		基礎標準論	2		2		
		経済論Ⅰ	2		2		
		経済論Ⅱ	2		2		
		国際取引論Ⅰ	2		2		
		国際取引論Ⅱ	2		2		
		国際貿易論Ⅰ	2		2		
		国際貿易論Ⅱ	2		2		
		経済史Ⅰ	2		2		
		経済史Ⅱ	2		2		
		英語(会話)Ⅰ	2		2		
		英語(会話)Ⅱ	2		2		
		英語(講読)Ⅰ	2		2		
		英語(講読)Ⅱ	2		2		
		英語(作文)Ⅰ	2		2		
		英語(作文)Ⅱ	2		2		
		国際経済学Ⅰ	2		2		
		国際経済学Ⅱ	2		2		
		西洋経済史Ⅰ	2		2		
		西洋経済史Ⅱ	2		2		
		世界経済論Ⅰ	2		2		
		世界経済論Ⅱ	2		2		
		中級マクロ経済学	2		2		
		中級ミクロ経済学	2		2		
		日本経済史Ⅰ	2		2		
		日本経済史Ⅱ	2		2		
		労働経済論Ⅰ	2		2		
		労働経済論Ⅱ	2		2		
		小企業論	2		2		
		金融論	2		4		
		ベンチャー企業論	2		2		
		経済政策	2		4		
		基礎統計学	2		2		
		現代の経済問題C	2		2		
		現代の経済問題D	2		2		
		国際会計論	3・4		2		
		会計思想論	3・4		2		
		租税論Ⅰ	3・4		2		
		租税論Ⅱ	3・4		2		
		環境会計論	3・4		2		
		国際金融論Ⅰ	3・4		2		
国際金融論Ⅱ	3・4		2				
国際ビジネスコミュニケーションⅠ	3・4		2				
国際ビジネスコミュニケーションⅡ	3・4		2				
証券市場論Ⅰ	3・4		2				
証券市場論Ⅱ	3・4		2				

	授業科目の名称	授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専攻科目	C群	国際商務論 I	3・4		2	34単位以上 (含む関連8単位 まで可)	専攻科目 から 86単位
		国際商務論 II	3・4		2		
		金融機関論 I	3・4		2		
		金融機関論 II	3・4		2		
		会社法概説 I	3・4		2		
		会社法概説 II	3・4		2		
		Case Studies in International Business I	3・4		2		
		Case Studies in International Business II	3・4		2		
		環境経済論 I	3・4		2		
		環境経済論 II	3・4		2		
		開発経済学 I	3・4		2		
		開発経済学 II	3・4		2		
		経済専修英語(会話) III	3・4		2		
		経済専修英語(会話) IV	3・4		2		
		経済専修英語(講読) III	3・4		2		
		経済専修英語(講読) IV	3・4		2		
		経済専修英語(作文) III	3・4		2		
		経済専修英語(作文) IV	3・4		2		
		経済哲学 I	3・4		2		
		経済哲学 II	3・4		2		
		ミクロ経済学演習 I	3・4		2		
		マクロ経済学演習 I	3・4		2		
		現代資本主義論 I	3・4		2		
		現代資本主義論 II	3・4		2		
		社会保障論 I	3・4		2		
		社会保障論 II	3・4		2		
		産業組織論 I	3・4		2		
		産業組織論 II	3・4		2		
		社団法人思想史 I	3・4		2		
		社団法人思想史 II	3・4		2		
		地方財政論 I	3・4		2		
		地方財政論 II	3・4		2		
		東政治経済論 I	3・4		2		
		東政治経済論 II	3・4		2		
		都市経済論 I	3・4		2		
		都市経済論 II	3・4		2		
		農業経済論 I	3・4		2		
		食糧経済論 I	3・4		2		
		ラテンアメリカ経済論 I	3・4		2		
		ラテンアメリカ経済論 II	3・4		2		
		ロシアン経済論 I	3・4		2		
		ロシアン経済論 II	3・4		2		
		情報経済論 I	3・4		2		
		情報経済論 II	3・4		2		
		中国経済論 I	3・4		2		
		中国経済論 II	3・4		2		
		計量経済学 I	3・4		4		
		計量経済学 II	3・4		4		
		現代の経済問題 E	3・4		2		
		現代の経済問題 F	3・4		2		
コンピュータ演習 I	2		2				
コンピュータ演習 II	2		2				
コンピュータ演習 III	2		2				
コンピュータ演習 IV	2		2				
コンピュータ演習 V	3・4		2				
コンピュータ演習 VI	3・4		2				
コンピュータ演習 VII	3・4		2				
コンピュータ演習 VIII	3・4		2				
経済ゼミナール I	2		2				
経済ゼミナール II a	3		2				
経済ゼミナール II b	3		2				
経済ゼミナール III a	4		2				
経済ゼミナール III b	4		2				

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専攻科目	関連科目	憲法概説 I		2		34単位以上 (含む関連8単位 まで可)	専攻科目から 86単位
		憲法概説 II		2			
		日本史概論 I		2			
		日本史概論 II		2			
		外国史概論 I		2			
		外国史概論 II		2			
		人文地理学概論 I		2			
		人文地理学概論 II		2			
		自然地理学概論 I		2			
		自然地理学概論 II		2			
		社会学概論 I		2			
		社会学概論 II		2			
		哲学概論 I		2			
		哲学概論 II		2			
		地理学(含地誌)		2			
		政治学入門		2			
		地理学概論		2			
		刑法概説		2			
		行政法 I		2			
		行政法 II		2			
		国際法 I		2			
		国際法 II		2			
		職業指導 I (商業)		2			
		職業指導 II (商業)		2			
		日本政治		2			
		日本政治史		2			
		国際政治学 I		2			
		国際政治学 II		2			
		ヨーロッパ政治		2			
		ヨーロッパ政治史		2			
労働法 I		2					
労働法 II		2					
自由選択科目	(1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。 (2) 教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等(各教科の指導法を含む)」の単位。ただし、教職課程登録者のみ履修でき、6単位を上限として自由選択科目に算入できる。 (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。					10単位	

〔履修要件〕

- 1 各年次ではそれぞれ上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 2 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 3 各セメスターの履修単位は、それぞれ24単位を上限とする。
ただし、
 - ①長期履修学生制度適用者に対する各セメスターの履修単位は14単位を上限とする。
 - ②成績優良者（直前の学期のGPAが3.0以上の者）については、申請により、半期4単位（年間8単位）まで履修単位数の上限を超えて履修することができる。（長期履修学生制度適用者を除く）
 - ③資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数はこの上限単位に含めない。
 - ④通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する。
- 4 「現代ビジネス入門」は1年次のみ履修することができる。
- 5 「経済ゼミナールⅠ」は2年次後学期、「経済ゼミナールⅡa」は3年次前学期、「経済ゼミナールⅡb」は3年次後学期、「経済ゼミナールⅢa」は4年次前学期、「経済ゼミナールⅢb」は4年次後学期で履修するものとする。

〔コース登録〕

- 1 1年次終了時に「貿易・国際ビジネスコース」「経営・マーケティングコース」「企業・会計コース」のうち、いずれかのコースを選択し、登録しなければならない。
- 2 コースの変更を希望する者は、2年次終了時に申請のうえ、許可を得なければならない。

〔進級要件〕（2年次から3年次）

- 1 2年次終了までに「卒業要件単位数」のうち、初年次ゼミナールの2単位を含む44単位以上を修得しなければならない。
- 2 1の中には、資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数は含めない。
- 3 ただし、長期履修学生制度適用者は、進級要件を適用しない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、進級要件単位及び卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間又は協定に基づく国内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。
- 4 派遣交換留学等により派遣先大学で修得した単位の内、帰国後本学における審査を経て本学の単位として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 1 4年(8セメスター)以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

共通教養科目							共通テーマ科目	共通教養科目合計	専攻科目			専攻科目合計	自由選択科目	合計	
共通基盤科目									A群	B群	C群				
初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	現代社会と市民	32	16	36	34	86	10	128	
			4	4	4	2									2
2	8	6													

- 2 共通教養科目から次の内訳で合計32単位以上を修得すること。
 - (1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。

- (2) 外国語科目から英語を8単位。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、英語に換えて、4～6単位を日本語とすることができる。なお、8単位に不足する単位は英語で補うものとする。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上修得すること。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上修得すること。
 - (5) 共通テーマ科目から2単位以上修得すること。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
- 3 専攻科目から86単位以上修得すること。ただし、次の単位を修得しなければならない。
- (1) A群から16単位以上修得すること。
 - (2) B群から36単位以上修得すること。
 - (3) C群から34単位以上修得すること。ただし、関連科目は8単位までC群に換算できる。
なお、A群の「卒業要件単位」を超える単位はB群に換算できる。また、換算した単位を含めてB群の「卒業要件単位」を超える単位はC群に換算できる。
- 4 自由選択科目の単位として、10単位以上を修得すること。
自由選択科目の単位として算入できるものは、次のとおりとする。
- (1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。
 - (2) 教職課程本登録者が修得した教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。ただし、6単位を上限とする。（教職課程仮登録者は算入できない）
 - (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。

③ 企業・会計コース

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数			
			必修	選択	自由				
専攻科目	A群	基礎簿記	1		2	16単位以上			
		基礎学	1		2				
		経営学	1		2				
		経営学	1		2				
		現代マーケティング	1		2				
		マーケティング	1		2				
		マーケティング	1		2				
		マーケティング	1		2				
		マーケティング	1		2				
		マーケティング	1		2				
		マーケティング	1		2				
		マーケティング	1		2				
		マーケティング	1		2				
		マーケティング	1		2				
		マーケティング	1		2				
専攻科目	B群	日本経済	1		2	36単位以上			
		日本経済	1		2				
		日本経済	2		2				
		日本経済	2		2				
		日本経済	2		2				
		日本経済	2		2				
		日本経済	2		2				
		日本経済	2		2				
		日本経済	2		2				
		日本経済	2		2				
		日本経済	2		2				
		日本経済	2		2				
		日本経済	2		2				
		日本経済	2		2				
		日本経済	2		2				
		日本経済	2		2				
		日本経済	2		2				
		日本経済	2		2				
		日本経済	2		2				
		専攻科目	C群	経済学	1			2	34単位以上 (含む関連8単位まで可)
				経済学	1			2	
経済学	1				2				
経済学	1				2				
経済学	1				2				
経済学	1				2				
経済学	1				2				
経済学	1				2				
経済学	1				2				
経済学	1				2				
経済学	1				2				
経済学	1				2				
経済学	1				2				
経済学	1				2				

専攻科目から86単位

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数												
			必修	選択	自由													
ア	ジ	ア	経	済	論	I	2											
ア	ジ	ア	経	済	論	II	2		2									
ア	メ	リ	カ	経	済	論	I	2		2								
ア	メ	リ	カ	経	済	論	II	2		2								
中		小	企	業	論		2		2									
ベ	ン	チ	ヤ	一	企	業	論	2		2								
ロ	ン	ス	テ	イ	ク	ス	I	2		2								
ロ	ン	ス	テ	イ	ク	ス	II	2		2								
ヨ	一	ロ	ッ	パ	経	済	論	I	2		2							
ヨ	一	ロ	ッ	パ	経	済	論	II	2		2							
貿	易	コ	ミ	ユ	ニ	ケ	ー	シ	ヨ	ン	I	2						
貿	易	コ	ミ	ユ	ニ	ケ	ー	シ	ヨ	ン	II	2						
国	際	ビ	ジ	ネ	ス	論					I	2						
国	際	ビ	ジ	ネ	ス	論					II	2						
国	際	商	取	引	論						I	2						
国	際	商	取	引	論						II	2						
国	際	商	取	引	論						I	2						
貿	易	流	通	史							II	2						
流	通	史									I	2						
経	済	学	史								II	2						
経	済	学	史								I	2						
経	済	英	語	(会	話)				I	2						
経	済	英	語	(会	話)				II	2						
経	済	英	語	(講	読)				I	2						
経	済	英	語	(講	読)				II	2						
経	済	英	語	(作	文)				I	2						
経	済	英	語	(作	文)				II	2						
国	際	経	済	学							I	2						
国	際	経	済	学							II	2						
西	洋	経	済	史							I	2						
西	洋	経	済	史							II	2						
世	界	経	済	論							I	2						
世	界	経	済	論							II	2						
中	級	ミ	ク	ロ	経	済					学	2						
中	級	マ	ク	ロ	経	済					学	2						
日	本	本	経	済	史						I	2						
日	本	本	経	済	史						II	2						
労	働	働	経	済	論						I	2						
労	働	働	経	済	論						II	2						
経	済	政	統	計							策	2						
経	済	政	統	計							計	2						
基	礎	融	計								学	2						
金	融	融	計								論	2						
現	代	の	経	済	問	題					C	2						
現	代	の	経	済	問	題					D	2						
グ	ロ	バ	ル	マ	ー	ケ	テ	ィ	ン	グ	I	3・4						
グ	ロ	バ	ル	マ	ー	ケ	テ	ィ	ン	グ	II	3・4						
経	意	営	戦	略								3・4						
経	意	営	決	定								3・4						
グ	ロ	バ	ル	ロ	ジ	ス	テ	ィ	ク	ス	I	3・4						
グ	ロ	バ	ル	ロ	ジ	ス	テ	ィ	ク	ス	II	3・4						
国	際	金	融	論							I	3・4						
国	際	金	融	論							II	3・4						
国	際	ビ	ジ	ネ	ス	コ	ミ	ユ	ニ	ケ	ー	シ	ヨ	ン	I	3・4		
国	際	ビ	ジ	ネ	ス	コ	ミ	ユ	ニ	ケ	ー	シ	ヨ	ン	II	3・4		
人	的	資	源	管	理	論						I	3・4					
人	的	資	源	管	理	論						II	3・4					
地	方	財	政	論							I	3・4						
地	方	財	政	論							II	3・4						

34単位以上
(含む関連8単
位まで可)

専攻目
から
86単
位

専攻科目	授業科目の名称	授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
			必修	選択	自由	
	国際商務論 I	3・4		2		
	国際商務論 II	3・4		2		
	金融機関論 I	3・4		2		
	金融機関論 II	3・4		2		
	Case Studies in International Business I	3・4		2		
	Case Studies in International Business II	3・4		2		
	環境経済論 I	3・4		2		
	環境経済論 II	3・4		2		
	開発経済学 I	3・4		2		
	開発経済学 II	3・4		2		
	経済専修英語(会話) III	3・4		2		
	経済専修英語(会話) IV	3・4		2		
	経済専修英語(講読) III	3・4		2		
	経済専修英語(講読) IV	3・4		2		
	経済専修英語(作文) III	3・4		2		
	経済専修英語(作文) IV	3・4		2		
	経済哲学 I	3・4		2		
	経済哲学 II	3・4		2		
	ミクロ経済学演習 I	3・4		2		
	マクロ経済学演習 I	3・4		2		
	現代資本主義論 I	3・4		2		
	現代資本主義論 II	3・4		2		
	社会保険論 I	3・4		2		
	社会保険論 II	3・4		2		
	産業組織論 I	3・4		2		
	産業組織論 II	3・4		2		
	社会思想史 I	3・4		2		
	社会思想史 II	3・4		2		
	中東政治経済論 I	3・4		2		
	中東政治経済論 II	3・4		2		
	都市経済論 I	3・4		2		
	都市経済論 II	3・4		2		
	農業経済論 I	3・4		2		
	農業経済論 II	3・4		2		
	ラテンアメリカ経済論 I	3・4		2		
	ラテンアメリカ経済論 II	3・4		2		
	ロシア経済論 I	3・4		2		
	ロシア経済論 II	3・4		2		
	情報経済論 I	3・4		2		
	情報経済論 II	3・4		2		
	マーケティングリサーチ I	3・4		2		
	マーケティングリサーチ II	3・4		2		
	マーケティングコミュニケーション I	3・4		2		
	マーケティングコミュニケーション II	3・4		2		
	中国経済論 I	3・4		2		
	中国経済論 II	3・4		2		
	計量経済学 I	3・4		4		
	計量経済学 II	3・4		4		
	現代の経済問題 E	3・4		2		
	現代の経済問題 F	3・4		2		
	コンピュータ演習 I	2		2		
	コンピュータ演習 II	2		2		
	コンピュータ演習 III	2		2		
	コンピュータ演習 IV	2		2		
	コンピュータ演習 V	3・4		2		
	コンピュータ演習 VI	3・4		2		
	コンピュータ演習 VII	3・4		2		
	コンピュータ演習 VIII	3・4		2		
	経済ゼミナール I	2		2		
	経済ゼミナール II a	3		2		
	経済ゼミナール II b	3		2		
	経済ゼミナール III a	4		2		
	経済ゼミナール III b	4		2		

34単位以上
(含む関連8単
位まで可)

専攻科目から
86単位

授 業 科 目 の 名 称		授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			卒 業 要 件 単 位 数		
			必 修	選 択	自 由			
専 攻 科 目	関 連 科 目	憲 法 概 説 I	1	2	3	4	34単位以上 (含む関連8単 位まで可)	専攻 科目 から 86単 位
		憲 法 概 説 II	1	2	3	4		
		日 本 史 概 論 I	1	2	3	4		
		日 本 史 概 論 II	1	2	3	4		
		外 国 史 概 論 I	1	2	3	4		
		外 国 史 概 論 II	1	2	3	4		
		人 文 地 理 学 概 論 I	1	2	3	4		
		人 文 地 理 学 概 論 II	1	2	3	4		
		自 然 地 理 学 概 論 I	1	2	3	4		
		自 然 地 理 学 概 論 II	1	2	3	4		
		社 会 学 概 論 I	1	2	3	4		
		社 会 学 概 論 II	1	2	3	4		
		哲 学 概 論 I	1	2	3	4		
		哲 学 概 論 II	1	2	3	4		
		地 理 学 (含 地 誌)	1	2	3	4		
		政 治 学 入 門	1	2	3	4		
		地 誌 学 概 論	1	2	3	4		
		刑 法 概 説	1	2	3	4		
		行 政 法 I	1	2	3	4		
		行 政 法 II	1	2	3	4		
		国 際 法 I	1	2	3	4		
		国 際 法 II	1	2	3	4		
		職 業 指 導 I (商 業)	1	2	3	4		
		職 業 指 導 II (商 業)	1	2	3	4		
		日 本 政 治 史	1	2	3	4		
		国 際 政 治 学 I	1	2	3	4		
		国 際 政 治 学 II	1	2	3	4		
		ヨ ー ロ ッ パ 政 治	1	2	3	4		
		ヨ ー ロ ッ パ 政 治 史	1	2	3	4		
		労 働 法 I	1	2	3	4		
労 働 法 II	1	2	3	4				
自 由 選 択 科 目	(1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。 (2) 教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。ただし、教職課程登録者のみ履修でき、6単位を上限として自由選択科目に算入できる。 (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。						10単位	

〔履修要件〕

- 1 各年次ではそれぞれ上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 2 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 3 各セメスターの履修単位は、それぞれ24単位を上限とする。
ただし、
 - ①長期履修学生制度適用者に対する各セメスターの履修単位は14単位を上限とする。
 - ②成績優良者（直前の学期のGPAが3.0以上の者）については、申請により、半期4単位（年間8単位）まで履修単位数の上限を超えて履修することができる。（長期履修学生制度適用者を除く）
 - ③資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数はこの上限単位に含めない。
 - ④通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する。
- 4 「現代ビジネス入門」は1年次のみ履修することができる。
- 5 「経済ゼミナールⅠ」は2年次後学期、「経済ゼミナールⅡa」は3年次前学期、「経済ゼミナールⅡb」は3年次後学期、「経済ゼミナールⅢa」は4年次前学期、「経済ゼミナールⅢb」は4年次後学期で履修するものとする。

〔コース登録〕

- 1 1年次終了時に「貿易・国際ビジネスコース」「経営・マーケティングコース」「企業・会計コース」のうち、いずれかのコースを選択し、登録しなければならない。
- 2 コースの変更を希望する者は、2年次終了時に申請のうえ、許可を得なければならない。

〔進級要件〕（2年次から3年次）

- 1 2年次終了までに「卒業要件単位数」のうち、初年次ゼミナールの2単位を含む44単位以上を修得しなければならない。
- 2 1の中には、資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数は含めない。
- 3 ただし、長期履修学生制度適用者は、進級要件を適用しない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、進級要件単位及び卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間又は協定に基づく国内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。
- 4 派遣交換留学等により派遣先大学で修得した単位の内、帰国後本学における審査を経て本学の単位として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 1 4年(8セメスター)以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

共通教養科目							共通テーマ科目	共通教養科目合計	専攻科目			専攻科目合計	自由選択科目	合計	
共通基盤科目									A群	B群	C群				
初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	現代社会と市民	32	16	36	34	86	10	128	
			4	4	4	2									2
2	8	6													

- 2 共通教養科目から次の内訳で合計32単位以上を修得すること。
 - (1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。

- (2) 外国語科目から英語を8単位。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、英語に換えて、4～6単位を日本語とすることができる。なお、8単位に不足する単位は英語で補うものとする。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上修得すること。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上修得すること。
 - (5) 共通テーマ科目から2単位以上修得すること。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
- 3 専攻科目から86単位以上修得すること。ただし、次の単位を修得しなければならない。
- (1) A群から16単位以上修得すること。
 - (2) B群から36単位以上修得すること。
 - (3) C群から34単位以上修得すること。ただし、関連科目は8単位までC群に換算できる。
なお、A群の「卒業要件単位」を超える単位はB群に換算できる。また、換算した単位を含めてB群の「卒業要件単位」を超える単位はC群に換算できる。
- 4 自由選択科目の単位として、10単位以上を修得すること。
自由選択科目の単位として算入できるものは、次のとおりとする。
- (1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。
 - (2) 教職課程本登録者が修得した教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。ただし、6単位を上限とする。（教職課程仮登録者は算入できない）
 - (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。

(6) 経営学部 国際経営学科 専攻科目

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数			
			必修	選択	自由				
専門演習科目 (必修)	2年次演習 I	2	2			10単位			
	2年次演習 II	3	2						
	2年次演習 III	3	2						
	2年次演習 IV (含む卒業論文)	4	2						
国際経営基礎 科目(必修)	経営の基礎	1	2			10単位			
	経営学総論	1	2						
	マーケティング論	2	2						
	国際経営論	2	2						
国際経営基礎科目(選択必修)	経営学原論 I	1		2		10単位			
	経営学原論 II	1		2					
	経営学原論 III	1		2					
	経営学原論 IV	2		2					
	経営学原論 V	2		2					
	経営学原論 VI	2		2					
	経営学原論 VII	2		2					
	経営学原論 VIII	2		2					
	経営学原論 IX	3		2					
マネジメント シヨップ科目	事例研究 I	1		2		4つのシヨップから2つ選択し、シヨップ科目を各シヨップから2つ選択し、シヨップ科目(必修)を除く科目群から22単位 合計40単位	専攻科目から 92単位		
	事例研究 II	1		2					
	事例研究 III	1		2					
	事例研究 IV	1		2					
	事例研究 V	2		2					
	事例研究 VI	2		2					
	事例研究 VII	2		2					
	事例研究 VIII	2		2					
	事例研究 IX	2		2					
	事例研究 X	2		2					
	事例研究 XI	2		2					
	事例研究 XII	2		2					
	事例研究 XIII	2		2					
	事例研究 XIV	2		2					
	事例研究 XV	2		2					
	事例研究 XVI	2		2					
	事例研究 XVII	2		2					
	事例研究 XVIII	2		2					
	事例研究 XIX	2		2					
	事例研究 XX	3		2					
会計	事例研究 I	2		2		合計40単位			
	事例研究 II	2		2					
	事例研究 III	2		2					
	事例研究 IV	2		2					
	事例研究 V	2		2					
	事例研究 VI	2		2					
	事例研究 VII	2		2					
	事例研究 VIII	2		2					
	事例研究 IX	2		2					
	事例研究 X	2		2					
	事例研究 XI	2		2					
	事例研究 XII	2		2					
	事例研究 XIII	2		2					
	事例研究 XIV	2		2					
	事例研究 XV	2		2					
	事例研究 XVI	2		2					
	事例研究 XVII	2		2					
	事例研究 XVIII	2		2					
	事例研究 XIX	2		2					
	事例研究 XX	3		2					

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数		
			必修	選択	自由			
シヨップ科目	マーケティング・デザイン経営	知的財産権と情報倫理	1		2	4つのシヨップから2つ選択し、シヨップ科目を各シヨップから20単位 合計40単位	専門演習科目(必修)、国際経営基礎科目(必修)を除く科目群から22単位	専攻科目から92単位
		コンピュータ演習	1		2			
		ビジネスモデル入門	1		2			
		ビジネス統計	1		2			
		デジタルアプリケーション	1		2			
		情報デザイン	1		2			
		マーケティングリサーチ	2		2			
		デジタルグラフィックス	2		2			
		ヒューマンセンタードデザイン	2		2			
		Webプログラミング	2		2			
		流通論	2		2			
		消費者行動論	2		2			
		マーケティング・コミュニケーション	2		2			
		データ分析論	2		2			
		映像メディアデザイン	2		2			
		ソーシャル・マーケティング	3		2			
		サービス・マーケティング	3		2			
		経営工学概論	3		2			
		経営情報論	3		2			
		映像メディアとコミュニケーション	3		2			
プログラミング演習	3		2					
ビジネスとテクノロジー	3		2					
国際マーケティング論	3		2					
産業社会学論	3		2					
サプライチェーン・マネジメント	3		2					
映像メディアとコミュニケーション	3		2					
情報メディア論	3		2					
国際理解		スタディー・アブロード I	1		2			
		スタディー・アブロード II	1		2			
		国際社会学論	1		2			
		政治学概説	1		2			
		地理学(含地誌)	1		2			
		社会学概論	2		2			
		国際政治学 I	2		2			
		国際地域論(オセアニア)	2		2			
		国際地域論(北アメリカ)	2		2			
		国際地域論(東アジア)	2		2			
		外国史概論 A	2		2			
		日本文化論	2		2			
		ジェンダーと社会	2		2			
		国際関係論	2		2			
		国際政治学 II	2		2			
		国際地域論(東南アジア)	2		2			
		国際地域論(ヨーロッパ)	2		2			
		国際地域論(ラテンアメリカ)	2		2			
		外国史概論 B	2		2			
		国際地域論(ロシア・中央アジア)	3		2			
国際地域論(南アジア)	3		2					
国際地域論(中東・アフリカ)	3		2					
多文化社会学論	3		2					
プログラム科目	マネジメント	マネジメントプログラム入門	1		2			
		マネジメントプログラム I	2		2			
		マネジメントプログラム II	2		2			
	Business Design	デザイン演習 I	1		2			
		デザイン演習 II	1		2			
		デザイン演習 III	2		2			
		デザイン演習 IV	2		2			
		デザイン演習 V	2		2			
	国際ビジネスシミュレーション	IBC Bridge	1・2		2			
		IBC演習	1・2		2			
Pre-IBC演習		2		2				
Business Communication		3		2				
	International Work Environments	3		2				

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
経営学関連科目	日本史概論 I	1		2		専門演習科目(必修)、国際経営基礎科目(必修)を除く	専攻科目から 92単位
	日本史概論 II	1		2			
	スポーツ経営論	1		2			
	健康経営論	2		2			
	哲学概論 I	2		2			
	宗教学概論 I	2		2			
	キャリアモデル研究	2		2			
	チームビルディング演習	2		2			
	哲学概論 II	2		2			
	宗教学概論 II	2		2			
専門入門演習	2		2				
留学基礎科目	留学基礎 I、留学基礎 II、留学基礎 III、留学基礎 IV、留学基礎 V、留学基礎 VI、留学基礎 VII、留学基礎 VIII、留学基礎 IX、留学基礎 X						
選択外国語科目	特習外国語 I、特習外国語 II、特習外国語 III、特習外国語 IV、特習外国語 V、特習外国語 VI 共通教養科目として必要とされる1言語8単位以上に修得した外国語科目、英語(SA)、韓国語(SA)、中国語(SA)、スペイン語(SA)、ドイツ語(SA)、フランス語(SA)						
他学部科目							
学外認定科目	学外単位認定制度により認定された科目						

〔履修要件〕

- 1 原則として上位年次の授業科目は履修できない。
- 2 同一授業科目を重複して履修することはできない。
- 3 年間の履修単位数は、共通教養科目及び専攻科目をあわせて 44 単位を上限とし、半期の履修単位数は 24 単位を上限とする。ただし、資格教育課程（教職課程等）の科目は履修制限の枠外とする。
 なお、成績優良者（直前の学期の GPA が 3.2 以上の者）は、半期 6 単位、年間 12 単位まで履修単位数の上限を超えて履修することができる。この場合は、学期開始当初に学部長に申請しなければならない。
- 4 プログラム科目（「マネジメント体験プログラム」「X-Business プログラム」「国際ビジネスコミュニケーションプログラム」）のいずれか一つのプログラムを履修した場合は、他のプログラム科目を履修することはできない。
- 5 プログラム科目に配当されている「マネジメントプログラム I」「デザイン演習 I」「IBC 演習」「Pre-IBC 演習」、専門演習科目「2 年次演習」のいずれも同時履修及び重複単位修得は認められない。

〔学外単位認定制度〕

学則第 13 条及び第 13 条の 2 に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔進級要件〕（2 年次から 3 年次）

2 年次終了時まで、次の単位を含めて学則所定の「卒業要件単位数」のうち 50 単位以上を修得しなければならない。

- 1 共通教養科目の「初年次ゼミナール（FYS）」
- 2 共通教養科目の「外国語科目」、専攻科目の「国際経営基礎科目（必修）」「国際経営基礎科目（選択必修）」のうちから 14 単位以上。

〔卒業要件〕

4 年以上在学し、次の学則所定の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

共通教養科目								共通教養科目 合計
共通基盤科目						共通テーマ科目		
初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	現代社会と市民	
2	8		4	4	4	2	2	32
6								

専攻科目											専攻科目 合計	
専門演習科目（必修）	国際経営基礎科目（必修）	国際経営基礎科目（選択必修）	ショップ科目			プログラム科目			関連科目			
			マネジメント	会計	マーケティング・デザイン経営	国際理解	マネジメント体験プログラム	X-Business プログラム	国際ビジネスコミュニケーションプログラム	経営学関連科目	留学基礎科目	選択外国語科目
10	10	10	40※1									92
22※2												

共通教養科目	専攻科目	合計
32	92	124

〔共通教養科目卒業要件単位数〕

共通教養科目の「卒業要件単位数」は、次の単位を含めて 32 単位以上修得しなければならない。

- 1 初年次ゼミナール（FYS）2 単位（必修）
- 2 一外国語を 8 単位以上。ただし、「日本語」は外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）が申請により選択することができる。
- 3 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ 4 単位以上
- 4 人間形成の分野から 2 単位以上
- 5 共通テーマ科目から 2 単位以上
- 6 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて 6 単位以上
- 7 社会の分野の「経営学」を卒業要件単位数に算入することはできない。

〔専攻科目卒業要件単位数〕

専攻科目の「卒業要件単位数」は、次の単位を含めて 92 単位以上修得しなければならない。

- 1 「専門演習科目（必修）」を 10 単位
なお、プログラム科目に配当されている入門的な演習のうち、下記に挙げた科目の修得単位は「専門演習科目（必修）」の「2 年次演習」に代えて卒業要件単位数として算入する。その場合プログラム科目としての修得単位数に含めない。
 - ・マネジメント体験プログラム「マネジメントプログラムⅠ」
 - ・X-Business プログラム「デザイン演習Ⅰ」
 - ・国際ビジネスコミュニケーションプログラム「IBC 演習」「Pre-IBC 演習」
- 2 「国際経営基礎科目（必修）」を 10 単位
- 3 「国際経営基礎科目（選択必修）」から 10 単位
- 4 ショップ科目から 40 単位
ショップ科目は 1 つのショップの中から 20 単位修得したショップをコア・ショップ（左記図※1）とし、マネジメントショップ、会計ショップ、マーケティング・デザイン経営ショップ、国際理解ショップからコア・ショップを 2 つ形成しなければならない。
- 5 以下の (1) ～ (5) から 22 単位以上（左記図※2）
 - (1) 選択必修科目「国際経営基礎科目（選択必修）」の卒業要件単位数を超えて修得した単位
 - (2) コア・ショップの卒業要件単位数を超えて修得した単位
 - (3) コア・ショップ以外のショップから修得した単位
 - (4) プログラム科目から修得した単位
 - (5) 関連科目から修得した単位

◎関連科目として卒業要件単位数に算入できるものは次のとおりとする。

- 経営学関連科目から修得した単位
- 中長期留学プログラム、派遣交換留学の留学により修得（認定）した留学基礎科目及び語学科目の単位
 - ▶中長期留学プログラム、派遣交換留学の留学期間が 6 か月以内の留学により修得した語学以外の単位は、「留学基礎Ⅰ」「留学基礎Ⅱ」「留学基礎Ⅲ」「留学基礎Ⅳ」「留学基礎Ⅴ」「留学基礎Ⅵ」「留学基礎Ⅶ」「留学基礎Ⅷ」「留学基礎Ⅸ」「留学基礎Ⅹ」（各 2 単位、上限 20 単位）として認定する。
 - ▶中長期留学プログラム、派遣交換留学における語学科目の修得単位については、「特習外国語Ⅰ」「特習外国語Ⅱ」「特習外国語Ⅲ」「特習外国語Ⅳ」「特習外国語Ⅴ」「特習外国語Ⅵ」（各 2 単位、上限 12 単位）として認定する。
- 共通基盤科目の外国語科目の卒業要件単位数（1 つの言語で 8 単位）を超えて修得した選択外国語科目の単位
- スタディー・アブロード（SA）プログラムの留学により修得（認定）した選択外国語科目の単位
 - ▶スタディー・アブロード（SA）プログラムにおいて学習した外国語については、プログラム実施地域の言語に応じて、「英語（SA）」「韓国語（SA）」「中国語（SA）」「スペイン語（SA）」「ドイツ語（SA）」「フランス語（SA）」（各 2 単位、上限 12 単位）として認定する。
- 他学部他学科開講の専攻科目の単位（上限 20 単位）。ただし、経営学部開講の授業科目と同一の科目の履修は認められない。
- 本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」及び横浜市内大学間の単位互換による修得単位（上限 12 単位）

(7) 外国語学部 英語英文学科 専攻科目

授 業 科 目 の 名 称		授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
			必 修	選 択	自 由	
専門基礎科目	科 専 通 門 (基 礎)	First-Year English (Speaking&Listening) I	1		2	プログラム共通 20
		First-Year English (Speaking&Listening) II	1		2	
		First-Year English (Reading&Writing) I	1		2	
		First-Year English (Reading&Writing) II	1		2	
	(I E S)	Research and Presentation I	2		2	
		Research and Presentation II	2		2	
		Second-Year English (Speaking&Listening) I	2		2	
		Second-Year English (Speaking&Listening) II	2		2	
		Second-Year English (Reading&Writing) I	2		2	
		Second-Year English (Reading&Writing) II	2		2	
		学習英文法 I	2		1	
		学習英文法 II	2		1	
	(G E C)	English Phonetics I	2		1	
		English Phonetics II	2		1	
		English Communication for Global Studies I	1		2	
		English Communication for Global Studies II	1		2	
Extensive Reading for World Knowledge I		1		2		
Academic Writing for Global Studies		2		2		
専攻科目	選 択 必 修 科 目 言 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ・ 英 語 教 育 分 野 (I E S)	英語学概論	1		2	12 (各自登録コース8以上・他コース4以上) IGECプログラム：4304
		英語教育学概論	1		2	
		言語の世界 (言語の仕組み)	2		2	
		言語の世界 (社会のなかの言語)	2		2	
		言語の世界 (音声の世界 I)	2		2	
		言語の世界 (音声の世界 II)	2		2	
		英語学専門演習 A-I	3・4		2	
		英語学専門演習 A-II	3・4		2	
		英語学専門演習 B-I	3・4		2	
		英語学専門演習 B-II	3・4		2	
		英語学専門演習 C-I	3・4		2	
		英語学専門演習 C-II	3・4		2	
		英語学専門演習 D-I	3・4		2	
		英語学専門演習 D-II	3・4		2	
		英語学専門演習 E-I	3・4		2	
		英語学専門演習 E-II	3・4		2	
		英語学専門演習 F-I	3・4		2	
		英語学専門演習 F-II	3・4		2	
		英語学専門演習 G-I	3・4		2	
		英語学専門演習 G-II	3・4		2	
		英語学専門演習 H-I	3・4		2	
		英語学専門演習 H-II	3・4		2	
		英語学専門演習 I-I	3・4		2	
		英語学専門演習 I-II	3・4		2	
		英語学専門演習 J-I	3・4		2	
		英語学専門演習 J-II	3・4		2	
		特講イタリア語 I	3・4		2	
		特講イタリア語 II	3・4		2	
		特講韓国語 I	3・4		2	
		特講韓国語 II	3・4		2	
		特講スペイン語 I	3・4		2	
		特講スペイン語 II	3・4		2	
		特講中国語 I	3・4		2	
		特講中国語 II	3・4		2	
		特講ドイツ語 I	3・4		2	
		特講ドイツ語 II	3・4		2	
		特講フランス語 I	3・4		2	
		特講フランス語 II	3・4		2	
		特講ロシア語 I	3・4		2	
		特講ロシア語 II	3・4		2	
		英語史 I	3・4		2	
		英語史 II	3・4		2	
		英語学特講A	3・4		2	
		英語学特講B	3・4		2	
		英語学特講C	3・4		2	
		英語学特講D	3・4		2	
		Comparative Language Studies I	3・4		2	
		Comparative Language Studies II	3・4		2	
		小・中連携英語教育 I	3・4		2	
		小・中連携英語教育 II	3・4		2	
		第二言語習得論 I	3・4		2	
		第二言語習得論 II	3・4		2	
英語教育学専門演習 I	3・4		2			
英語教育学専門演習 II	3・4		2			

授 業 科 目 の 名 称		授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必 修	選 択	自 由		
	英語圏文学概論A	1			2		
	英語圏文学概論B	1			2		
	英語圏文化概論A	1			2		
	英語圏文化概論B	1			2		
	イギリス文学史Ⅰ	2			2		
	イギリス文学史Ⅱ	2			2		
	アメリカ文学史Ⅰ	2			2		
	アメリカ文学史Ⅱ	2			2		
	イギリス文化史Ⅰ	2			2		
	イギリス文化史Ⅱ	2			2		
	アメリカ文化史Ⅰ	2			2		
	アメリカ文化史Ⅱ	2			2		
	英語圏文学特講A	3・4			2		
	英語圏文学特講B	3・4			2		
	英語圏文学特講C	3・4			2		
	英語圏文学特講D	3・4			2		
	英語圏文化特講A	3・4			2		
	英語圏文化特講B	3・4			2		
	英語圏文化特講C	3・4			2		
	英語圏文化特講D	3・4			2		
	English Literary Studies I	3・4			2		
	English Literary Studies II	3・4			2		
	Translation Studies I	3・4			2		
	Translation Studies II	3・4			2		
	Comparative Culture Studies I	3・4			2		
	Comparative Culture Studies II	3・4			2		
	Global Citizenship Studies I	3・4			2		
	Global Citizenship Studies II	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習A-Ⅰ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習A-Ⅱ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習B-Ⅰ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習B-Ⅱ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習C-Ⅰ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習C-Ⅱ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習D-Ⅰ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習D-Ⅱ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習E-Ⅰ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習E-Ⅱ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習F-Ⅰ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習F-Ⅱ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習G-Ⅰ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習G-Ⅱ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習H-Ⅰ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習H-Ⅱ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習I-Ⅰ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習I-Ⅱ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習J-Ⅰ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習J-Ⅱ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習K-Ⅰ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習K-Ⅱ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習L-Ⅰ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習L-Ⅱ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習M-Ⅰ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習M-Ⅱ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習N-Ⅰ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習N-Ⅱ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習O-Ⅰ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習O-Ⅱ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習P-Ⅰ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習P-Ⅱ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習Q-Ⅰ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習Q-Ⅱ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習R-Ⅰ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習R-Ⅱ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習S-Ⅰ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習S-Ⅱ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習T-Ⅰ	3・4			2		
	英語圏文学・文化専門演習T-Ⅱ	3・4			2		

1 2 (各自登録コース8以上・他コース4以上)

I G E C
E S プログラム : 3
4 0 4

専攻科目
選択必修科目

英語圏文学・文化分野
(I E S)

授 業 科 目 の 名 称		授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
			必修	選択	自由	
専攻科目 選択必修科目	共通科目 (I E S)	Presentation and Discussion I	3・4		2	4
		Presentation and Discussion II	3・4		2	
		Communicative Writing I	3・4		2	
		Communicative Writing II	3・4		2	
		通訳演習 I	3・4		2	
		通訳演習 II	3・4		2	
		翻訳演習 I	3・4		2	
		翻訳演習 II	3・4		2	
	(専門研究 I E S)	教職基礎研究 I	2		2	
		教職基礎研究 II	2		2	
		専門研究 I	3		2	
		専門研究 II	3		2	
		卒業論文	4		6	
	Study Abroad (GEC)	GEC Study Abroad Studies on Literature, Cultures & Communication	2	10		10
	グローバル 英語 コミュニ ケーショ ン (G E C)	Introduction to World Literature	1		2	12 (Graduation Projectを含む)
		Introduction to Global Culture	1		2	
		Introduction to Global Communication	1		2	
		Introductory Seminar in World Literature	2		2	
		Introductory Seminar in Global Culture	2		2	
		Introductory Seminar in Global Communication	2		2	
		Advanced Seminar I in World Literature	3		2	
		Advanced Seminar II in World Literature	3		2	
		Translation Studies I	3		2	
		Translation Studies II	3		2	
		English Literary Studies I	3		2	
		English Literary Studies II	3		2	
		Advanced Seminar I in Global Culture	3		2	
		Advanced Seminar II in Global Culture	3		2	
		Global Citizenship Studies I	3		2	
		Global Citizenship Studies II	3		2	
		Comparative Culture Studies I	3		2	
		Comparative Culture Studies II	3		2	
		Advanced Seminar I in Global Communication	3		2	
		Advanced Seminar II in Global Communication	3		2	
Studies on Language and Society I	3		2			
Studies on Language and Society II	3		2			
Comparative Language Studies I	3		2			
Comparative Language Studies II	3		2			
Graduation Project in World Literature	4		6			
Graduation Project in Global Culture	4		6			
Graduation Project in Global Communication	4		6			
J C o m m u n i c a t i o n a n d A d v a n c e d S t u d i e s (G E C)	Advanced Academic Writing	3		2		
	Practical Writing	3		2		
	English in the Media I	3		2		
	English in the Media II	3		2		
	Storytelling and Presentation I	3		2		
	Storytelling and Presentation II	3		2		
	国際日本文化論 (古典文学)	1		2		
	国際日本文化論 (近現代文学)	1		2		
	国際日本文化論 (言語)	1		2		
	国際日本文化論 (舞台芸術)	1		2		
	国際日本文化論 (映像メディア)	1		2		
	国際日本文化論 (社会)	1		2		
	国際日本文化論 (歴史)	1		2		
	国際日本文化論 (美術)	1		2		
	国際日本文化論 (現代文化)	1		2		
	国際日本文化論 (文化受容)	1		2		
国際日本文化論 (宗教)	1		2			

I G E E S C
プログラム
: :
4 3
0 4

授 業 科 目 の 名 称		授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
			必修	選択	自由	
専攻科目	選択科目 英語留学プログラム（共通）	海外英語研修A	1		2	I G E E S C プ ロ グ ラ ム : : 4 3 0 4
		海外英語研修B	1		2	
Study English Abroad(SEA) 1		1		2		
Study English Abroad(SEA) 2		2		3		
派遣交換留学 I		2・3・4		2		
派遣交換留学 II		2・3・4		2		
派遣交換留学 III		2・3・4		2		
派遣交換留学 IV		2・3・4		2		
派遣交換留学 V		2・3・4		2		
派遣交換留学 VI		2・3・4		2		
派遣交換留学 VII		2・3・4		2		
派遣交換留学 VIII		2・3・4		2		
派遣交換留学 IX		2・3・4		2		
派遣交換留学 X		2・3・4		2		
派遣交換留学 XI		2・3・4		2		
派遣交換留学 XII		2・3・4		2		
派遣交換留学 XIII		2・3・4		2		
派遣交換留学 XIV		2・3・4		2		
派遣交換留学 XV	2・3・4		2			
派遣交換留学 XVI	2・3・4		2			
専攻科目	外国語学部 共通科目（共通）	英語学概論	1		2	
		英語圏文学概論A	1		2	
		英語圏文学概論B	1		2	
		英語圏文化概論A	1		2	
		英語圏文化概論B	1		2	
		総合講座・中国と世界	2		2	
		日中関係講義	2		2	
		中華圏地域文化講義	2		2	
		日中比較文化講義	2		2	
		スペイン史 I	2		2	
		スペイン史 II	2		2	
		ラテンアメリカ史 I	2		2	
		ラテンアメリカ史 II	2		2	
		スペイン現代研究 I	2		2	
		スペイン現代研究 II	2		2	
		ラテンアメリカ現代研究 I	2		2	
		ラテンアメリカ現代研究 II	2		2	
		選択科目	通ゼイン へ共デ 外国語学部	外国語・異文化の学びとキャリア形成 I	1	
海外ボランティアA	1				2	
海外ボランティアB	2				2	
関連科目		情報処理 I	1		2	
		情報処理 II	1		2	
「卒業要件単位数」を超える専攻科目・共通教養科目、自己 が所属するプログラム以外の専攻科目、「教育の基礎的理解 に関する科目等（各教科の指導法を含む）」、他学部他学科 開講の専攻科目の単位。					20	

〔履修要件〕

- 1 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 2 一年間の履修単位数は各年次48単位（半期24単位）を上限とする（通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する）。
なお、卒業要件単位数に算入されない資格教育課程に関する科目の単位数はこの枠外とする。
- 3 2年次終了時まで専門基礎科目の修得単位数が10単位未満の者は、3・4年次配当の選択必修科目を履修できない。
- 4 「Study English Abroad (SEA)1」及び「Study English Abroad (SEA)2」は、外国語学部を専攻する学生を対象とし、他学部の学生は、履修することができない。
- 5 専攻科目の中には履修資格や人数を制限する科目がある。専門基礎科目と選択必修科目については、それぞれが所属するプログラム(Integrated English Studies (IES)又はGlobal English Communication (GEC))に指定された授業科目を履修しなくてはならない。それぞれの授業科目、プログラムで定められた条件を満たす場合、所属プログラム以外の授業科目を履修することができる。その単位は関連科目に算入される。
- 6 派遣交換留学によって派遣先の大学で修得した単位は、授業内容が英語英文学科カリキュラムポリシーに沿ったものであると認定された場合、「派遣交換留学」として単位認定を申請することができる。

〔プログラム制〕

- 1 英語英文学科に所属する学生は、1年次前学期よりIntegrated English Studies (IES) 又はGlobal English Communication (GEC)のいずれかのプログラムに所属し、履修要件・卒業要件は各プログラムの指示に従い行うものとする。
- 2 IESプログラムの専門研究・卒業論文について
 - (1) 「専門研究Ⅰ・Ⅱ」及び「卒業論文」を2年間継続して履修することを原則とする。ただし、英語科教員養成に関わる指定された「専門研究Ⅰ・Ⅱ」及び「卒業論文」については、「教職基礎研究Ⅰ・Ⅱ」を2年次に履修し、3年間の継続履修となる。
 - (2) 「専門研究Ⅰ」の履修を希望する者は、学科所定の『専門研究要項』に基づき、2年次後期（第4セメスター）に履修希望届を提出して、3年次前期（第5セメスター）に履修登録をする。
『専門研究要項』については別途指示する。
 - (3) 他学部・他学科の学生は「教職基礎研究Ⅰ・Ⅱ」「専門研究Ⅰ・Ⅱ」及び「卒業論文」を履修することができない。
- 3 GECプログラムの必修留学（2年前期）のための要件
「English Communication for Global StudiesⅠ・Ⅱ」を修得していること。
- 4 GECプログラムの留学単位の取扱いについて
GECプログラムでは2年次前期（第3セメスター）に必修として定められた留学に参加し、留学先のプログラムで専攻基礎科目「GEC Study Abroad (Intensive English)」10単位、選択必修「GEC Study Abroad Studies on Literature, Cultures & Communication」10単位、合計20単位に相当する学修を行い、帰国後に単位認定を行う。
- 5 GECプログラム Advanced SeminarⅠ・Ⅱ及びGraduation Projectについて
自己が選択したテーマのAdvanced SeminarⅠ・Ⅱ、Graduation Projectを継続して履修する。

〔学外単位認定制度〕

- 学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位数に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。
- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
 - 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
 - 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔卒業要件〕

1 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

Integrated English Studiesプログラム

共通教養科目								専攻科目							合計		
共通基盤科目							共通テーマ科目	専門基礎科目	選択必修科目			選択科目				専攻科目合計	
初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野			現代社会と市民	言語コミュニケーション・英語教育分野	英語圏文学・文化分野	共通科目	専門研究	英語留学プログラム			外国語学部共通科目
2	8		4	4	4	2	2	32	20	4	4	4			20	96	128
6								44									

Global English Communication プログラム

共通教養科目								専攻科目							合計		
共通基盤科目							共通テーマ科目	専門基礎科目	選択必修科目			選択科目				専攻科目合計	
初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野			現代社会と市民	Study Abroad	Graduation Project	グローバル英語コミュニケーション	Advanced Japanese Studies and	英語留学プログラム			外国語学部共通科目
2	8		4	4	4	2	2	32	20	10	6	6			20	96	128
6								34									

2 共通教養科目については、次の単位を含めて32単位以上修得すること。

- (1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。
- (2) 一外国語を8単位以上。ただし、「日本語」は外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）が申請により選択することができる。なお、GECプログラムに所属する者に限り、8単位を二つの外国語によって満たすことができる。その場合、一外国語につき4単位以上修得すること。
- (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上。
- (4) 人間形成の分野から2単位以上。
- (5) 共通テーマ科目から2単位以上。
- (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。

3 専攻科目から次の単位を含めて修得すること。

- (1) 専門基礎科目から20単位以上。
- (2) IESプログラムの場合、言語コミュニケーション・英語教育分野、英語圏文学・文化分野の科目からそれぞれ4単位以上、「共通科目」から4単位以上を含め、選択必修科目及び選択科目から56単位以上。
- (3) GECプログラムの場合、「選択必修（Study Abroad）」から10単位以上、「選択必修（グローバル英語コミュニケーション）」から12単位以上を含め、選択必修科目及び選択科目から56単位以上。

なお「Graduation Project in World Literature」「Graduation Project in Global Culture」「Graduation Project in Global Communication」のいずれか6単位を修得しなければならない。

4 外国語学部共通科目（選択科目）は、8単位まで卒業要件単位数に算入することができる。

5 関連科目から20単位以上を修得すること。

関連科目の単位として算入できるものは次のとおりとする。

- (1) 共通教養科目、自己が所属するプログラムの専門基礎科目、選択必修科目、選択科目の「卒業要件単位数」を超える単位。
- (2) 教職課程本登録者が修得した「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。（上限6単位）
- (3) 自己が所属するプログラム（IES又はGEC）以外の専攻科目の単位。
- (4) 他学部他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部・他学科が受講を認めない科目については、履修することができない。

(8) 外国語学部 スペイン語学科 専攻科目

①言語文化コース

授 業 科 目 の 名 称		授 業 を 行 う 年 次	単位数又は時間数			卒業要件単位数					
			必修	選択	自由						
専 攻 科 目	ス ペ イ ン 語 演 習 科 目	スペイン語演習Ⅰ-1(会話)	1		2	30単位					
		スペイン語演習Ⅰ-2(会話)	1		2						
		スペイン語演習Ⅰ-1(総合)	1		4						
		スペイン語演習Ⅰ-2(総合)	1		4						
		スペイン語演習Ⅰ-2(総合)(インテンシブ)	1		4						
		スペイン語演習Ⅱ-1(会話)	2		2						
		スペイン語演習Ⅱ-2(会話)	2		2						
		スペイン語演習Ⅱ-1(文法)	2		2						
		スペイン語演習Ⅱ-1(文法)(インテンシブ)	2		2						
		スペイン語演習Ⅱ-2(文法)	2		2						
		スペイン語演習Ⅱ-1(読解)	2		2						
		スペイン語演習Ⅱ-1(読解)(インテンシブ)	2		2						
		スペイン語演習Ⅱ-2(読解)	2		2						
		スペイン語圏留学プログラム A	2		6						
		スペイン語圏派遣交換留学 A-1	2		6						
		スペイン語演習Ⅲ-1(会話)	3		1						
		スペイン語演習Ⅲ-1(会話)(インテンシブ)	3		1						
		スペイン語演習Ⅲ-2(会話)	3		1						
		スペイン語演習Ⅲ-2(会話)(インテンシブ)	3		1						
		スペイン語演習Ⅲ-1(作文)	3		1						
		スペイン語演習Ⅲ-1(作文)(インテンシブ)	3		1						
		スペイン語演習Ⅲ-2(作文)	3		1						
		スペイン語演習Ⅲ-2(作文)(インテンシブ)	3		1						
		スペイン語演習Ⅲ-1(読解)	3		1						
		スペイン語演習Ⅲ-2(読解)	3		1						
		スペイン語圏派遣交換留学 A-2	3		3						
		スペイン語圏派遣交換留学 A-3	3		3						
		目	選 択 必 修 科 目 (共通)	スペイン語圏言語文化概論	1				2	10単位	6単位
				スペイン語圏地域文化概論	1				2		
				上級スペイン語会話Ⅰ-1	2				1		
				上級スペイン語会話Ⅰ-2	2				1		
				スペイン語会話Ⅰ-1	2				1		
				スペイン語会話Ⅰ-2	2				1		
スペイン史Ⅰ	2				2						
スペイン史Ⅱ	2				2						
ラテンアメリカ史Ⅰ	2				2						
ラテンアメリカ史Ⅱ	2				2						
スペイン現代研究Ⅰ	2				2						
スペイン現代研究Ⅱ	2				2						
ラテンアメリカ現代研究Ⅰ	2				2						
ラテンアメリカ現代研究Ⅱ	2				2						
スペイン語学研究セミナー	2				2						
スペイン語圏芸術研究セミナー	2				2						
ポルトガル・ブラジル語Ⅰ-1	2				1						
ポルトガル・ブラジル語Ⅰ-2	2				1						
スペイン語圏留学プログラム B	2				6						
スペイン語圏派遣交換留学 B-1	2				2						
スペイン語圏派遣交換留学 B-2	2				2						
スペイン語圏派遣交換留学 B-3	2				2						
スペイン語圏派遣交換留学 B-4	2				2						
スペイン語圏派遣交換留学 B-5	2		2								
スペイン語圏派遣交換留学 B-6	2		1								

授 業 科 目 の 名 称		授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			卒 業 要 件 単 位 数	
			必 修	選 択	自 由		
専 攻 科 目	選 択 必 修 科 目 A	上級スペイン語会話Ⅱ-1	3・4	1		22単位	6単位
		上級スペイン語会話Ⅱ-2	3・4	1			
		スペイン語会話Ⅱ-1	3・4	1			
		スペイン語会話Ⅱ-2	3・4	1			
		スペイン語文学講読Ⅰ-1	3・4	2			
		スペイン語文学講読Ⅰ-2	3・4	2			
		スペイン語時事文講読Ⅰ-1	3・4	2			
		スペイン語時事文講読Ⅰ-2	3・4	2			
		スペイン語通訳・翻訳講座Ⅰ	3・4	2			
		スペイン語通訳・翻訳講座Ⅱ	3・4	2			
		ビジネス・スペイン語Ⅰ	3・4	1			
		ビジネス・スペイン語Ⅱ	3・4	1			
		ラテン語Ⅰ	3・4	1			
		ラテン語Ⅱ	3・4	1			
		スペイン語史Ⅰ	3・4	2			
		スペイン語史Ⅱ	3・4	2			
		スペイン語学Ⅰ	3・4	2			
		スペイン語学Ⅱ	3・4	2			
		一般音声学Ⅰ	3・4	2			
		一般音声学Ⅱ	3・4	2			
		ポルトガル・ブラジル語Ⅱ-1	3・4	1			
		ポルトガル・ブラジル語Ⅱ-2	3・4	1			
		スペイン語圏地域言語入門Ⅰ	3・4	2			
		スペイン語圏地域言語入門Ⅱ	3・4	2			
		スペイン語圏派遣交換留学C-1	3・4	2			
		スペイン語圏派遣交換留学C-2	3・4	2			
		スペイン語圏派遣交換留学C-3	3・4	2			
		スペイン語圏派遣交換留学C-4	3・4	2			
		スペイン語圏派遣交換留学C-5	3・4	2			
		スペイン語圏派遣交換留学C-6	3・4	2			
	スペイン語圏派遣交換留学C-7	3・4	2				
	スペイン語圏派遣交換留学C-8	3・4	2				
	スペイン語圏派遣交換留学C-9	3・4	2				
スペイン語圏派遣交換留学C-10	3・4	1					
スペイン語圏派遣交換留学C-11	3・4	1					
スペイン語圏言語文化研究ゼミナールⅠ	3	4					
選 択 必 修 科 目 B	上級スペイン語会話Ⅲ-1	4	1		6単位		
	上級スペイン語会話Ⅲ-2	4	1				
	スペイン語会話Ⅲ-1	4	1				
	スペイン語会話Ⅲ-2	4	1				
	スペイン語アカデミックライティングⅠ	4	1				
	スペイン語アカデミックライティングⅡ	4	1				
	スペイン語文学講読Ⅱ-1	4	2				
	スペイン語文学講読Ⅱ-2	4	2				
	スペイン語時事文講読Ⅱ-1	4	2				
	スペイン語時事文講読Ⅱ-2	4	2				
	スペイン語圏派遣交換留学D-1	4	2				
	スペイン語圏派遣交換留学D-2	4	2				
	スペイン語圏派遣交換留学D-3	4	2				
	スペイン語圏派遣交換留学D-4	4	1				
スペイン語圏言語文化研究ゼミナールⅡ	4	4					

授 業 科 目 の 名 称		授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			卒 業 要 件 単 位 数
			必 修	選 択	自 由	
専 攻 科 目	自 由 選 択 科 目	スペイン文学 I	3・4		2	6単位
		スペイン文学 II	3・4		2	
		ラテンアメリカ文学 I	3・4		2	
		ラテンアメリカ文学 II	3・4		2	
		スペイン政治経済 I	3・4		2	
		スペイン政治経済 II	3・4		2	
		ラテンアメリカ政治経済 I	3・4		2	
		ラテンアメリカ政治経済 II	3・4		2	
		ブラジル事情 I	3・4		2	
		ブラジル事情 II	3・4		2	
		国際関係論 I	3・4		2	
		国際関係論 II	3・4		2	
		スペイン芸術論	3・4		2	
		ラテンアメリカ芸術論	3・4		2	
		国際協力研修講座	3・4		2	
		スペイン研究 I (総合)	4		2	
		スペイン研究 II (総合)	4		2	
		ラテンアメリカ研究 I (総合)	4		2	
		ラテンアメリカ研究 II (総合)	4		2	
		スペイン語圏地域文化研究ゼミナール I	3		4	
スペイン語圏地域文化研究ゼミナール II	4		4			
関 連 科 目	外国語学部 キャリアデザイン科目	外国語・異文化の学びとキャリア形成 I	1		2	20単位
	外 国 語 学 部 共 通 科 目	英語学概論	2		2	
		英語圏文学概論A	2		2	
		英語圏文学概論B	2		2	
		英語圏文化概論A	2		2	
		英語圏文化概論B	2		2	
		総合講座・中国と世界	2		2	
		中華圏地域文化講義	2		2	
		日中関係講義	2		2	
		日中比較文化講義	2		2	
		情報処理 I	1		2	
		情報処理 II	1		2	
		スペイン語圏短期留学プログラム	1		3	
		留学プログラム プレ演習	2		2	
スペイン語圏留学プログラム C-1	2		2			
スペイン語圏留学プログラム C-2	2		2			
スペイン語圏留学プログラム C-3	3		2			
「英語コミュニケーション特修副専攻」で修得した単位 日本語教員養成課程登録者が修得した「国際日本学部国際文化交流学科開講の日本語教育研究科目群」の単位 上記以外の共通教養科目、他学部他学科開講の専攻科目および「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」						

【履修要件】

- 1 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 2 一年間の履修単位数は各年次48単位（半期24単位）を上限とする（通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する）。
なお、卒業要件単位数に算入されない資格教育課程に関する科目の単位数はこの枠外とする。
- 3 専攻科目の中には履修資格や人数を制限する科目がある。
- 4 派遣交換留学によって派遣先の大学で修得した単位は、授業内容がスペイン語学科のカリキュラムポリシーに沿ったもので認定された場合、「スペイン語圏派遣交換留学」として単位認定を申請することができる。

【コース制】

- 1 3年次より、学科所定の手続きにより、「言語文化コース」又は「地域文化コース」のいずれかを選択しなければならない。
- 2 原則として中途でのコース変更は認められない。

【進級要件】

（2年次から3年次）

- 1 2年次終了までに、次の単位を修得しなければならない。
（1）スペイン語演習科目より18単位以上。
（2）選択必修科目（共通）より10単位以上。
- 2 本学の派遣交換留学制度又はスペイン語学科の留学プログラムによる海外留学のため進級要件を満たせない場合は、学科所手続きにより進級を認められることがある。

【学外単位認定制度】

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

【卒業要件】

- 1 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

共通教養科目							専攻科目							合計
共通基盤科目						共通テーマ	スペイン語演習科目	選択必修科目（共通）	選択必修科目A	選択必修科目B	自由選択科目	関連科目	専攻科目合計	
初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野								現代社会と市民
2	8	6				2	32	30	6			20	94	126

- 2 共通教養科目については、次の単位を含めて32単位以上修得すること。
 - (1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。
 - (2) 外国語科目は英語8単位を修得すること。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、英語に換えて、4～6単位を日本語とすることができる。なお、8単位に不足する単位は英語で補うものとする。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上。
 - (5) 共通テーマ科目から2単位以上。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
- 3 専攻科目（関連科目を除く）から、次の単位を含めて74単位以上を修得すること。
 - (1) スペイン語演習科目30単位。
 - (2) 選択必修科目から以下の(3) (4) (5)の単位を含めて44単位以上。
 - (3) 選択必修科目（共通）から10単位以上。
 - (4) 選択必修科目Aから22単位以上。
 - (5) 選択必修科目Bから6単位以上。
- 4 関連科目から20単位以上を修得すること。
関連科目の単位として算入できるものは次のとおりとする。
 - (1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。
 - (2) 教職課程本登録者が修得した「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。（上限6単
 - (3) 外国語学部キャリアデザイン科目、外国語学部共通科目の単位。
 - (4) 「英語コミュニケーション特修副専攻」登録者が修得した指定科目の単位。
 - (5) 日本語教員養成課程登録者が修得した国際文化交流学科開講の「言語・メディア科目群」と「日本語教育研究科目日本語教員養成課程の科目の単位。
 - (6) 他学部他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部・他学科が受講を認めない科目については、履修することができない。

②地域文化コース

授 業 科 目 の 名 称		授 業 を 行 う 年 次	単位数又は時間数			卒業要件単位数		
			必修	選 択	自 由			
専 攻 科 目	ス ペ イ ン 語 演 習 科 目	スペイン語演習Ⅰ-1 (会話)	1		2	30単位		
		スペイン語演習Ⅰ-2 (会話)	1		2			
		スペイン語演習Ⅰ-1 (総合)	1		4			
		スペイン語演習Ⅰ-2 (総合)	1		4			
		スペイン語演習Ⅰ-2 (総合) (インテンシブ)	1		4			
		スペイン語演習Ⅱ-1 (会話)	2		2			
		スペイン語演習Ⅱ-2 (会話)	2		2			
		スペイン語演習Ⅱ-1 (文法)	2		2			
		スペイン語演習Ⅱ-1 (文法) (インテンシブ)	2		2			
		スペイン語演習Ⅱ-2 (文法)	2		2			
		スペイン語演習Ⅱ-1 (読解)	2		2			
		スペイン語演習Ⅱ-1 (読解) (インテンシブ)	2		2			
		スペイン語演習Ⅱ-2 (読解)	2		2			
		スペイン語圏留学プログラム A	2		6			
		スペイン語圏派遣交換留学 A-1	2		6			
		スペイン語演習Ⅲ-1 (会話)	3		1			
		スペイン語演習Ⅲ-1 (会話) (インテンシブ)	3		1			
		スペイン語演習Ⅲ-2 (会話)	3		1			
		スペイン語演習Ⅲ-2 (会話) (インテンシブ)	3		1			
		スペイン語演習Ⅲ-1 (作文)	3		1			
		スペイン語演習Ⅲ-1 (作文) (インテンシブ)	3		1			
		スペイン語演習Ⅲ-2 (作文)	3		1			
		スペイン語演習Ⅲ-2 (作文) (インテンシブ)	3		1			
		スペイン語演習Ⅲ-1 (読解)	3		1			
	スペイン語演習Ⅲ-2 (読解)	3		1				
	スペイン語圏派遣交換留学 A-2	3		3				
	スペイン語圏派遣交換留学 A-3	3		3				
		選 択 必 修 科 目 (共 通)	スペイン語圏言語文化概論	1		2	10単位	6単位
			スペイン語圏地域文化概論	1		2		
			上級スペイン語会話Ⅰ-1	2		1		
			上級スペイン語会話Ⅰ-2	2		1		
			スペイン語会話Ⅰ-1	2		1		
			スペイン語会話Ⅰ-2	2		1		
スペイン史Ⅰ			2		2			
スペイン史Ⅱ			2		2			
ラテンアメリカ史Ⅰ			2		2			
ラテンアメリカ史Ⅱ			2		2			
スペイン現代研究Ⅰ			2		2			
スペイン現代研究Ⅱ			2		2			
ラテンアメリカ現代研究Ⅰ			2		2			
ラテンアメリカ現代研究Ⅱ			2		2			
スペイン語学研究セミナー			2		2			
スペイン語圏芸術研究セミナー			2		2			
ポルトガル・ブラジル語Ⅰ-1			2		1			
ポルトガル・ブラジル語Ⅰ-2			2		1			
スペイン語圏留学プログラム B			2		6			
スペイン語圏派遣交換留学 B-1			2		2			
スペイン語圏派遣交換留学 B-2			2		2			
スペイン語圏派遣交換留学 B-3			2		2			
スペイン語圏派遣交換留学 B-4			2		2			
スペイン語圏派遣交換留学 B-5			2		2			
スペイン語圏派遣交換留学 B-6	2		1					

授 業 科 目 の 名 称		授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			卒 業 要 件 単 位 数	
			必 修	選 択	自 由		
専 攻 科 目	選 択 必 修 科 目 A	スペイン文学 I	3・4		2	22単位	6単位
		スペイン文学 II	3・4		2		
		ラテンアメリカ文学 I	3・4		2		
		ラテンアメリカ文学 II	3・4		2		
		スペイン政治経済 I	3・4		2		
		スペイン政治経済 II	3・4		2		
		ラテンアメリカ政治経済 I	3・4		2		
		ラテンアメリカ政治経済 II	3・4		2		
		ブラジル事情 I	3・4		2		
		ブラジル事情 II	3・4		2		
		国際関係論 I	3・4		2		
		国際関係論 II	3・4		2		
		スペイン芸術論	3・4		2		
		ラテンアメリカ芸術論	3・4		2		
		ポルトガル・ブラジル語 II-1	3・4		1		
		ポルトガル・ブラジル語 II-2	3・4		1		
		スペイン語圏地域言語入門 I	3・4		2		
		スペイン語圏地域言語入門 II	3・4		2		
		国際協力研修講座	3・4		2		
		スペイン語圏派遣交換留学 C-1	3・4		2		
		スペイン語圏派遣交換留学 C-2	3・4		2		
		スペイン語圏派遣交換留学 C-3	3・4		2		
		スペイン語圏派遣交換留学 C-4	3・4		2		
		スペイン語圏派遣交換留学 C-5	3・4		2		
		スペイン語圏派遣交換留学 C-6	3・4		2		
		スペイン語圏派遣交換留学 C-7	3・4		2		
		スペイン語圏派遣交換留学 C-8	3・4		2		
		スペイン語圏派遣交換留学 C-9	3・4		2		
	スペイン語圏派遣交換留学 C-10	3・4		1			
	スペイン語圏派遣交換留学 C-11	3・4		1			
	スペイン語圏地域文化研究ゼミナール I	3		4			
	選 択 必 修 科 目 B	上級スペイン語会話Ⅲ-1	4		1	6単位	
		上級スペイン語会話Ⅲ-2	4		1		
スペイン語会話 Ⅲ-1		4		1			
スペイン語会話 Ⅲ-2		4		1			
スペイン語アカデミックライティング I		4		1			
スペイン語アカデミックライティング II		4		1			
スペイン研究 I (総合)		4		2			
スペイン研究 II (総合)		4		2			
ラテンアメリカ研究 I (総合)		4		2			
ラテンアメリカ研究 II (総合)		4		2			
スペイン語圏派遣交換留学 D-1		4		2			
スペイン語圏派遣交換留学 D-2		4		2			
スペイン語圏派遣交換留学 D-3		4		2			
スペイン語圏派遣交換留学 D-4		4		1			
スペイン語圏地域文化研究ゼミナール II		4		4			

授 業 科 目 の 名 称		授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			卒 業 要 件 単 位 数	
			必 修	選 択	自 由		
専 攻 科 目	自由 選 択 科 目	上級スペイン語会話Ⅱ-1	3・4	1		6単位	
		上級スペイン語会話Ⅱ-2	3・4	1			
		スペイン語会話Ⅱ-1	3・4	1			
		スペイン語会話Ⅱ-2	3・4	1			
		スペイン語文学講読Ⅰ-1	3・4	2			
		スペイン語文学講読Ⅰ-2	3・4	2			
		スペイン語時事文講読Ⅰ-1	3・4	2			
		スペイン語時事文講読Ⅰ-2	3・4	2			
		スペイン語通訳・翻訳講座Ⅰ	3・4	2			
		スペイン語通訳・翻訳講座Ⅱ	3・4	2			
		ラテン語Ⅰ	3・4	1			
		ラテン語Ⅱ	3・4	1			
		スペイン語史Ⅰ	3・4	2			
		スペイン語史Ⅱ	3・4	2			
		スペイン語学Ⅰ	3・4	2			
		スペイン語学Ⅱ	3・4	2			
		一般音声学Ⅰ	3・4	2			
		一般音声学Ⅱ	3・4	2			
		ビジネス・スペイン語Ⅰ	3・4	1			
		ビジネス・スペイン語Ⅱ	3・4	1			
	スペイン語文学講読Ⅱ-1	4	2				
	スペイン語文学講読Ⅱ-2	4	2				
	スペイン語時事文講読Ⅱ-1	4	2				
	スペイン語時事文講読Ⅱ-2	4	2				
	スペイン語圏言語文化研究ゼミナールⅠ	3	4				
	スペイン語圏言語文化研究ゼミナールⅡ	4	4				
	外国語学部キャリアデザイン科目	外国語・異文化の学びとキャリア形成Ⅰ	1	2		20単位	
	関 連 科 目	外国 語 学 部 共 通 科 目	英語学概論	2	2		
			英語圏文学概論A	2	2		
英語圏文学概論B			2	2			
英語圏文化概論A			2	2			
英語圏文化概論B			2	2			
総合講座・中国と世界			2	2			
中華圏地域文化講義			2	2			
日中関係講義			2	2			
日中比較文化講義			2	2			
関 連 科 目	外国 語 学 部 共 通 科 目	情報処理Ⅰ	1	2			
		情報処理Ⅱ	1	2			
		スペイン語圏短期留学プログラム	1	3			
		留学プログラム プレ演習	2	2			
		スペイン語圏留学プログラム C-1	2	2			
		スペイン語圏留学プログラム C-2	2	2			
		スペイン語圏留学プログラム C-3	3	2			
		「英語コミュニケーション特修副専攻」で修得した単位 日本語教員養成課程登録者が修得した「国際日本学部国際文化交流学科 開講の日本語教育研究科目群」の単位 上記以外の共通教養科目、他学部他学科開講の専攻科目および「教育の 基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」					

【履修要件】

- 1 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 2 一年間の履修単位数は各年次48単位（半期24単位）を上限とする（通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する）。
なお、卒業要件単位数に算入されない資格教育課程に関する科目の単位数はこの枠外とする。
- 3 専攻科目の中には履修資格や人数を制限する科目がある。
- 4 派遣交換留学によって派遣先の大学で修得した単位は、授業内容がスペイン語学科のカリキュラムポリシーに沿ったもので認定された場合、「スペイン語圏派遣交換留学」として単位認定を申請することができる。

【コース制】

- 1 3年次より、学科所定の手続きにより、「言語文化コース」又は「地域文化コース」のいずれかを選択しなければならない。
- 2 原則として中途でのコース変更は認められない。

【進級要件】

（2年次から3年次）

- 1 2年次終了までに、次の単位を修得しなければならない。
（1）スペイン語演習科目より18単位以上。
（2）選択必修科目（共通）より10単位以上。
- 2 本学の派遣交換留学制度又はスペイン語学科の留学プログラムによる海外留学のため進級要件を満たせない場合は、学科所手続きにより進級を認められることがある。

【学外単位認定制度】

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

【卒業要件】

- 1 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

共通教養科目							専攻科目							合計		
共通基盤科目						共通テーマ	スペイン語演習科目	選択必修科目（共通）	選択必修科目A	選択必修科目B	自由選択科目	関連科目	専攻科目合計			
初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野								現代社会と市民		
2	8		4	4	4	2	2	32	30	10	22	6		20	94	126
			6							6						

- 2 共通教養科目については、次の単位を含めて32単位以上修得すること。
 - （1）初年次ゼミナール2単位（必修）。
 - （2）外国語科目は英語8単位を修得すること。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、英語に換えて、4～6単位を日本語とすることができる。なお、8単位に不足する単位は英語で補うものとする。
 - （3）人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上。
 - （4）人間形成の分野から2単位以上。
 - （5）共通テーマ科目から2単位以上。
 - （6）教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
- 3 専攻科目（関連科目を除く）から、次の単位を含めて74単位以上を修得すること。
 - （1）スペイン語演習科目30単位。
 - （2）選択必修科目から以下の（3）（4）（5）の単位を含めて44単位以上。
 - （3）選択必修科目（共通）から10単位以上。
 - （4）選択必修科目Aから22単位以上。
 - （5）選択必修科目Bから6単位以上。
- 4 関連科目から20単位以上を修得すること。
関連科目の単位として算入できるものは次のとおりとする。
 - （1）共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。
 - （2）教職課程本登録者が修得した「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。（上限6単
 - （3）外国語学部キャリアデザイン科目、外国語学部共通科目の単位。
 - （4）「英語コミュニケーション特修副専攻」登録者が修得した指定科目の単位。
 - （5）日本語教員養成課程登録者が修得した国際文化交流学科開講の「言語・メディア科目群」と「日本語教育研究科目日本語教員養成課程の科目の単位。
 - （6）他学部他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部・他学科が受講を認めない科目については、履修することができない。

(9) 外国語学部 中国語学科 専攻科目

授 業 科 目 の 名 称		授 業 を 行 う 年 次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選 択	自 由		
専 攻 科 目	演習 中国 科目	中国学演習A	3	2		12単位	
		中国学演習B	3	2			
		中国学卒論演習A	4	4			
		中国学卒論演習B	4	4			
	初習中国語専修科目	中国語演習 I a (基礎) A	1	1		中国語初習者 20単位	
		中国語演習 I a (基礎) B	1	1			
		中国語演習 I b (基礎) A	1	1			
		中国語演習 I b (基礎) B	1	1			
		中国語演習 I c (リスニング) A	1	1			
		中国語演習 I c (リスニング) B	1	1			
		中国語演習 I d (会話) A	1	1			
		中国語演習 I d (会話) B	1	1			
		中国語演習 II a (総合) A	2	1			
		中国語演習 II a (総合) B	2	1			
		中国語演習 II b (作文) A	2	1			
		中国語演習 II b (作文) B	2	1			
		中国語演習 II c (リスニング) A	2	1			
		中国語演習 II c (リスニング) B	2	1			
		中国語演習 II d (コミュニケーション) A	2	1			
		中国語演習 II d (コミュニケーション) B	2	1			
		中国語演習 III a (総合) A	3	1			
		中国語演習 III a (総合) B	3	1			
	中国語演習 III b (コミュニケーション) A	3	1				
	中国語演習 III b (コミュニケーション) B	3	1				
	既習中国語専修科目	必修科目	高級中国語演習 I (基礎)A	1	1		中国語既習者 20単位
			高級中国語演習 I (基礎)B	1	1		
			中日翻訳演習 I (基礎)	1	1		
			日中翻訳演習 I (基礎)	1	1		
			高級中国語演習 II (応用)A	2	1		
			高級中国語演習 II (応用)B	2	1		
			中日翻訳演習 II (応用)	2	1		
			日中翻訳演習 II (応用)	2	1		
			高級中国語演習 III (ビジネス)A	3	1		
高級中国語演習 III (ビジネス)B			3	1			
選択科目		日中文章表現論 I A	1		2		
		日中文章表現論 I B	1		2		
		日本文化論 (言語)	1		2		
		日本文化論 (歴史)	1		2		
		日本文化論 (宗教)	1		2		
		日本文化論 (社会)	2・3・4		2		
		日本文化論 (古典文学)	2・3・4		2		
日本文化論 (近現代文学)	2・3・4		2				
日本文化論 (美術)	2・3・4		2				

授 業 科 目 の 名 称				授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			卒 業 要 件 単 位 数
					必 修	選 択	自 由	
専 攻 科 目	コ ー ス 特 別 必 修 科 目 群	言 語 コ ー ス	中国語演習Ⅱ e (コミュニケーション) A	2	1			10単位
			中国語演習Ⅱ e (コミュニケーション) B	2	1			
			中国語演習Ⅱ f (翻訳) A	2	1			
			中国語演習Ⅱ f (翻訳) B	2	1			
			中国語演習Ⅲ c (翻訳) A	3	1			
			中国語演習Ⅲ c (翻訳) B	3	1			
			中国語演習Ⅳ (総合) A	4	1			
			中国語演習Ⅳ (総合) B	4	1			
	社 会 文 化 コ ー ス	中華圏地域文化講義	2	2				
		日中関係講義	2	2				
		日中比較文化講義	2	2				
		中国学フィールド演習	3	2				
	概 説	中国政治経済概説A	1		2		12単位	
		中国政治経済概説B	1		2			
		中国社会概説A	1		2			
		中国社会概説B	1		2			
		中国歴史概説A	1		2			
		中国歴史概説B	1		2			
		中国学概説	1		2			
		中国言語概説A	2		2			
		中国言語概説B	2		2			
		中国文学概説A	2		2			
		中国文学概説B	2		2			
		総合講座・中国と世界	2		2			
	選 択 科 目	特 講	中国言語特講ⅠA	3・4		2	特講・表 現法演習 から16単 位	
			中国言語特講ⅠB	3・4		2		
			中国言語特講ⅠC	3・4		2		
			中国言語特講ⅠD	3・4		2		
			中国言語特講ⅡA	3・4		2		
			中国言語特講ⅡB	3・4		2		
			中国言語特講ⅡC	3・4		2		
			中国言語特講ⅡD	3・4		2		
			中国文化特講A	3・4		2		
中国文化特講B			3・4		2			
中国文化特講C			3・4		2			
中国文化特講D			3・4		2			
中国歴史特講A			3・4		2			
中国歴史特講B			3・4		2			
中国歴史特講C			3・4		2			
中国歴史特講D			3・4		2			
中国社会特講A			3・4		2			
中国社会特講B			3・4		2			
中国社会特講C			3・4		2			
中国社会特講D			3・4		2			
中国政治経済特講A			3・4		2			
中国政治経済特講B			3・4		2			
中国政治経済特講C			3・4		2			
中国政治経済特講D			3・4		2			
中国学特講	3・4		2					

授 業 科 目 の 名 称			授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			卒 業 要 件 単 位 数
				必 修	選 択	自 由	
専 攻 科 目	選 択 科 目	表 現 法 演 習	中国語表現法演習Ⅱ (HSK基礎) A	2		2	特講・表 現法演習 から16単 位
			中国語表現法演習Ⅱ (HSK基礎) B	2		2	
			中国語表現法演習Ⅲ a (読解応用) A	3		2	
			中国語表現法演習Ⅲ a (読解応用) B	3		2	
			中国語表現法演習Ⅲ a (HSK応用) C	3		2	
			中国語表現法演習Ⅲ a (HSK応用) D	3		2	
			中国語表現法演習Ⅲ b (会話応用) A	3		2	
			中国語表現法演習Ⅲ b (会話応用) B	3		2	
			中国語表現法演習Ⅲ b (翻訳) C	3		2	
			中国語表現法演習Ⅲ b (翻訳) D	3		2	
			中国語表現法演習Ⅲ c (聴解応用) A	3		2	
			中国語表現法演習Ⅲ c (聴解応用) B	3		2	
			中国語表現法演習Ⅲ c (台湾事情) C	3		2	
			中国語表現法演習Ⅲ c (台湾事情) D	3		2	
専 攻 科 目	関 連 科 目	外 国 語 学 部 共 通 科 目	英語学概論	2		2	24単位
			英語圏文学概論A	2		2	
			英語圏文学概論B	2		2	
			英語圏文化概論A	2		2	
			英語圏文化概論B	2		2	
			スペイン史Ⅰ	2		2	
			スペイン史Ⅱ	2		2	
			ラテンアメリカ史Ⅰ	2		2	
			ラテンアメリカ史Ⅱ	2		2	
			スペイン現代研究Ⅰ	2		2	
			スペイン現代研究Ⅱ	2		2	
			ラテンアメリカ現代研究Ⅰ	2		2	
			ラテンアメリカ現代研究Ⅱ	2		2	
			外国語学部キャリア デザイン科目	外国語・異文化の学びとキャリア形成Ⅰ	1		
	情報処理Ⅰ	1		2			
	情報処理Ⅱ	1		2			
専攻科目（選択科目）の卒業要件単位数を超える単位、共通教養科目、「教育の基礎的理解に関する科目等（各学科の指導法を含む）」、他学部他学科開講の専攻科目							

〔履修要件〕

- 1 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 2 一年間の履修単位数は各年次48単位（半期24単位）を上限とする（通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する）。
なお、卒業要件単位数に算入されない資格教育課程に関する科目の単位数はこの枠外とする。
- 3 専攻科目の中には履修資格や人数を制限する科目がある。
- 4 「中国学卒論演習B」は、原則として「中国学卒論演習A」を未修得のものは履修できない。
- 5 専攻科目のうち演習科目については、原則として他学部他学科の学生は履修することができない。ただし、学科及び担当教員の認めた場合はこの限りではない。
- 6 学科所定の手続きにより中国語初習者と認められたものは、「初習中国語専修科目」を履修できる。
- 7 学科所定の手続きにより中国語既修者と認められたものは、「既習中国語専修科目」を履修できる。
- 8 「既習中国語専修科目」の選択科目は、関連科目として換算する場合も含み、原則として前期・後期各学期に2単位を上限として履修することができる。

〔コース制〕

- 1 2年次で学科所定の手続きにより、「言語コース」又は「社会文化コース」のいずれかのコースを選択しなければならない。

〔進級要件〕

（2年次から3年次）

- 1 2年次終了までに、次の単位を含めて学則所定の「卒業要件単位数」のうち、60単位以上修得しなければならない。
 - (1) 外国語科目（英語）4単位以上。
 - (2) 中国語初習者の言語コース履修者は、1・2年次の初習中国語専修科目及びコース特別必修科目群（言語コース）から15単位以上。
 - (3) 中国語初習者の社会文化コース履修者は、1・2年次の初習中国語専修科目から12単位以上。
 - (4) 中国語既習者の言語コース履修者は、1・2年次の既習中国語専修科目（必修科目）及びコース特別必修科目群（言語コース）から9単位以上。
 - (5) 中国語既習者の社会文化コース履修者は、1・2年次の既習中国語専修科目（必修科目）から6単位以上。
 - (6) 本学の派遣交換留学制度による海外留学のため進級要件を満たせない場合は、学科所定の手続きにより進級を認められることがある。

〔学外単位認定制度〕

- 学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位数に算入することができる。
なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。
- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
 - 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
 - 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 1 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

【中国語初習者】

初年次ゼミナール	共通教養科目							専攻科目							合計
	外国語科目	共通基盤科目				共通テーマ科目	中国学演習科目	基幹科目		選択科目			専攻科目合計		
		教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野		現代社会と市民	初習中国語専修科目	コース特別必修科目群 (言語コース・社会文化コース)	概説	特講		表現法演習	
2	8	4	4	4	2	2	32	12	20	8	12	16	26	94	126

【中国語既習者】

初年次ゼミナール	共通教養科目							専攻科目							合計	
	外国語科目	共通基盤科目				共通テーマ科目	中国学演習科目	基幹科目		選択科目			専攻科目合計			
		教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野		現代社会と市民	既習中国語専修科目	コース特別必修科目群 (言語コース・社会文化コース)	概説	特講		表現法演習		
2	8	4	4	4	2	2	32	12	10	10	8	12	16	26	94	126

- 2 共通教養科目については、次の単位を含めて32単位以上修得すること。
 - (1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。
 - (2) 外国語は英語8単位以上。ただし、「日本語」は外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）が申請により選択することが出来る。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上。
 - (5) 共通テーマ科目から2単位以上。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
- 3 中国学演習科目12単位を修得すること。
- 4 中国語初習者は、基幹科目として初習中国語専修科目20単位を修得すること。
- 5 中国語既習者は、基幹科目として既習中国語専修科目の必修科目10単位を修得し、かつ既習中国語専修科目の選択科目から10単位以上を修得すること。
- 6 コース特別必修科目群8単位を修得すること。
- 7 選択科目の概説から12単位以上修得すること。
- 8 選択科目の特講・表現法演習から16単位以上修得すること。
- 9 「言語コース」履修者は、3年次（5セメスター、6セメスター）以上に配当されている選択科目・表現法演習から4単位以上修得すること。
- 10 関連科目から26単位以上修得すること。
関連科目の単位として算入できるものは次のとおりとする。
 - (1) 共通教養科目、専攻科目（選択科目）の「卒業要件単位数」を超える単位。
 - (2) 教職課程本登録者が修得した「教育の基礎的理解に関する科目等（各学科の指導法を含む）」の単位。（上限6単位）
 - (3) 他学部他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部・他学科が受講を認めない科目については、履修することができない。
 - (4) 外国語学部共通科目、外国語学部キャリアデザイン科目の修得した単位

(10) 国際日本学部 国際文化交流学科 専攻科目

授 業 科 目 の 名 称		授業を 行う年次	単位数又は時間			卒業要件単位数
			必修	選択	自由	
基 幹 科 目	学 部 教 養 科 目	国際倫理学	1・2・3・4		2	1 0 単 位 以 上
		国際宗教論	1・2・3・4		2	
		現代国際関係論	1・2・3・4		2	
		世界地域論	1・2・3・4		2	
		戦争と歴史認識	1・2・3・4		2	
		国際平和論	1・2・3・4		2	
		メディア・リテラシー	1・2・3・4		2	
		国際文化交流論	1・2・3・4		2	
		観光文化史	1・2・3・4		2	
		ことばと文化	1・2・3・4		2	
		多文化共生論	1・2・3・4		2	
		神奈川と観光	1・2・3・4		2	
		ことばとメディア	1・2・3・4		2	
		異文化コミュニケーション論	1・2・3・4		2	
		横浜の歴史と民俗A	1・2・3・4		2	
		ことばと人間	1・2・3・4		2	
		ジェンダー文化論	1・2・3・4		2	
		オリエンタリズム論	1・2・3・4		2	
		比較思想論	1・2・3・4		2	
		日本文化論	1・2・3・4		2	
文化とアイデンティティ	1・2・3・4		2			
手話とろう文化	1・2・3・4		2			
専 攻 科 目	演 習 ・ ゼ ミ ナ ー ル	コース演習Ⅰ	2	2		8 単 位 以 上
		コース演習Ⅱ	2	2		
		ゼミナールⅠ	3	2		
		ゼミナールⅡ	3	2		
		卒業研究Ⅰ	4		2	
		卒業研究Ⅱ	4		2	
		卒業論文	4		4	
	学 科 入 門 科 目	文化交流入門	1	2		8 単 位
		ことば学入門	1	2		
		国際日本学入門	1	2		
		観光文化入門	1	2		
展 開 科 目	英 語 (必 修)	Critical Reading and Thinking Ⅰ	2・3・4	1		6 単 位
		Critical Reading and Thinking Ⅱ	2・3・4	1		
		Public Speaking Ⅰ	2・3・4	1		
		Public Speaking Ⅱ	2・3・4	1		
		Academic Writing Ⅰ	2・3・4	1		
		Academic Writing Ⅱ	2・3・4	1		
	英 語 (選 択)	Vocabulary in Use Ⅰ	1		1	英 語 ・ 選 択 及 び 英 語 ・ 留 学 か ら 8 単 位 以 上
		Vocabulary in Use Ⅱ	1・2・3・4		1	
		English Learning Strategies Ⅰ	1		1	
		English Learning Strategies Ⅱ	1・2・3・4		1	
		Advanced Listening Ⅰ	1		1	
		Advanced Listening Ⅱ	1・2・3・4		1	
		Advanced Reading Ⅰ	1		1	
		Advanced Reading Ⅱ	2・3・4		1	
		English for Professional Purposes	1・2・3・4		1	
		Intensive English Practicum	1・2・3・4		4	
		Practicum in Intercultural Communication Ⅰ	2・3・4		1	
		Practicum in Intercultural Communication Ⅱ	1・2・3・4		1	
		Practicum in Proficiency Tests Ⅰ	2・3・4		1	
		Practicum in Proficiency Tests Ⅱ	2・3・4		1	
Business Communication Ⅰ	2・3・4		1			
Business Communication Ⅱ	2・3・4		1			
English for Study Abroad Ⅰ	1・2・3・4		1			
English for Study Abroad Ⅱ	1・2・3・4		1			
Advanced Speaking Ⅰ	2・3・4		1			
Advanced Speaking Ⅱ	1・2・3・4		1			
Discussion & Debate Ⅰ	2・3・4		1			
Discussion & Debate Ⅱ	2・3・4		1			

専攻科目から合計96単位

授 業 科 目 の 名 称		授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間			卒 業 要 件 単 位 数	
			必 修	選 択	自 由		
専 攻 科 目	展 開 科 目	英語以外の外国語（地域言語）	応用ドイツ語A I	2	1	（「国際日本学コース」は4単位以上） 同一言語 8単位以上	専攻科目から合計96単位
		応用ドイツ語A II	2	1			
		応用ドイツ語B I	2	1			
		応用ドイツ語B II	2	1			
		応用フランス語A I	2	1			
		応用フランス語A II	2	1			
		応用フランス語B I	2	1			
		応用フランス語B II	2	1			
		応用ロシア語A I	2	1			
		応用ロシア語A II	2	1			
		応用ロシア語B I	2	1			
		応用ロシア語B II	2	1			
		留学生対象中日翻訳	2・3・4	1			
		留学生対象日中翻訳	2・3・4	1			
		ビジネス日本語	2・3・4	1			
		特講イタリア語 I	3・4	2			
		特講イタリア語 II	3・4	2			
		特講韓国語 I	3・4	2			
		特講韓国語 II	3・4	2			
		特講スペイン語 I	3・4	2			
		特講スペイン語 II	3・4	2			
		特講中国語 I	3・4	2			
		特講中国語 II	3・4	2			
		特講ドイツ語 I	3・4	2			
		特講ドイツ語 II	3・4	2			
		特講フランス語 I	3・4	2			
		特講フランス語 II	3・4	2			
		特講ロシア語 I	3・4	2			
		特講ロシア語 II	3・4	2			
	特講日本語 I	3・4	2				
	特講日本語 II	3・4	2				
	地域言語（留学）	派遣交換留学（語学）E	1・2・3・4	1			
	派遣交換留学（語学）F	1・2・3・4	2				
派遣交換留学（語学）G	1・2・3・4	4					
派遣交換留学（語学）H	1・2・3・4	8					
推薦語学研修V	1・2・3・4	2					
推薦語学研修VI	1・2・3・4	2					
推薦語学研修VII	1・2・3・4	2					
推薦語学研修VIII	1・2・3・4	2					

授 業 科 目 の 名 称		授業を 行う年次	単位数又は時間			卒業要件単位数			
			必修	選択	自由				
専 攻 科 目	展 開 科 目	文化交流論(社会)	1・2・3・4		2	〔国際自 日本学 コース〕 は14単 位以上 18単 位以上	他 コ ー ス 科 目 14 単 位	専 攻 科 目 か ら 合 計 96 単 位	
		文化交流論(芸術)	1・2・3・4		2				
		文化交流論(宗教)	1・2・3・4		2				
		文化交流論(生活)	1・2・3・4		2				
		文化交流論(表象)	1・2・3・4		2				
		文化交流論(文学)	1・2・3・4		2				
		文化交流論(現代文化)	1・2・3・4		2				
		文化交流論(歴史)	1・2・3・4		2				
		比較文化論	1・2・3・4		2				
		文化交流論(言語)	1・2・3・4		2				
		地域文化論(中国)	1・2・3・4		2				
		地域文化論(韓国)	1・2・3・4		2				
		地域文化論(東南アジア)	1・2・3・4		2				
		地域文化論(イスラーム圏)	1・2・3・4		2				
		地域文化論(ヨーロッパ)	1・2・3・4		2				
		地域文化論(アフリカ)	1・2・3・4		2				
		地域文化論(北アメリカ)	1・2・3・4		2				
		地域文化論(ラテンアメリカ)	1・2・3・4		2				
		文化交流コース科目							
		観 光 文 化 コ ー ス 科 目	国際観光論	1・2・3・4					2
			ホスピタリティと観光文化	1・2・3・4					2
	人文観光論		1・2・3・4		2				
	観光行動論		1・2・3・4		2				
	観光交流史		1・2・3・4		2				
	コミュニティと地域観光文化		1・2・3・4		2				
	観光と現代社会		1・2・3・4		2				
	観光地理学		1・2・3・4		2				
	観光と持続可能性		1・2・3・4		2				
	観光メディア論		1・2・3・4		2				
	English for the Tourism and Hospitality Industry		1・2・3・4		2				
	観光文化事業論		1・2・3・4		2				
	観光地理情報論		1・2・3・4		2				
	観光通訳演習		2・3・4		2				
	Communication Skills in Business		1・2・3・4		2				
	海外観光研修		1・2・3・4		2				
	観光インターンシップⅠ		1・2・3・4		2				
	ホスピタリティ・エンタテインメント論		1・2・3・4		2				
	ホスピタリティマネジメントⅠ		1・2・3・4		2				
	観光インターンシップⅡ		1・2・3・4		2				
	観光法制度		1・2・3・4		2				
	ホスピタリティマネジメントⅡ	1・2・3・4		2					
	観光翻訳論	2・3・4		2					
文化創生概論	1・2・3・4		2						
文化資源論	1・2・3・4		2						
観光の民俗	1・2・3・4		2						
募集型・受注型企画旅行特講	1・2・3・4		2						
福祉観光論	1・2・3・4		2						

授 業 科 目 の 名 称		授業を 行う年次	単位数又は時間			卒業要件単位数			
			必修	選択	自由				
専 攻 科 目	展 開 科 目	言 語 ・ メ デ ィ ア コ ー ス 科 目	ことばの仕組みA	1・2・3・4		2	（「国際日本学コース」は14単位以上18単位以上）	他 コ ー ス 科 目 1 4 単 位 以 上	専 攻 科 目 か ら 合 計 9 6 単 位
			ことばの仕組みB	1・2・3・4		2			
			外国語の習得論A	1・2・3・4		2			
			外国語の習得論B	1・2・3・4		2			
			ことばと心	1・2・3・4		2			
			ことばとヒト・コミュニケーション	1・2・3・4		2			
			ことば学の基礎	2・3・4		2			
			ことばの発達論	2・3・4		2			
			ことばの意味	2・3・4		2			
			ことばの音	2・3・4		2			
			ことばと社会	2・3・4		2			
			ことばの比較	2・3・4		2			
			世界の言語政策	2・3・4		2			
			言語メディア論	1・2・3・4		2			
			ことばと放送メディア(コンテンツ)	1・2・3・4		2			
			ことばと出版メディア(編集・実務)	1・2・3・4		2			
			ことばとソーシャルメディア	1・2・3・4		2			
			ことばと放送メディア(実務)	1・2・3・4		2			
			ことばと広告メディア	1・2・3・4		2			
			ことばとジャーナリズムA	1・2・3・4		2			
			ことばとジャーナリズムB	1・2・3・4		2			
	ことばとマスメディアA	1・2・3・4		2					
	ことばとマスメディアB	1・2・3・4		2					
	メディア・ディスコース論	1・2・3・4		2					
	ことばとAI	1・2・3・4		2					
	博物館情報・メディア論	2・3・4		2					
	国 際 日 本 学 コ ー ス 科 目	国際日本文化論(宗教)	1・2・3・4		2				
		国際日本文化論(歴史)	1・2・3・4		2				
		国際日本文化論(言語)	1・2・3・4		2				
		国際日本文化論(古典文学)	1・2・3・4		2				
		国際日本文化論(近現代文学)	1・2・3・4		2				
		国際日本文化論(現代文化)	1・2・3・4		2				
		国際日本文化論(文化受容)	1・2・3・4		2				
		国際日本文化論(美術)	1・2・3・4		2				
		国際日本文化論(舞台芸術)	1・2・3・4		2				
		国際日本文化論(映像メディア)	1・2・3・4		2				
		国際日本文化論(社会)	1・2・3・4		2				
		日本文化論(宗教)	1・2・3・4		2				
		日本文化論(歴史)	1・2・3・4		2				
		日本文化論(言語)	1・2・3・4		2				
		日本文化論(古典文学)	2・3・4		2				
		日本文化論(近現代文学)	2・3・4		2				
日本文化論(現代文化)		1・2・3・4		2					
日本文化論(文化受容)		1・2・3・4		2					
日本文化論(美術)		1・2・3・4		2					
日本文化論(舞台芸術)		1・2・3・4		2					
日本文化論(映像メディア)		1・2・3・4		2					
日本文化論(社会)	1・2・3・4		2						
専 門 ・ 留 学	海外文化研修Ⅰ	1・2・3・4		2					
	海外文化研修Ⅱ	1・2・3・4		2					
	海外文化研修Ⅲ	1・2・3・4		2					
	海外文化研修Ⅳ	1・2・3・4		2					
	派遣交換留学(専門)A	1・2・3・4		1					
	派遣交換留学(専門)B	1・2・3・4		2					
	派遣交換留学(専門)C	1・2・3・4		4					
	派遣交換留学(専門)D	1・2・3・4		8					

授 業 科 目 の 名 称		授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間			卒 業 要 件 単 位 数
			必 修	選 択	自 由	
専 攻 科 目	留 学 ・ 実 地	派遣交換留学(実地研修)A	1・2・3・4		2	2 0 単 位
		派遣交換留学(実地研修)B	1・2・3・4		4	
	日 本 語 教 育 研 究	日本語教育事情	2		2	
		日本語教育文法	2		2	
		語用論	2		2	
		会話分析	2		2	
		日本語教育とバイリンガリズム	2		2	
		日本語意味論	2		2	
		日本語教育概論	3・4		2	
		日本語教育研究	3・4		2	
	関 連 科 目	情報処理Ⅰ	1		2	
		情報処理Ⅱ	1		2	
		東南アジア言語Ⅰ	1		1	
		東南アジア言語Ⅱ	1		1	
		アラビア語Ⅰ	1		1	
		アラビア語Ⅱ	1		1	
		ポルトガル語Ⅰ	1		1	
		ポルトガル語Ⅱ	1		1	
		アイヌ語Ⅰ	1		1	
		アイヌ語Ⅱ	1		1	
		日本語演習(応用)BⅠ	1		1	
		日本語演習(応用)BⅡ	1		1	
		日本語演習(知識)BⅠ	1		1	
		日本語演習(知識)BⅡ	1		1	
		日本語演習(理解)BⅠ	1		1	
		日本語演習(理解)BⅡ	1		1	
		日本語演習(知識)CⅠ	1		1	
		日本語演習(知識)CⅡ	1		1	
		日本語演習(理解)CⅠ	1		1	
		日本語演習(理解)CⅡ	1		1	
		日本語演習(音声)Ⅰ	1		1	
		日本語演習(音声)Ⅱ	1		1	
		日本語演習(表現)Ⅰ	1		1	
		日本語演習(表現)Ⅱ	1		1	
		ポップカルチャー論A	1・2・3・4		2	
		ポップカルチャー論B	1・2・3・4		2	
		プレゼミナールⅠ	2		2	
		プレゼミナールⅡ	2		2	
		東アジアの交流史A	2・3・4		2	
		東アジアの交流史B	2・3・4		2	
		日本のジェンダー史	2・3・4		2	
		ジェンダーの民俗	2・3・4		2	
		伝統文化論A	1・2・3・4		2	
		伝統文化論B	1・2・3・4		2	
	日本の食文化	1・2・3・4		2		
	儀礼の民俗	2・3・4		2		
芸能の民俗	2・3・4		2			
Directed ReadingsⅠ	3・4		2			
Directed ReadingsⅡ	3・4		2			
異文化の学びとキャリア形成Ⅰ	1・2・3・4		2			
<p>※上記の科目のほか、卒業要件に関連科目の単位として算入できると規定された科目</p>						

専攻科目から合計96単位

〔履修要件〕

- 1 同一授業科目を重複して履修することはできない。
- 2 1年間の履修単位数は各年次48単位（半期24単位）を上限とする（通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する）。ただし、人間形成の分野の「キャリアデザイン」及び「国内インターンシップ」は、この上限に算入しない。また、卒業要件単位数に算入されない資格教育課程に関する科目の単位数もこの枠外とする。
- 3 英語以外の外国語（第二外国語）の「日本語」は外国人留学生ならびに外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）を対象とした授業科目であり、履修には資格認定を必要とする。
- 4 学科科目のうち演習・ゼミナール科目の「コース演習Ⅰ・Ⅱ」については、原則として他学部・他学科の学生は履修することができない。
- 5 国際文化交流学科・日本文化学科以外の学生で日本語教員養成課程未登録者は、原則として日本語教育研究科目を履修することができない。

〔コース登録〕

- 1 2年次当初に「文化交流コース」、「観光文化コース」、「言語・メディアコース」、「国際日本学コース」のうち、いずれかのコースを選択し、登録しなければならない。
- 2 1のコースの変更を希望する者は、3年次当初もしくは4年次当初に「変更届」により申請し、許可を得なければならない。

〔進級要件〕

- 1 2年次終了までに、以下の単位を修得しなければならない。
 - (1) 初年次ゼミナール2単位。
 - (2) 「学科入門科目」4単位。
 - (3) 共通教養科目「外国語科目」と専攻科目「英語」のうち10単位。
 - (4) 本学の派遣交換留学制度による海外留学のため進級要件を満たせない場合は、学科所定の手続きにより進級を認められることがある。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位数に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催する「派遣交換留学」所定のプログラムで得た成果に応じて本学科で認定された単位。
- 2 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 3 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 4 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 1 4年以上在学し、学則所定の次表の卒業要件単位数を修得しなければならない。〔 〕は国際日本学コース。

共通教養科目							専攻科目							合計				
共通基盤科目							基幹科目			展開科目					専攻科目合計			
初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	現代社会と市民	共通教養科目合計	学部教養科目	演習・ゼミナール	学科入門科目	英語（第一外国語）	英語以外の外国語（第二外国語）			コース科目	他コース科目	関連科目
2	8		4	4	4	2	2	32	10	8	8	14	8 〔4〕	14 〔18〕	14		96	128
6									20									

〔共通教養科目〕

- 2 共通教養科目については、次の単位を含めて32単位以上修得すること。
 - (1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。
 - (2) 外国語科目は英語を8単位以上修得すること。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上。ただし、「キャリアデザイン」及び「国内インターンシップ」の単位は、卒業要件単位数に算入できない。
 - (5) 「共通テーマ科目」から2単位以上。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
 - (7) 人間形成の分野のうち「キャリアデザイン」及び「国内インターンシップ」の単位は、卒業要件単位数に算入できない。

〔専攻科目〕

- 3 学部教養科目から10単位以上修得すること。
- 4 演習・ゼミナールから必修科目を含めて8単位以上修得すること。
- 5 学科入門科目を8単位修得すること。
- 6 展開科目英語（第一外国語）から、必修科目の6単位を含めて、14単位以上修得すること。ただし、英語（留学）の単位を修得した場合は、その単位を上記14単位に算入することができる。
- 7 派遣交換留学において非英語プログラム（英語以外の言語で教授されるプログラム）で学修した場合、申請を経て「英語以外の外国語」を第二外国語、「英語」を第二外国語として、卒業要件単位数に算入することができる。
- 8 文化交流コース、観光文化コース、言語・メディアコースでは、「英語以外の外国語」を同一言語で8単位以上修得すること。
- 9 国際日本学コースでは、「英語以外の外国語」を同一言語で4単位以上修得すること。
- 10 文化交流コース、観光文化コース、言語・メディアコースでは、自コース科目から14単位以上修得すること。
- 11 国際日本学コースでは、自コース科目から18単位以上修得すること。
- 12 他コース科目から14単位以上修得すること。
- 13 関連科目から20単位以上修得すること。関連科目の単位として算入できるものは次のとおりとする。
 - (1) 外国語科目を除く共通教養科目の卒業要件単位数を超える単位。（上限6単位）
 - (2) 専攻科目の各科目群の卒業要件単位数を超える単位。
 - (3) 共通教養科目の外国語科目のうち次のいずれかの単位。（上限6単位）
 - ① 選択英語の「中級」「上級」の単位。
 - ② 展開科目の英語以外の外国語として選択しているものと同一言語の「中級」「上級」「特修」の単位。
 - ③ 上記①及び②以外の言語の「初級」「中級」「上級」「特修」の単位。
 - (4) 教職課程本登録者が修得した「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。（上限6単位）
 - (5) 学芸員課程登録者が修得した「学芸員に関する科目」の単位。（上限6単位）
 - (6) 他学部・他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部・他学科が受講を認めない科目については、履修することができない。

(11) 国際日本学部 日本文化学科 専攻科目

		授業科目の名称	授業を行う年次	単位数又は時間			卒業要件単位数	
				必修	選択	自由		
専攻科目	基幹科目	国際倫理学	1・2・3・4		2		10単位以上	基幹科目及び展開科目から合計92単位
		国際宗教論	1・2・3・4		2			
		現代国際関係論	1・2・3・4		2			
		世界地域論	1・2・3・4		2			
		戦争と歴史認識	1・2・3・4		2			
		国際平和論	1・2・3・4		2			
		メディア・リテラシー	1・2・3・4		2			
		国際文化交流論	1・2・3・4		2			
		観光文化史	1・2・3・4		2			
		ことばと文化	1・2・3・4		2			
		多文化共生論	1・2・3・4		2			
		神奈川と観光	1・2・3・4		2			
		ことばとメディア	1・2・3・4		2			
		異文化コミュニケーション論	1・2・3・4		2			
		横浜の歴史と民俗A	1・2・3・4		2			
		ことばと人間	1・2・3・4		2			
		ジェンダー文化論	1・2・3・4		2			
		オリエンタリズム論	1・2・3・4		2			
		比較思想論	1・2・3・4		2			
		日本文化論	1・2・3・4		2			
	手話とろう文化	1・2・3・4		2				
	文化とアイデンティティ	1・2・3・4		2				
	演習・ゼミナール	文章表現演習	1	2		10単位以上		
		文献講読演習Ⅰ	2	2				
		文献講読演習Ⅱ	2	2				
		ゼミナールⅠ	3		2			
		ゼミナールⅡ	3		2			
		日本語学演習AⅠ	3		2			
		日本語学演習AⅡ	3		2			
日本語学演習BⅠ		3		2				
日本語学演習BⅡ		3		2				
日本文学演習AⅠ		3		2				
日本文学演習AⅡ		3		2				
日本文学演習BⅠ		3		2				
日本文学演習BⅡ		3		2				
卒業研究Ⅰ		4		2				
卒業研究Ⅱ	4		2					
卒業論文	4		4					
展開科目	日本語学科目	日本語学概論	1	2		6単位以上	展開科目から12単位以上	
		日本語表現法	2・3・4		2			
		日本語文法論A	2・3・4		2			
		日本語文法論B	2・3・4		2			
		日本語史	2・3・4		2			
		日本語音声学	2・3・4		2			
		日本語語彙論	2・3・4		2			
		日本語学特講	2・3・4		2			

		授業科目の名称	授業を行う年次	単位数又は時間			卒業要件単位数			
				必修	選択	自由				
専攻科目	展開科目	日本文学科目	日本文学概論A	1		2		6 単位 以上	基幹科目及び展開科目から12単位以上	専攻科目から合計92単位
			日本文学概論B	1	2					
			日本文学史A	2・3・4		2				
			日本文学史B	2・3・4		2				
			漢文学A	2・3・4		2				
			漢文学B	2・3・4		2				
			日本古典文学特講	2・3・4		2				
			日本近代文学特講	2・3・4		2				
		文化・表象科目	現代文化論A	1・2・3・4		2				
			現代文化論B	1・2・3・4		2				
			ポップカルチャー論A	1・2・3・4		2				
			ポップカルチャー論B	1・2・3・4		2				
			伝統文化論A	1・2・3・4		2				
			伝統文化論B	1・2・3・4		2				
	書道Ⅰ		2・3・4		2					
	書道Ⅱ		2・3・4		2					
	現代美術論		2・3・4		2					
	舞台芸術論		1・2・3・4		2					
	日本伝統文化演習A(茶道・華道・服飾)		1・2・3・4		2					
	日本伝統文化演習B(音楽・絵画・工芸)		1・2・3・4		2					
	日本芸能論		1・2・3・4		2					
	日本の食文化		1・2・3・4		2					
	日本の宗教	1・2・3・4		2						
	文化受容論	1・2・3・4		2						
	日本文化発展科目	日本史概論	1・2・3・4		2					
		言語メディア論	1・2・3・4		2					
		ことばと放送メディア(コンテンツ)	1・2・3・4		2					
		ことばとジャーナリズムA	1・2・3・4		2					
		ことばとジャーナリズムB	1・2・3・4		2					
		ことばと出版メディア(編集・実務)	1・2・3・4		2					
		ことばとマスメディアA	1・2・3・4		2					
		ことばとマスメディアB	1・2・3・4		2					
		信仰の民俗	1・2・3・4		2					
		伝説・昔話の民俗	1・2・3・4		2					
		ことばと放送メディア(実務)	1・2・3・4		2					
		ことばと広告メディア	1・2・3・4		2					
儀礼の民俗		2・3・4		2						
芸能の民俗		2・3・4		2						
東アジアの交流史A		2・3・4		2						
東アジアの交流史B		2・3・4		2						
観光と現代社会		1・2・3・4		2						
観光メディア論		1・2・3・4		2						
観光地理学		1・2・3・4		2						
Intensive English Practicum		2・3・4		4						
地域文化論(中国)		1・2・3・4		2						
地域文化論(韓国)		1・2・3・4		2						
地域文化論(東南アジア)	1・2・3・4		2							
日本の美術	1・2・3・4		2							
文化交流論(宗教)	1・2・3・4		2							
文化交流論(表象)	1・2・3・4		2							
文化交流論(芸術)	1・2・3・4		2							
文化交流論(文学)	1・2・3・4		2							

		授業科目の名称	授業を行う年次	単位数又は時間			卒業要件単位数	
				必修	選択	自由		
専攻科目	日本語教育研究	日本語教育事情	2・3・4		2		20単位	専攻科目から合計92単位
		日本語教育文法	2・3・4		2			
		語用論	2・3・4		2			
		会話分析	2・3・4		2			
		日本語教育とバイリンガリズム	2・3・4		2			
		日本語意味論	2・3・4		2			
		日本語教育概論	3・4		2			
	関連科目	派遣交換留学A	1・2・3・4		1			
		派遣交換留学B	1・2・3・4		2			
		派遣交換留学C	1・2・3・4		4			
		派遣交換留学D	1・2・3・4		8			
		海外文化研修Ⅰ	1・2・3・4		2			
		海外文化研修Ⅱ	1・2・3・4		2			
		海外文化研修Ⅲ	1・2・3・4		2			
		海外文化研修Ⅳ	1・2・3・4		2			
		情報処理Ⅰ	1		2			
		情報処理Ⅱ	1		2			
		プレゼミナールⅠ	2		2			
		プレゼミナールⅡ	2		2			
		異文化の学びとキャリア形成Ⅰ	1・2・3・4		2			
<p>※上記の科目のほか、卒業要件に関連科目の単位として算入できると規定された科目</p>								

【履修要件】

- 1 同一授業科目を重複して履修することはできない。
- 2 1年間の履修単位数は各年次48単位（半期24単位）を上限とする（通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する）。ただし、教養基礎演習の「文章表現基礎演習」及び人間形成の分野の「国内インターンシップ」は、この枠外とする。また、資格教育課程に関する科目のうち、卒業要件単位数に算入できる科目（「教科教育法Ⅰ～Ⅳ（国語）」）以外の科目もこの枠外とする。
- 3 学科科目のうち演習・ゼミナール科目の「文章表現演習」「文献講読演習Ⅰ・Ⅱ」については、原則として他学部・他学科の学生は履修することができない。
- 4 国際文化交流学科・日本文化学科以外の学生で日本語教員養成課程未登録者は、原則として日本語教育研究科目を履修することができない。
- 5 国語の教職課程本登録者については、原則として演習・ゼミナールに配置されている「日本語学演習」及び「日本文学演習」を履修すること。また、展開科目では各科目群で定められている最低単位数に加えて展開科目全体から12単位以上を修得しなければならないが、その単位修得には、原則として日本語学科目及び日本文学科目に配置されている科目を当てること。

【学外単位認定制度】

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位数に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催する「派遣交換留学」所定のプログラムで得た成果に応じて本学科で認定された単位。
- 2 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 3 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 4 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

【卒業要件】

- 1 4年以上在学し、学則所定の次表の卒業要件単位数を修得しなければならない。

共通教養科目									専攻科目						合計			
共通基盤科目								共通教養科目合計	基幹科目		展開科目					専攻科目合計		
初年次ゼミナール	第一外国語科目	第二外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野		現代社会と市民	学部教養科目	演習・ゼミナール	日本語学科目	日本文学科目	文化・表象科目			日本文化発展科目	関連科目
2	8	4	4	4	4	4	2	2	36	10	10	6	6	8	8	20	92	128
			6								12							

- 2 共通教養科目から次の内訳で合計36単位以上を修得すること。ただし、「文章表現基礎演習」「国内インターンシップ」は卒業要件単位数に算入できない。

- (1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。
- (2) 第一外国語を8単位以上修得すること。ただし、外国人留学生は母語以外の言語を選択すること。
- (3) 第二外国語として、第一外国語以外の外国語（同一言語に限る）科目より4単位以上修得すること。ただし、外国人留学生は母語以外の言語を選択すること。
- (4) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上修得すること。
- (5) 人間形成の分野から2単位以上修得すること。
- (6) 共通テーマ科目から2単位以上修得すること。
- (7) 教養基礎演習・人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から、上記（4）～（6）で定められた単位数に加えて、6単位以上修得すること。

- 3 学部教養科目から10単位以上修得すること。
- 4 演習・ゼミナールから必修科目を含めて10単位以上修得すること。
- 5 日本語学科目及び日本文学科目からそれぞれ6単位以上修得すること。
- 6 文化・表象科目及び日本文化発展科目からそれぞれ8単位以上修得すること。
- 7 上記の5、6の計28単位の他に、展開科目から12単位以上修得すること。
- 8 上記の3～7の計60単位の他に、基幹科目及び展開科目から12単位以上修得すること。
- 9 関連科目から20単位以上修得すること。

関連科目の単位として算入できるものは次のとおりとする。

- (1) 外国語科目を除く共通教養科目の卒業要件単位数を超える単位。（上限6単位）
- (2) 専攻科目の各科目群の卒業要件単位数を超える単位。
- (3) 第一外国語科目、第二外国語科目の卒業要件単位数を超える単位。（上限6単位）
- (4) 教職課程本登録者が修得した「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」のうち、「教科教育法Ⅰ（国語）」「教科教育法Ⅱ（国語）」「教科教育法Ⅲ（国語）」「教科教育法Ⅳ（国語）」の8単位。
- (5) 学芸員課程登録者が修得した「学芸員に関する科目」の単位。（上限6単位）
- (6) 他学部・他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部・他学科が受講を認めない科目については、履修することができない。

(12) 国際日本学部 歴史民俗学科 専攻科目

		授業科目の名称	授業を行う年次	単位数又は時間			卒業要件単位数	
				必修	選択	自由		
専攻科目	基幹科目	国際倫理学	1・2・3・4		2		8 単位以上	専攻科目から合計96単位
		国際宗教論	1・2・3・4		2			
		現代国際関係論	1・2・3・4		2			
		世界地域論	1・2・3・4		2			
		戦争と歴史認識	1・2・3・4		2			
		国際平和論	1・2・3・4		2			
		メディア・リテラシー	1・2・3・4		2			
		国際文化交流論	1・2・3・4		2			
		観光文化史	1・2・3・4		2			
		ことばと文化	1・2・3・4		2			
		多文化共生論	1・2・3・4		2			
		神奈川と観光	1・2・3・4		2			
		ことばとメディア	1・2・3・4		2			
		異文化コミュニケーション論	1・2・3・4		2			
		横浜の歴史と民俗A	1・2・3・4		2			
		ことばと人間	1・2・3・4		2			
		ジェンダー文化論	1・2・3・4		2			
		オリエンタリズム論	1・2・3・4		2			
		比較思想論	1・2・3・4		2			
		日本文化論	1・2・3・4		2			
	文化とアイデンティティ	1・2・3・4		2				
	手話とろう文化	1・2・3・4		2				
	演習・ゼミナール	基礎演習	1	2			1 8 単位以上	
		専門演習Ⅰ	2		2			
		専門演習Ⅱ	2		2			
		プレゼミナールⅠ	2		2			
		プレゼミナールⅡ	2		2			
		ゼミナールⅠ	3	2				
		ゼミナールⅡ	3	2				
		SゼミナールⅠ	3		2			
		SゼミナールⅡ	3		2			
		卒業研究Ⅰ	4	2				
		卒業研究Ⅱ	4	2				
卒業論文		4	4					
実習科目		歴史民俗資料入門Ⅰ	1	2				8 単位以上
	歴史民俗資料入門Ⅱ	1	2					
	歴史史料実習(古代)	2・3・4		2				
	歴史史料実習(近現代)A	2・3・4		2				
	歴史史料実習(近現代)B	2・3・4		2				
	歴史史料実習(中世)	2・3・4		2				
	歴史史料実習(近世)	2・3・4		2				
	民俗調査実習Ⅰ	2		2				
	民俗調査実習Ⅱ	2		2				

			授業科目の名称	授業を行う年次	単位数又は時間			卒業要件単位数	
					必修	選択	自由		
専攻科目	展開科目	歴史分野	日本史概論	1	2			16 単位以上	専攻科目から合計96単位
			人文地理学概論	1		2			
			日本の美術	1		2			
			日本の宗教	1・2・3・4		2			
			日本の古代	1		2			
			日本の中世	1		2			
			日本の近世	1		2			
			日本の近代	1		2			
			日本の現代	1		2			
			日本文化論(言語)	1・2・3・4		2			
			文化受容論	1・2・3・4		2			
			東アジアの交流史A	2・3・4		2			
			東アジアの交流史B	2・3・4		2			
			日本の社会史A	2・3・4		2			
			日本の社会史B	2・3・4		2			
			日本のジェンダー史	2・3・4		2			
			歴史考古	2・3・4		2			
			歴史地理	2・3・4		2			
	日本文学史A	2		2					
	日本文学史B	2		2					
	民俗分野	民俗学概論	1	2			16 単位以上		
		社会学概論	1		2				
		宗教学概論	1		2				
		文化人類学概論	1		2				
		地域文化論(中国)	1・2・3・4		2				
		現代文化論A	1・2・3・4		2				
		現代文化論B	1・2・3・4		2				
		信仰の民俗	1		2				
		伝説・昔話の民俗	1		2				
		東アジアの民俗	1		2				
		社会の民俗	1		2				
		生業の民俗	1		2				
		観光の民俗	1		2				
文化交流論(生活)		1・2・3・4		2					
日本芸能論		1・2・3・4		2					
自然の民俗	2・3・4		2						
ジェンダーの民俗	2・3・4		2						
沖縄の民俗	2・3・4		2						
儀礼の民俗	2・3・4		2						
芸能の民俗	2・3・4		2						
メディアの民俗	2・3・4		2						
民具論	2・3・4		2						

			授業科目の名称	授業を行う年次	単位数又は時間			卒業要件単位数	
					必修	選択	自由		
専攻科目	展開科目	文化創生分野	文化創生概論	1	2			12単位以上	専攻科目から合計96単位
			政治学概論	1		2			
			観光と現代社会	1・2・3・4		2			
			ことばと放送メディア(コンテンツ)	1・2・3・4		2			
			ことばと出版メディア(編集・実務)	1・2・3・4		2			
			文化資源論	1		2			
			文化遺産論	1		2			
			コミュニティと地域観光文化	1・2・3・4		2			
			ことばと放送メディア(実務)	1・2・3・4		2			
			ことばと広告メディア	1・2・3・4		2			
			文化創生実践論A	2・3・4		2			
			文化創生実践論B	2・3・4		2			
			文化政策論	2・3・4		2			
			歴史民俗資料とデジタル技術	2・3・4		2			
			アーカイブズ論	2・3・4		2			
			博物館概論	2・3・4		2			
			博物館情報・メディア論	2・3・4		2			
			観光メディア論	1・2・3・4		2			
			ことばとジャーナリズムA	1・2・3・4		2			
			横浜の歴史と民俗B	2・3・4		2			
	博物館展示論	2・3・4		2					
	博物館資料論	2・3・4		2					
	ことばとマスメディアA	1・2・3・4		2					
		関連科目	派遣交換留学A	1・2・3・4		1		18単位	
			派遣交換留学B	1・2・3・4		2			
			派遣交換留学C	1・2・3・4		4			
			派遣交換留学D	1・2・3・4		8			
	情報処理 I		1		2				
	情報処理 II		1		2				
	外国史概論A		1・2・3・4		2				
	外国史概論B		1・2・3・4		2				
	地誌学概論		1・2・3・4		2				
	自然地理学概論		1・2・3・4		2				
	Intensive English Practicum	1・2・3・4		4					
	異文化の学びとキャリア形成 I	1・2・3・4		2					
			※上記の科目のほか、卒業要件に関連科目の単位として算入できると規定された科目						

【履修要件】

- 1 同一授業科目を重複して履修することはできない。
- 2 1年間の履修単位数は各年次48単位（半期24単位）を上限とする（通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する）。ただし、人間形成の分野の「国内インターンシップ」は、この上限に算入しない。また、卒業要件単位数に算入されない資格教育課程に関する科目の単位数もこの枠外とする。
- 3 学科科目のうち演習科目、実習科目、「SゼミナールⅠ・Ⅱ」については、原則として他学部・他学科の学生は履修することができない。
- 4 社会又は地理歴史の教職課程本登録者については、原則として実習科目に配置されている「歴史史料実習」を履修すること。また、展開科目のうち、歴史分野の16単位、民俗分野の16単位及び文化創生分野の12単位を修得するにあたっては、原則としてその半数を「教科に関する専門的事項」に配置されている科目から履修すること。

【学外単位認定制度】

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催する「派遣交換留学」所定のプログラムで得た成果に応じて本学科で認定された単位。
- 2 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 3 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 4 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

【卒業要件】

- 1 4年以上在学し、学則所定の次表の卒業要件単位数を修得しなければならない。

共通教養科目								専攻科目						合計			
共通基盤科目							共通テーマ科目	基幹科目			展開科目				専攻科目合計		
初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野		現代社会と市民	学部教養科目	演習・ゼミナール	実習科目	歴史分野	民俗分野			文化創生分野	
2	8		4	4	4	2	2	32	8	14	6	16	16	12	18	96	128
		6								6							

- 2 共通教養科目から次の内訳で合計32単位以上を修得すること。
 - (1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。
 - (2) 外国語科目から英語を8単位。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、英語に換えて、4～6単位を日本語とすることができる。なお、8単位に不足する単位は英語で補うものとする。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上修得すること。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上修得すること。ただし、「国内インターンシップ」は卒業要件単位数に算入できない。
 - (5) 共通テーマ科目から2単位以上修得すること。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
- 3 専攻科目から次の内訳で96単位以上を修得すること。
 - (1) 基幹科目から34単位以上修得すること。
 - ① 学部教養科目から8単位以上修得すること。
 - ② 演習・ゼミナールから必修科目の単位を含め14単位以上修得すること。
 - ③ 実習科目から必修科目を含め6単位以上修得すること。
 - (2) 展開科目から各分野の必修科目を含め歴史分野・民俗分野から各16単位以上、文化創生分野から12単位以上修得すること。
 - (3) 上記の(1)①～③及び(2)の他に、基幹科目の演習・ゼミナール及び実習科目と、展開科目の歴史分野、民俗分野、文化創生分野のなかから6単位を修得すること。
 - (4) 関連科目から18単位以上修得すること。

なお、次の科目についても関連科目の単位として算入できる。

 - ① 共通教養科目、基幹科目（学部教養科目、演習・ゼミナール、実習科目）、展開科目（歴史分野、民俗分野、文化創生分野）の卒業要件単位数を超える単位。
 - ② 教職課程本登録者が修得した「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。（上限6単位）
 - ③ 他学部・他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部・他学科が受講を認めない科目については履修することができない。

(13) 人間科学部 人間科学科 専攻科目

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
			必修	選択	自由	
基礎科目	心理学基礎	1	2			14単位以上(必修8単位を含む)
	人間科学基礎	1	2			
	心理学概論	1	2			
	人間科学概論	1	2			
	心理学概論	1	2	2		
	人間科学概論	1	2	2		
	心理学概論	1	2	2		
	人間科学概論	1	2	2		
	心理学概論	1	2	2		
	人間科学概論	1	2	2		
専攻科目	基礎科目	心理学I	1		2	専攻科目から94単位以上
		心理学II	2		2	
		心理学III	2		2	
		心理学IV	2		2	
		心理学V	2		2	
		心理学VI	2		2	
		心理学VII	2		2	
		心理学VIII	2		2	
		心理学IX	2		2	
		心理学X	2		2	
	幹科目	心理学I	1		2	
		心理学II	2		2	
		心理学III	2		2	
		心理学IV	2		2	
		心理学V	2		2	
		心理学VI	2		2	
		心理学VII	2		2	
		心理学VIII	2		2	
		心理学IX	2		2	
		心理学X	2		2	
目	心理学I	1		2		
	心理学II	1		2		
	心理学III	1		1		
	心理学IV	2		2		
	心理学V	2		2		
	心理学VI	2		2		
	心理学VII	2		2		
	心理学VIII	2		2		
	心理学IX	2		2		
	心理学X	2		2		

14単位以上(必修8単位を含む)

専攻科目から94単位以上

基幹科目から22単位以上

		授業科目の名称	授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数		
				必修	選択	自由			
専攻科目	展 開 科 目	公認心理師の職責	1		2		展開科目及び関連科目から46単位以上(内展開科目から30単位以上)	専攻科目から94単位以上	
		人体の構造と機能及び疾病	1		2				
		精神疾患とその治療	1		2				
		関係係数と行政論	1		2				
		発達心理学	1		2				
		教育・学校心理学	2		2				
		臨床発達心理学	2		2				
		心理学的支援	2		2				
		環境心理学	2		2				
		ランティア学習論	2		2				
		健康・医療心理学	2		2				
		ジェンダー心理学	2		2				
		社会・集団・家族心理学	2		2				
		障害者・障害児心理学	2		2				
		心理発達	2		1				
		心理演習Ⅰ	2		1				
		心理演習Ⅱ	2		2				
		青年心理学	3		2				
	家族心理学	3		2					
	神経・生理心理学	3		2					
	福祉心理学	3		2					
	心理療法学	3		2					
	コミュニティ心理学	3		2					
	組織心理学	3		2					
	被害者心理学	3		2					
	教育哲学	3		2					
	産業界・組織心理学	3		2					
	心理実習Ⅰ	3		1					
	心理実習Ⅱ	3		1					
	目	スポーツ実技種目(球技①)	1		2				
		スポーツ実技種目(球技②)	1		2				
		ライフアカデミックスキル	1		2				
		スポーツ哲学	1		2				
		スポーツ実技種目(球技③)	2		2				
		スポーツ実技種目(器械運動)	2		2				
		スポーツ実技種目(陸上競技)	2		2				
スポーツ実技種目(水泳)		2		2					
スポーツ実技種目(ダンス)		2		2					
スポーツ実技種目(武道)		2		2					
スポーツ医学		2		2					
救急法		2		2					
モデル論		2		2					
運動処方論		2		2					
野外実習(サマー)		2		2					
野外実習(ウィンター)		2		2					
学校保健		2		2					
生涯スポーツ論		2		2					
スポーツ産業論	2		2						
バイオメカニクス	2		2						
スポーツ文化	3		2						
スポーツ実践Ⅲ	3		2						
スポーツ実践Ⅳ	3		2						
トレーニング実技	3		2						
スポーツと経済	3		2						
トレーニング実習	3		2						
コーチング論	3		2						
身体科学実習	3		2						
身体運動の計算科学とシミュレーション	3		2						
スポーツの行政と公共政策	3		2						

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数				
			必修	選択	自由					
専攻科目	関連科目	経済史 I	1	2	3	4	展開科目及び関連科目から46単位以上（内展開科目から30単位以上）	専攻科目から94単位以上		
		経済史 II	1	2	3	4				
		日本洋行	経済史 I	1	2	3			4	
		日本洋行	経済史 II	1	2	3			4	
		日本洋行	経済史 I	1	2	3			4	
		日本洋行	経済史 II	1	2	3			4	
		日本洋行	国際政治学 I	1	2	3			4	
		日本洋行	国際政治学 II	1	2	3			4	
		日本洋行	国際政治学 I	1	2	3			4	
		日本洋行	国際政治学 II	1	2	3			4	
		日本洋行	政治学入門 I	1	2	3			4	
		日本洋行	政治学入門 II	1	2	3			4	
		日本洋行	政治学 I	1	2	3			4	
		日本洋行	政治学 II	1	2	3			4	
		日本洋行	政治学 I	1	2	3			4	
		日本洋行	政治学 II	1	2	3			4	
		日本洋行	政治学 I	1	2	3			4	
		日本洋行	政治学 II	1	2	3			4	
		日本洋行	政治学 I	1	2	3			4	
		日本洋行	政治学 II	1	2	3			4	
		日本洋行	政治学 I	1	2	3			4	
		日本洋行	政治学 II	1	2	3			4	
		総合演習	人間科学専門ゼミナール I	2	4					12単位
			人間科学専門ゼミナール II	3	4					
			卒業研究	4	4					

〔履修要件〕

- 1 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 2 科目によっては履修資格や人数が制限される場合があるので注意すること。
- 3 1年間の履修単位数は44単位以内とし、半期に履修登録できる単位数は22単位以内とする（通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期のそれぞれの学期の単位数として換算する）。なお、卒業要件単位数に算入されない資格教育課程に関する科目の単位数はこの枠外とする。
- 4 長期履修学生制度適用者が各セメスターにおいて履修登録できる単位数は、学期の違いにより14単位もしくは16単位以内とする。

〔コース制〕

- 1 2年次のコース登録期間内に「心理発達」、「スポーツ健康」、「人間社会」のいずれかを選択し、登録する。なお、未登録者については、自動的に心理発達コースの登録とする。
- 2 コースの変更を希望する者は、3年次当初または4年次当初に「コース変更」を申請し、人間科学部長の許可を得なければならない。なお、年度途中での変更は認めない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位数に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 1 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

共通教養科目							専攻科目						合計		
共通基盤科目				共通テーマ科目			共通教養科目合計	基礎科目	基幹科目	展開科目		総合演習		合計	
初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野				現代社会と市民	展開科目		関連科目		展開・関連科目合計
2	8		4	4	4	2	2	14	22	30	16	46	12	94	126
							32			6					

- 2 共通教養科目については、次の単位を含めて32単位以上修得すること。

- (1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。
- (2) 外国語科目から英語を8単位以上。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、英語に換えて、4～6単位を日本語とすることができる。なお、8単位に不足する単位は英語で補うものとする。
- (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上。
- (4) 人間形成の分野から「健康科学とスポーツⅠ・Ⅱ」の単位を含めて2単位以上。
- (5) 共通テーマ科目から2単位以上。
- (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。

- 3 専攻科目から次の内訳で94単位以上修得すること。

- (1) 基礎科目から次の単位を含めて、14単位以上。

①必修科目8単位。

②選択必修科目は、「人間形成論」、「人間関係論」のうち2単位以上、および「健康学概論」、「心理学概論」、「教育学概論」、「社会学概論」、「社会福祉学概論」のうち4単位以上、合計6単位以上。

- (2) 基幹科目から各コースにおける必修科目の単位を含め22単位以上修得すること。

「心理発達」コースの必修科目は、「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」、「心理学研究法」、「心理学研究法特別講義」とする。

「人間社会」コースの必修科目は、「社会調査論Ⅰ・Ⅱ」とする。

「スポーツ健康」コースの必修科目は、「ヒューマンマインド学」とする。

- (3) 展開科目及び関連科目から46単位以上。ただし、展開科目から30単位以上修得すること。

なお、次の単位は、関連科目の単位として算入できる。

①卒業要件単位数を超える共通教養科目、基礎科目、基幹科目、展開科目の単位。

②第二外国語および他学部・他学科開講の専攻科目。ただし、他学部・他学科が受講を認めていない科目については、履修することはできない。

③教職課程本登録者が修得した教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」。

ただし、10単位を上限とする。
 （教職課程仮登録者は算入できない）

- (4) 総合演習から「人間科学専門ゼミナールⅠ・Ⅱ」、「卒業研究」の単位を含め12単位修得すること。

(14) 理学部 理学科 専攻科目

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
			必修	選択	自由	
専攻科目	A群 必修科目	理学ゼミナール	3	2		12単位
		卒業研究Ⅰ	4	4		
		輪講Ⅰ	4	1		
		卒業研究Ⅱ	4	4		
		輪講Ⅱ	4	1		
	科学一般	自然の歴史	1		2	B群及びC群から 84単位
		PCリテラシー	1		2	
		総合理学演習	1		2	
		科学概論	1		2	
		サイエンスコミュニケーション	2		2	
		生物学の歴史	2		2	
		物理学の歴史	2		2	
		化学の歴史	2		2	
	実験科目	化学基礎実験Ⅰ	1		1	
		化学基礎実験Ⅱ	1		1	
		生物学実験Ⅰ	1		2	
		生物学基礎実験	1		1	
		物理学実験Ⅰ	2		3	
		化学実験Ⅰ	2		3	
		地球科学基礎実験	2		1	
		物理学基礎実験	2		1	
		化学実験Ⅱ	2		3	
		物理学実験Ⅱ	3		3	
		化学実験Ⅲ	3		3	
		生物学実験Ⅱ	3		4	
	地球科学実験	3		2		
	先端化学実験	3		2		
情報系科目	情報科学概論	1		2		
	情報処理入門Ⅰ	1		2		
	情報科学リテラシー	1		4		
	情報処理入門Ⅱ	1		2		
	プログラミングA	1		2		
	プログラミングA演習	1		4		
	離散数学Ⅰ	1		2		
	離散数学Ⅱ	1		2		
	データベースシステム	2		2		
	計算機システム基礎	2		2		
情報検索	2		2			
数学系科目	解析Ⅰ	1		2		
	線形代数Ⅰ(行列)	1		2		
	数学概論Ⅰ	1		2		
	解析Ⅰ演習	1		2		
	線形代数Ⅰ演習	1		2		
	数学演習Ⅰ	1		2		
	解析Ⅱ	1		2		
	線形代数Ⅱ(線形空間)	1		2		
	数学概論Ⅱ	1		2		
	解析Ⅱ演習	1		2		
線形代数Ⅱ演習	1		2			

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
			必修	選択	自由	
専攻科目	数学系科目	数学演習Ⅱ	1	2		B群及びC群から 84単位
		集合と論理	1	2		
		解析Ⅲ	2	2		
		線形代数Ⅲ(標準形)	2	2		
		解析Ⅲ演習	2	2		
		代数学Ⅰ	2	2		
		確率論Ⅰ	2	2		
		幾何学Ⅰ	2	2		
		線形代数Ⅲ演習	2	2		
		微分方程式論Ⅰ	2	2		
		複素関数論Ⅰ	2	2		
		代数学Ⅱ	2	2		
		確率論Ⅱ	2	2		
		幾何学Ⅱ	2	2		
		数値解析	2	2		
		微分方程式論Ⅱ	3	2		
		複素関数論Ⅱ	3	2		
		数理統計学	3	2		
		代数学Ⅲ	3	2		
		数理科学演習	3	2		
		関数解析学	3	2		
	確率過程論	3	2			
	数理統計学統論	3	2			
	代数学統論	3	2			
	応用数理	4	2			
	物理系科目	物理学概論Ⅰ	1	2		
		物理学概論Ⅱ	1	2		
		物理数学Ⅰ	1	2		
		力学Ⅰ	1	2		
		電磁気学Ⅰ	1	2		
		天文学概論	1	2		
		物理学演習Ⅰ	1	2		
		基礎物理学実験法	1	2		
		天文実習Ⅰ	1	1		
		力学Ⅱ	2	2		
		電磁気学Ⅱ	2	2		
		物理学演習Ⅱ	2	2		
		力学Ⅲ	2	2		
		電磁気学Ⅲ	2	2		
		量子力学Ⅰ	2	2		
		熱・統計力学Ⅰ	2	2		
		物理学演習Ⅲ	2	2		
物理数学Ⅱ		2	2			
天文実習Ⅱ		2	1			
量子力学Ⅱ		3	2			
熱・統計力学Ⅱ		3	2			
物理学演習Ⅳ	3	2				
計算物理学Ⅰ	3	2				
数理物理学	3	2				
流体力学	3	2				
量子力学Ⅲ	3	2				
熱・統計力学Ⅲ	3	2				

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
			必修	選択	自由	
専攻科目	物理系科目	計算物理学Ⅱ	3		2	B群及びC群から 84単位
		相対性理論・宇宙論	4		2	
		物性物理学	4		2	
		原子核・素粒子物理学	4		2	
		ナノサイエンス	4		2	
	化学系科目	化学概論Ⅰ	1		2	
		化学概論Ⅱ	1		2	
		化学基礎セミナー	1		2	
		物理化学Ⅰ	1		2	
		無機化学Ⅰ	1		2	
		分析化学Ⅰ	1		2	
		有機化学Ⅰ	1		2	
		安全工学	1		2	
		物理化学Ⅱ	2		2	
		無機化学Ⅱ	2		2	
		有機化学Ⅱ	2		2	
		環境化学	2		2	
		量子化学	2		2	
		分析化学Ⅱ	2		2	
		無機化学Ⅲ	2		2	
		有機化学Ⅲ	2		2	
		分子構造決定法	2		2	
		計算化学	2		2	
		分子分光学	2		2	
		文化財基礎化学	2		2	
		化学熱力学	3		2	
		無機化学Ⅳ	3		2	
		高分子合成法	3		2	
		高分子物性論	3		2	
		有機化学Ⅳ	3		2	
		環境分析化学	3		2	
		環境物質化学	3		2	
		物性化学	3		2	
		化学国際交流Ⅰ	3		2	
		化学国際交流Ⅱ	3		2	
		反応速度論	3		2	
		化学工業概論	3		2	
		生物有機化学	3		2	
		応用環境化学	3		2	
	有機化学演習	3		2		
	物理化学演習	3		2		
	無機分析化学演習	3		2		
	専門化学演習Ⅰ	4		3		
	知的所有権法	4		2		
専門化学演習Ⅱ	4		3			
生物系科目	生物学概論Ⅰ	1		2		
	生物学概論Ⅱ	1		2		
	基礎遺伝学	1		2		
	基礎細胞生物学	1		2		
	学外体験実習(生物)A	1		1		
	学外体験実習(生物)B	1		1		
	基礎生物化学	1		2		
	基礎植物学	1		2		
	基礎動物学	1		2		
	基礎生態学	1		2		
	生物物理化学	2		2		
	基礎進化生物学	2		2		
	分子生物学A	2		2		

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
			必修	選択	自由	
専攻科目	B群	動物生理学A	2		2	B群及びC群から 84単位
		バイオテクノロジー	2		2	
		生物科学特論Ⅰ	2		1	
		生物科学特論Ⅱ	2		1	
		生物科学特論Ⅲ	2		1	
		生物科学特論Ⅳ	2		1	
		系統分類学	2		2	
		細胞生物学A	2		2	
		生物情報学	2		2	
		生物科学演習A	2		2	
		生物科学演習B	2		2	
		生物科学演習C	2		2	
		森林実習	2		2	
		特別実習A(生態学実習)	2		1	
		特別実習A(昆虫実習)	2		1	
		特別実習B(顕微鏡実習)	2		1	
		特別実習B(臨海実習)	2		1	
		特別実習C(解剖実習)	2		1	
		生物化学	3		2	
		分子生物学B	3		2	
		植物発生学	3		2	
		環境生物学	3		2	
		植物生理学	3		2	
		動物生態学	3		2	
	植物生態学	3		2		
	動物発生学	3		2		
	動物生理学B	3		2		
	生物科学方法論	3		2		
	生物科学研究法	3		2		
	生物統計学	3		2		
	細胞生物学B	3		2		
	進化生物学	3		2		
	地球科学系科目	地球科学概論Ⅰ	1		2	
		地球科学概論Ⅱ	1		2	
		地球惑星科学	2		2	
		気象学	2		2	
古生物学		2		2		
固体地球科学		2		2		
地球環境学		3		2		
地史学	3		2			
C群	関連科目	学外体験学習Ⅰ	1		1	
		学外体験学習Ⅱ	1		1	
		学外体験学習Ⅲ	1		1	
		学外体験学習Ⅳ	1		1	
		科学技術英語Ⅰ	2		2	
		科学技術英語Ⅱ	2		2	

〔履修要件〕

- 1 同一授業科目を重複して履修することはできない。
- 2 原則として、上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 3 他学部、他学科開講の授業科目を履修する場合には、受講者数に制限があるので担任者の許可が必要である。他学部、他学科が受講を認めない科目を履修することはできない。
- 4 履修科目の登録の上限は、1学期で24単位とする（通年科目については、その科目の単位数を2で除して得た数を、各学期の単位数として算する。）。

〔進級要件〕

（2年次から3年次）

2年以上在学し、かつ、卒業要件単位数のうち、初年次ゼミナール2単位及び外国語科目の英語（選択必修）4単位以上を含む60単位以上を修得しなければならない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。

なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各学期の履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続により認定された単位
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位

〔卒業要件〕

- 1 4年以上在学し、次表の卒業要件単位数を修得しなければならない。

科目区分	共通教養科目							専攻科目			合計			
	共通基盤科目						共通テーマ科目	A群	B群	C群				
	初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野						人間形成の分野	現代社会と市民	共通教養科目合計
単位数	2	8		4	4	4	2	2	32	12	84	96	128	
		6												

（共通教養科目）

- 2 共通教養科目から、共通基盤科目(1)から(4)までと共通テーマ科目(5)を含む32単位以上を修得しなければならない。
 - (1) 初年次ゼミナール2単位
 - (2) 外国語科目から英語（選択必修）8単位
 - (3) 人文・社会・自然の分野からそれぞれ4単位以上
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上
 - (5) 現代社会と市民から2単位以上

（専攻科目）

- 3 専攻科目から、次の(1)及び(2)の条件を満たす96単位以上を修得しなければならない。
 - (1) A群から12単位
 - (2) B群及びC群から、次の①又は②のいずれかの条件を満たす84単位以上
 - ① B群の数学系科目から24単位以上
 - ② B群の実験科目、物理系科目、化学系科目、生物系科目及び地球科学系科目から、実験科目2単位を含む24単位以上

(15) 工学部 機械工学科 専攻科目

	授業科目の名称	授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専攻科目	専門基礎必修科目	解析演習 I	1	2		13	
		情報処理演習 I	1	1			
		物理演習 A	1	2			
		数学演習 I	1	1			
		線形代数 I (行列)	1	2			
		解析演習 II	1	2			
	専門基礎選択科目	物理学実験 A	1	1		8	
		線形代数 II (線形空間)	2	2			
		微分方程式 I	2	2			
		物理演習 B	2	2			
		解析演習 III	2	2			
		微分方程式 II	2	2			
	専門必修科目	化学基礎 I	3	2		38	
		相対論 II	3	2			
		化学基礎 II	3	2			
		機械工学実習	1	1			
		工業力学 I	1	2			
		機械要素 I	1	2			
		機械解剖 I	1	1			
		工業力学学 II	1	2			
技術者倫理 I		2	2				
材料力学学 I		2	2				
機械力学学 I		2	2				
自動制御 I		2	2				
機械制御 I		2	2				
CAD / CAM I		2	2				
流体力学学 I	2	2					
必修専門選択科目	工業熱力学学 I	2	2		2		
	機械工学輪講	3	2				
選択科目	卒業研究	4	8		26	6	
	輪講	4	2				
	グローバル社会実習 I	3		2			
	機械設計 I	3		2			
	メカトロニクス学 I	1		2			
	コンピュータ解析	1		2			
	機械材料学 I	1		2			
	メカニクス学 I	2		2			
	加工工学 I	2		2			
	ロボット工学 II	2		2			
	自動制御 II	2		2			
	ロボット工学 II	2		2			
	機械力学学 II	2		2			
	材料力学学 II	2		2			
	エンジニアリング I	2		2			
	機能機械プログラミング	2		2			
	機械力学学 II	2		2			
	流体熱力学学 II	3		2			
	工業熱力学学 II	3		2			
	基礎電気工学 II	3		2			
	加工工学 II	3		2			
	ロボット工学 II	3		2			
	機械設計 II	3		2			
	ロボット工学 II	3		2			
	メカトロニクス学 II	3		2			

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
			必修	選択	自由	
専攻科目	選択科目	メカトロニクス	3		2	26
		デバイス	3		2	
		宇宙学	2		2	
		光学	2		2	
		放射線	2		2	
		宇宙環境工学	3		2	
		衛星システム工学	3		2	
		放射線シミュレーション	3		2	
		確率統計基礎	2		2	
		プログラミング言語Ⅰ	2		2	
		電気回路言語Ⅰ	2		2	
		プログラミング言語Ⅱ	3		2	
		電気回路言語Ⅱ	3		2	
		アルゴリズムとデータ構造Ⅰ	3		2	
	電子回路情報Ⅰ	3		2		
	関連科目	確率・統計Ⅰ	2		2	
		職業指導Ⅰ(工業)	2		2	
		職業指導Ⅱ(工業)	2		2	
		信頼性工学Ⅰ	3		2	
		代数量論Ⅰ	3		2	
		代数量論Ⅰ	3		2	
		代数量論Ⅱ	3		2	
		代数量論Ⅱ	3		2	
		知的財産権Ⅱ	3		2	
		確率・統計Ⅱ	3		2	
		システム工学	4		2	

【履修要件】

- 1 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 2 上位年次の授業科目を履修することはできない。ただし、関連科目においては、2年次からこの制限を設けない。
- 3 他学部他学科で開講されている授業科目を履修する場合は、受講者数に制限があるので担任者の許可が必要である。
- 4 受講するクラスが指定されている授業科目は、授業時間割表の指示に従って受講すること。
- 5 専攻科目の中には履修資格や人数を制限する科目がある。なお、選択科目の「分野横断教育プログラム（知能ロボティクス ■）」及び「分野横断教育プログラム（宇宙理工学 ◆）」については、各プログラムに登録した場合に限り、これを履修することができる。
- 6 1年間に履修登録できる単位数は、48単位を上限とし、かつ各セメスターに履修できる上限は24単位とする。（通年科目については、その科目の単位数を二分割し、各セメスターの単位数として換算する。）ただし、第二外国語科目、選択英語、卒業要件単位に算入されない資格教育課程に関する科目については、この制限を適用しない。
- 7 「グローバル社会実習」は、本学の派遣交換留学制度を利用した者に限り単位認定を受けることができる。

【進級要件】

（1年次から2年次）

- 1 1年次終了までに、26単位以上を修得しなければならない。なお、卒業要件単位に算入されない単位数は含めない。
- 2 初年次ゼミナールを修得し、かつ「機械工学実習」、「機械解剖」のうち1科目以上修得しなければならない。

（2年次から3年次）

- 1 2年次終了までに、64単位以上を修得しなければならない。なお、卒業要件単位に算入されない単位数は含めない。
- 2 「機械工学実習」、「機械解剖」、「物理学実験A」、「機械製図I」のうち3科目以上修得しなければならない。

（3年次から4年次）

- 1 3年次終了までに、104単位以上を修得しなければならない。なお、卒業要件単位に算入されない単位数は含めない。
- 2 「機械工学実習」、「機械解剖」、「物理学実験A」、「機械製図I」、「CAD/CAM I」、「機械工学実験」のうち5科目以上修得しなければならない。

【知能ロボティクスプログラム及び宇宙理工学プログラム】

- 1 プログラム申請：2年次の第3セメスターの開始時に学科で実施するプログラム申請に基づき決定する。

【学外単位認定制度】

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。

なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間又は協定に基づく国内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。
- 4 派遣交換留学等により派遣先大学で修得した単位の内、帰国後本学における審査を経て本学の単位として認定された単位。

【卒業要件】

- 1 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

共通教養科目							専攻科目							専攻科目合計	合計		
共通基盤科目				共通テーマ科目			共通教養科目合計	専門基礎必修科目	専門基礎選択科目	専門必修科目	専門選択必修科目	選択科目				関連科目	
初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野						現代社会と市民	【分野横断教育プログラム】 知能ロボティクス				【分野横断教育プログラム】 宇宙理工学
														26	6		
2	8		4	4	4	2	2	32	13	8	38	2			93	125	
			6														

- 2 共通教養科目については、次の単位を含めて32単位以上修得すること。
 - (1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。
 - (2) 外国語科目については、必修科目としての英語を8単位修得しなければならない。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、1年次の必修科目としての英語4単位に換えて日本語科目4単位とすることができる。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上。
 - (5) 共通テーマ科目から2単位以上。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
- 3 つぎの単位は、6単位を上限として関連科目の単位に換算できる。
 - (1) 他学部、工学部他学科で開講されている専攻科目の修得単位。
 - (2) 必修科目としての英語8単位以外に修得した外国語科目の単位。ただし、英語については換算できる単位は2単位までとする。
 - (3) 専門基礎選択科目8単位を超える修得単位。
- 4 専門選択必修科目の2単位を超える修得単位は選択科目の単位に換算できる。
- 5 資格教育課程に関する科目及び教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数は、卒業要件単位に含めない。

(16) 工学部 電気電子情報工学科 専攻科目

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
			必修	選択	自由	
基礎科目	解析 I	1	2			17
	線形代数 I (行列)	1	2			
	情報処理演習 I	1	1			
	力学 I	1		2		
	解析 II	1	2			
	線形代数 II (線形空間)	1	2			
	物理学実験 A	1		2		
	力学 II	1		2		
	解析 III	2	2			
	関数論 I	2		2		
	相対論	2		2		
	微分方程式 I	2		2		
	代数学 I	2		2		
	関数論 II	2		2		
	熱力学学	2		2		
微分方程式 II	2		2			
代数学 II	2		2			
専攻科目 必修科目	電気電子情報入門	1	2			42
	基礎電気数学 I	1	2			
	情報システム基礎	1	2			
	基礎電気数学 II	1	2			
	プログラミング言語 I	1	2			
	電気回路 I	1	2			
	電気磁気学 I	1	2			
	電気電子情報実験 I	2	3			
	プログラミング言語 II	2	2			
	電気回路 II	2	2			
	電気磁気学 II	2	2			
	電気電子情報実験 II	2	3			
	電気電子情報実験 III	3	4			
	電気電子情報特別講義	3	2			
	卒業研究 II	4	2			
卒業研究	4	8				
科倫目理	情報と倫理	1		2		2
	技術者倫理	3		2		
選択科目 専門基礎科目	計測工学	2		2		11
	基礎電子物性工学	2		2		
	情報数学	2		2		
	電気回路 III	2		2		
	電気磁気学 III	2		2		
	電子回路 I	2		2		
	プログラミング言語 III	2		2		
	確率統計基礎	2		2		
	デジタルシステム基礎	2		2		
	電気電子情報実験 IV	3		2		
	電気電子情報実験 V	3		2		
	卒業研究 I	3		1		
	グローバル社会実習	3		2		
					24	

授業科目の名称				授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
					必修	選択	自由	
専攻科目	選択科目	専門科目	エネルギー工学	3		2		24
			基礎制御工学	3		2		
			電気機器	3		2		
			電力工学	3		2		
			物性科	3		2		
			電子回路Ⅱ	3		2		
			電子デバイス	3		2		
			通信工学基礎	3		2		
			電磁波工学	3		2		
			通信伝送回路	3		2		
			組み込みシステム	3		2		
			確率統計最適化	3		2		
			アルゴリズムとデータ構造	3		2		
			パワーエレクトロニクス	3		2		
	電力システム工学	3		2				
	音響・超音波工学	3		2				
	半導体物性工学	3		2				
	デジタル信号処理	3		2				
	通信ネットワーク工学	3		2				
	無線通信工学	3		2				
	情報ネットワーク学	3		2				
	知能情報学	3		2				
	ソフトウェア応用	3		2				
	電気法規	3		2				
	電気機器設計製図	3		2				
	電波法規	3		2				
	専攻科目	選択科目	専門科目	【分野横断教育プログラム】 知能ロボティクス	2		2	
機械要素				2		2		
機械製図Ⅰ				2		2		
ロボット工学				2		2		
工作機械				3		2		
CAD/CAM				3		2		
自動制御Ⅱ				3		2		
メカトロニクス				3		2		
デジタル工学				3		2		
【分野横断教育プログラム】 生活・環境デザイン工学				2		2		
人間工学基礎				2		2		
システム分析・設計				2		2		
数理最適化				2		2		
プロジェクトマネジメント	3		2					
製品サービスシステム	3		2					
技術マネジメント	3		2					
環境マネジメント	3		2					
UX/UI デザイン	3		2					
専攻科目	選択科目	関連科目	化学基礎Ⅰ	1		2		
			化学基礎Ⅱ	1		2		
			情報と職業Ⅰ	1		2		
			確率・統計Ⅰ	2		2		
			量子物理学Ⅰ	3		2		
			統計物理学Ⅰ	3		2		
			確率・統計Ⅱ	3		2		
			知的財産権Ⅰ	3		2		
			数値シミュレーション	3		2		
			量子技術	3		2		

[履修要件]

- 1 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 2 上位年次の授業科目を履修することはできない。ただし、倫理科目については1年次から、関連科目においては2年次から、この制限を設けない。
- 3 他学部他学科開講の授業科目を履修する場合は、受講者数に制限があるので、担任者の許可が必要である。
- 4 受講するクラスが指定されている授業科目は、授業時間割表の指示に従って受講すること。
- 5 専攻科目の中には履修資格や人数を制限する科目がある。なお、選択科目の「分野横断教育プログラム(知能ロボティクス) ■印」及び「分野横断教育プログラム(生活・環境デザイン工学) ▲印」については、各プログラムに登録した場合に限り、これを履修することができる。
- 6 1年間に履修登録できる単位数は、48単位を上限とし、かつ各セメスターに履修できる上限は24単位とする(通年科目については、その科目の単位数を二分割し、各セメスターの単位数として換算する)。ただし、第二外国語、選択英語、および資格教育課程に関する科目については、この制限を適用しない。
- 7 「グローバル社会実習」は、本学の派遣交換留学制度を利用した者に限り単位認定を受けることができる。

[進級要件]

- (1年次から2年次)
 - 1年次終了までに、初年次ゼミナールの単位を含めて学則所定の「卒業要件単位数」のうち25単位以上を修得した者。
- (2年次から3年次)
 - 2年次終了までに、次の単位を含めて学則所定の「卒業要件単位数」のうち56単位以上を修得した者。
 - (1)電気電子情報実験Ⅰ・Ⅱを含む必修科目11単位以上(基礎科目を除く)。
- (3年次から4年次) [卒業研究履修資格]
 - 3年次終了までに、次の単位を含めて学則所定の「卒業要件単位数」のうち100単位以上を修得した者。
 - (1)電気電子情報実験Ⅲを含む必修科目26単位以上(基礎科目を除く)。

[知能ロボティクスプログラム及び生活・環境デザイン工学プログラム]

- 1 プログラム申請：2年次の第3セメスターの開始時に学科で実施するプログラム申請に基づき決定する。

[学外単位認定制度]

- 学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位数に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。
- 1 本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
 - 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
 - 3 横浜市内大学間又は協定に基づく国内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。
 - 4 派遣交換留学等により派遣先大学で修得した単位の内、帰国後本学における審査を経て本学の単位として認定された単位。

[卒業要件]

- 1 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

共通教養科目								専攻科目							合計		
共通基盤科目						共通テーマ科目	共通教養科目合計	基礎科目	必修科目	倫理科目	選択科目			専攻科目合計			
初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野					現代社会と市民	専門基礎科目	専門科目			関連科目	
													知能ロボティクス				【分野横断教育プログラム】 生活・環境デザイン工学
															24		
2	8		4	4	4	2	2	17	42	2	11		96	128			
						6	32										

- 2 基礎科目については、「力学Ⅰ」「力学Ⅱ」「物理学実験A」「相対論」「熱力学」のうち、6単位以上を修得しなければならない。
- 3 共通教養科目については、次の単位を含めて32単位以上修得すること。
 - (1)初年次ゼミナール2単位(必修)。
 - (2)外国語科目については、必修科目としての英語を8単位修得しなければならない。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者(帰国生徒等)は申請により、英語8単位のうち4～6単位を日本語とすることができる。
 - (3)人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上。
 - (4)人間形成の分野から2単位以上。
 - (5)共通テーマ科目から2単位以上。
 - (6)教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。また、自然の分野で卒業要件にできるのは、6単位以下である。
- 4 倫理科目の「情報と倫理」、「技術者倫理」から、2単位以上を修得しなければならない。
- 5 専門基礎科目11単位以上を含め、選択科目合計で35単位以上を修得しなければならない。なお、選択科目の「分野横断教育プログラム(知能ロボティクス) ■印」または「分野横断教育プログラム(生活・環境デザイン工学) ▲印」については、10単位まで卒業要件単位数に換算できる。ただし、下記の科目は選択科目の専門科目単位数に総計8単位まで換算できる。
 - (1)倫理科目のうち2単位を超える科目
 - (2)卒業要件単位数を超える基礎科目
 - (3)関連科目および、他学部・他学科開講の専攻科目
 - (4)必修科目としての英語8単位以外に修得した外国語科目の単位。ただし、同一言語につき換算できる単位は2単位までとする。
 - (5)資格教育課程の「教育の基礎的理解に関する科目等(各教科の指導法を含む)」(教職課程本登録者を対象とする)

(17) 工学部 経営工学科 専攻科目

授 業 科 目 の 名 称		授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
基礎科目	必修科目	線形代数Ⅰ(行列)Ⅰ	1	2			8
	線形代数Ⅱ(線形空間)Ⅱ	1	2				
基礎科目	選択科目	物理学Ⅲ	1		2		2
	情報処理Ⅲ	1		1			
基礎科目	物理学Ⅲ	2		2		2	
	物理学Ⅲ	2		2			
必修科目	経営工学総論Ⅰ	1	2			38	
	確率統計Ⅰ	1	2				
	プログラミング演習Ⅰ	1	1				
	アカウンティンクⅠ	1	2				
	確率統計Ⅱ	1	2				
	プログラミング演習Ⅱ	1	1				
	生産管Ⅱ	2	2				
	オペレーションズ・リサーチⅡ	2	2				
	システムの工学Ⅱ	2	2				
	人間の工学基礎Ⅱ	2	2				
	技術者倫理Ⅱ	2	2				
	サプライチェーンマネジメントⅡ	2	2				
	企業情報分析Ⅱ	2	2				
	経営工学実験Ⅱ	3	2				
経営工学実験Ⅱ	3	2					
卒業研究Ⅱ	4	4					
卒業研究Ⅱ	4	4					
専攻科目	選択必修科目	経営工学輪講Ⅲ	3		2	6	
	グローバル社会実習Ⅲ	3		2			
	経営工学輪講Ⅲ	3		2			
	グローバル社会実習Ⅲ	3		2			
	輪講Ⅲ	4		1			
選択科目	A群(グローバル系)	国際コミュニケーションⅠ	1		2	8	
	国際経営学Ⅰ	1		2			
	国際コミュニケーションⅡ	1		2			
	英語ディスカッションⅡ	2		2			
	システムデザインⅡ	2		1			
	工業中国語初級Ⅱ	2		2			
	事例研究Ⅱ	2		2			
	B群(経営デザイン系)	ビジネスデータサイエンスⅡ	2		1	18	
	知的財産Ⅱ	3		2			
	キャリアデザインⅡ	3		1			
	管理会計Ⅱ	2		2			
	コストマネジメントⅡ	2		2			
	最適化Ⅱ	2		2			
	工業エンジニアリングⅡ	2		2			
品質管理Ⅱ	2		2				
マーケティングⅡ	3		2				
生産システム最適化Ⅱ	3		2				
組立最適化Ⅱ	3		2				
組織工学Ⅱ	3		2				
経営情報システムⅡ	3		2				
レベニューマネジメントⅡ	3		2				
技術マネジメントⅡ	3		2				
環境マネジメントⅡ	3		2				
イノベーションマネジメントⅡ	3		2				

授 業 科 目 の 名 称				授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			卒 業 要 件 単 位 数	
					必 修	選 択	自 由		
専攻科目	選 択 科 目	C群 (社会デザイン系)	多変量解析	2		2		8	18
			システム分析・設計	2		2			
			マクロアーゴノミクス	2		2			
			意思決定論	2		2			
			情報工學	2		2			
			メカニカルドローイング・CAD	3		2			
			プロジェクトマネジメント	3		2			
			知識工學	3		2			
			製品サービスシステム	3		2			
			ユーザーインタフェース	3		2			
	ヒューマンプロセッシング	3		2					
	メカニカルプロセス	3		2					
	サービスマネジメント	3		2					
	信頼性解析	3		2					
	UX/UIデザイン	3		2					
	【分野横断教育プログラム】 環境デザイン工学								
	情報システム基礎	2		2					
	デジタルシステム基礎	2		2					
	通信工学基礎	3		2					
組み込みシステム	3		2						
アルゴリズムとデータ構造	3		2						
通信ネットワーク工學	3		2						
情報ネットワーク工學	3		2						
知能情報工學	3		2						
関 連 科 目	化学基礎 I	1		2					
	化学基礎 II	1		2					
	情報倫理	1		2					
	情報職業	1		2					
	微分方程式 I (工業)	2		2					
	微分方程式 II (工業)	2		2					
	職業指導 I (工業)	2		2					
	職業指導 II (工業)	2		2					
	代数学 I	3		2					
	代数学 II	3		2					
社会法概説 I	4		2						
社会労働法 I	4		2						
社会労働法 II	4		2						

【履修要件】

- 1 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 2 上位年次の授業科目は履修できない。ただし、関連科目について2年次からこの制限を設けない。
- 3 他学部他学科開講科目の授業科目を履修する場合は、受講者数に制限があるので、担任者の許可が必要である。
- 4 受講するクラスが指定されている授業科目は、授業時間割表の指示に従って受講すること。
- 5 専攻科目の中には履修資格や人数を制限する科目がある。なお、選択科目D群「分野横断教育プログラム（生活・環境デザイン工学）▲」については、生活・環境デザイン工学プログラムに登録した場合に限り、これを履修することができる。
- 6 1年間に履修できる単位数は、48単位を上限とし、かつ各セメスターに履修できる上限は24単位とする。ただし、卒業要件単位数に算入されない資格教育課程に関する科目については、この制限を適用しない。
- 7 「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」「輪講Ⅰ・Ⅱ」については、それぞれの先行科目（ローマ数字の値が小さい科目）の単位を修得している場合に限って、後続科目の履修を許可する。
- 8 「グローバル社会実習」は、本学の派遣交換留学制度を利用した者に限り単位認定を受けることができる。

【進級要件】

卒業要件単位数に算入されない資格教育課程に関する科目の単位数は総単位数に含めない。

（1年次から2年次）

- 1 1年次終了までに、初年次ゼミナールの単位及び必修科目5単位以上（基礎科目を除く）を含め、総単位数で26単位以上を修得していなければならない。

（2年次から3年次）

- 2 2年次終了までに、必修科目16単位以上（基礎科目を除く）を含め、総単位数で64単位以上を修得していなければならない。

（3年次から4年次）

- 3 3年次終了までに、「経営工学輪講A・B」「グローバル社会実習A・B」から4単位以上の単位を修得し、かつ総単位数で100単位以上を修得していなければならない。

【生活・環境デザイン工学プログラム】

- 1 プログラム申請：2年次の第3セメスターの開始時に学科で実施するプログラム申請に基づき決定する。

【学外単位認定制度】

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位数に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催、または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間の単位互換又は協定に基づく国内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。
- 4 派遣交換留学等により派遣先大学で修得した単位の内、帰国後本学における審査を経て本学の単位として認定された単位。

【卒業要件】

- 1 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

共通教養科目							専攻科目						専攻科目合計	合計			
共通基盤科目				共通テーマ科目			基礎科目		必修科目	選択必修科目	選択科目						
初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	現代社会と市民	必修科目			選択科目	A群 (グローバルエンジニア系)			B群 (経営デザイン系)	C群 (社会デザイン系)	D群 【分野横断教育プログラム】 (生活・環境デザイン工学)
2	8		4	4	4	2	2	8	2	38	6	8	8	8	18	96	128
6							32										

- 2 共通教養科目については、次の単位を含めて32単位以上修得すること。
 - (1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。
 - (2) 外国語科目については、必修科目として「実用英語Ⅰ～Ⅳ」を含め、英語を8単位修得しなければならない。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上。
 - (5) 共通テーマ科目から2単位以上。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
- 3 選択科目から次の単位を含めて42単位以上修得しなければならない。
 - (1) A群（グローバルエンジニア系）から8単位以上。
 - (2) B群（経営デザイン系）から8単位以上。
 - (3) C群（社会デザイン系）から8単位以上。
 - (4) 上記(1)～(3)の他に選択科目から18単位以上。
- 4 専攻基礎科目で、「卒業要件単位数」を超える単位は、関連科目の単位に換算できる。
- 5 他学部、他学科開講の専攻科目及び必修としての英語8単位以外に修得した外国語の単位は「関連科目」に算入できる。ただし、外国語科目については、同一言語につき換算できる単位は2単位までとする。
- 6 関連科目は上記4、5の単位を含めて、8単位までを、上記3(4)の選択科目に換算できる。
- 7 資格教育課程に関する科目の単位は、卒業要件単位数に含めない。

(18) 工学部 応用物理学科 専攻科目

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専攻科目	専門基礎必修科目	解析Ⅰ	1	2		24単位	
	線形代数Ⅰ(行列)	1	2				
	力学Ⅰ	1	2				
	解析Ⅱ	1	2				
	線形代数Ⅱ(線形空間)	1	2				
	力学Ⅱ	1	2				
	物理学実験A	1	2				
	解析Ⅲ	2	2				
	電磁気学Ⅰ	2	2				
	電磁気学Ⅱ	2	2				
	工学英語Ⅰ	3	2				
	工学英語Ⅱ	3	2				
	専門基礎選択科目	力学演習Ⅰ	1		1	8単位	
	化学基礎A	1		2			
	力学演習Ⅱ	1		1			
	物理数学	1		2			
生物学概論A	1		2				
確率・統計Ⅰ	2		2				
微分方程式Ⅰ	2		2				
電磁気学演習Ⅰ	2		1				
確率・統計Ⅱ	2		2				
微分方程式Ⅱ	2		2				
電磁気学演習Ⅱ	2		1				
熱力学	2		2				
地学実験	2		1				
相対論	3		2				
専門必修科目	応用物理学入門	1	2		30単位		
情報処理	1	2					
プログラミングⅠ	1	2					
デジタル・アナログ回路	2	2					
プログラミングⅡ	2	2					
物理計測学	2	2					
データサイエンス・ラボラトリー	2	2					
応用物理学実験A	3	2					
応用物理学演習A	3	1					
応用物理学実験B	3	2					
応用物理学演習B	3	1					
卒業研究	4	8					
応用物理学演習C	4	2					
専門選択科目	振動・波動	2		2	24単位	専門選択科目及び関連科目8単位	
電気回路	2		2				
材料力学Ⅰ	2		2				
メカニカルデザイン	2		2				
光学計測	2		2				
宇宙科学	2		2				
材料物性学	2		2				
グローバル社会実習	2		2				
流体力学Ⅰ	2		2				
ロケット工学	2		2				
宇宙物理学	3		2				
放射線計測	3		2				
宇宙環境工学	3		2				

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専攻科目	専門選択科目	半導体デバイス	3	2		24単位	専門選択科目及び関連科目8単位
		量子物理学	3	2			
		統計物理学Ⅰ	3	2			
		ナノ物質科学	3	2			
		数値計算アルゴリズム	3	2			
		知能工学Ⅰ	3	2			
		流体力学Ⅱ	3	2			
		機械材料	3	2			
		工業熱力学Ⅱ	3	2			
		観測天文学	3	2			
		衛星システム工学	3	2			
		放射線シミュレーション	3	2			
		固体物理学	3	2			
		量子技術	3	2			
		統計物理学Ⅱ	3	2			
		分子シミュレーション	3	2			
		数値シミュレーション	3	2			
		知能工学Ⅱ	3	2			
	ロケットエンジン	3	2				
	関連科目	関数論Ⅰ	2		2		
		総合化学実験	2		1		
		総合生物学実験	2		1		
		関数論Ⅱ	2		2		
		電子回路Ⅰ	2		2		
		技術者倫理	3		2		
		代数学Ⅰ	3		2		
		電子回路Ⅱ	3		2		
エネルギー工学		3		2			
電子デバイス		3		2			
知的財産権	3		2				
代数学Ⅱ	3		2				

〔履修要件〕

- 1 同一授業科目を重複して履修することはできない。
- 2 原則として、上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 3 他学部、他学科開講の授業科目を履修する場合には、受講者数に制限があるので担任者の許可が必要である。他学部、他学科が受講を認めない科目を履修することはできない。
- 4 履修科目の登録の上限は、1学期で24単位とする（通年科目については、その科目の単位数を2で除して得た数を、各学期の単位数として換算する。）。

〔進級要件〕

- 1 1年次から2年次
1年次終了までに、卒業要件単位数のうち、初年次ゼミナール2単位を含めて22単位以上を修得しなければならない。
- 2 2年次から3年次
2年次終了までに、卒業要件単位数のうち、60単位以上を修得しなければならない。
- 3 3年次から4年次
3年次終了までに、卒業要件単位数のうち106単位以上を修得しなければならない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各学期の履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続により認定された単位
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位

〔卒業要件〕

- 1 4年以上在学し、次表の卒業要件単位数を修得しなければならない。

科目区分	共通教養科目								専攻科目					合計			
	共通基盤科目							共通テーマ科目	共通教養科目合計	専門基礎必修科目	専門基礎選択科目	専門必修科目	専門選択科目		関連科目	専攻科目合計	
	初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野										現代社会と市民
単位数	2	8		4	4	4	2	2	32	24	8	30	24		8	94	126

（共通教養科目）

- 2 共通教養科目から、共通基盤科目（1）から（4）までと共通テーマ科目（5）を含む32単位以上を修得しなければならない。
 - （1）初年次ゼミナール2単位
 - （2）外国語科目から英語（必修）8単位
 - （3）人文・社会・自然の分野からそれぞれ4単位以上
 - （4）人間形成の分野から2単位以上
 - （5）現代社会と市民から2単位以上

（専攻科目）

- 3 専攻科目から、次の（1）から（5）の条件を満たす94単位以上を修得しなければならない。
 - （1）専門基礎必修科目24単位（必修）
 - （2）専門基礎選択科目8単位以上
 - （3）専門必修科目30単位（必修）
 - （4）専門選択科目24単位以上
 - （5）関連科目及び（4）の規定単位数を超えて8単位以上

(19) 建築学部 建築学科 専攻科目

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
			必修	選択	自由	
専攻科目 専門科目	建築グラフィックス	1	3			3
	建築の構工法	1	2			2
	住生活創造概論	1	2			2
	力と形	1	1			1
	建築環境概論	1	2			2
	日本建築史	1	2			2
	造形デザイン	1		2		
	設計製図Ⅰ	1	3			3
	西洋建築史	1	2			2
	建築の力学及び演習	1			3	
	建築の設備	1			2	
	横浜建築	1			2	
	建築CAD演習Ⅰ	1			2	
	工房ものづくり演習	1			2	
	建築構造デザイン	2			2	
	地域防災概論	2			2	
	建築環境工学Ⅰ及び演習	2			3	
	設計製図Ⅱ	2	3			3
	建築の計画とデザイン	2	2			2
	まち再生概論	2	2			2
	建築の材料	2			2	
	断面と部材の力学及び演習	2			3	
	給排水衛生設備	2			2	
	木質構造	2			2	
	建築CAD演習Ⅱ	2			2	
	建築デザイン特別講義	2			2	
	建築環境工学Ⅱ及び演習	2			3	
	空調設備Ⅰ	2			2	
	骨組の力学及び演習	2			3	
	近現代建築史A	2			2	
	まちづくり論	2			2	
	まち再生演習Ⅰ	2			3	
	デザイン系不動産学基礎	2			2	
	地球環境建築	2			2	
	建築情報処理	2			1	
	鉄筋コンクリート構造	2			2	
	基礎構造の設計演習	2			2	
	建築デザインⅠ	2			3	
	生活空間デザイン演習Ⅰ	2			3	
	居住空間史	2			2	
	インテリア・家具デザイン	2			2	
	建築法規	3	2			2
	建築技術英語Ⅰ	3	1			1
	給排水衛生設備設計演習	3			2	
	建築環境輪講Ⅰ	3			1	
	建築学実験	3			2	
	空調設備Ⅱ	3			2	
建築デザインⅡ	3			3		
建築設計論	3			2		
まち再生輪講Ⅰ	3			1		
まち再生演習Ⅱ	3			3		
まちなみ保存再生論	3			2		
鉄筋コンクリート構造の設計演習	3			2		
建築構造輪講Ⅰ	3			1		
建築都市防災	3			2		
建築デザイン輪講Ⅰ	3			1		

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
			必修	選択	自由	
専攻科目	鋼構造	3		2		専攻科目群から必修科目36単位を含み93単位以上
	建築の耐震解析及び演習	3		3		
	住生活創造輪講Ⅰ	3		1		
	住宅設計論	3		2		
	生活空間デザイン演習Ⅱ	3		3		
	近現代建築史B	3		2		
	生活緑地デザイン	3		2		
	都市計画	3		2		
	建築の生産	3		2		
	建築技術英語Ⅱ	3	1			
	空気調和設備設計演習	3		2		
	建築保存活用計画論	3		2		
	まち再生輪講Ⅱ	3		1		
	まち再生演習Ⅲ	3		3		
	パブリックスペース論	3		2		
	建築環境輪講Ⅱ	3		1		
	建築環境工学実験	3		1		
	電気設備	3		2		
	建築デザインⅢ	3		3		
	都市デザイン論	3		2		
	建築構造輪講Ⅱ	3		1		
	建築デザイン輪講Ⅱ	3		1		
	建築構造・材料実験	3		1		
	鋼構造の設計演習	3		2		
	生活環境論	3		2		
	住生活創造輪講Ⅱ	3		1		
	生活空間デザイン演習Ⅲ	3		3		
	建築・生活メディア論	3		2		
	都市空間マネジメント論	3・4		2		
	ローカル不動産マネジメント論	3・4		2		
	建築設備のマネジメント	3・4		2		
	建築史フィールドワーク	3・4		2		
	生活文化フィールドワーク	3・4		2		
まち再生演習Ⅳ	4		3			
卒研輪講Ⅰ	4	1				
卒研輪講Ⅱ	4	1				
卒業研究Ⅰ	4	3				
卒業研究Ⅱ	4	3				
基礎科目	微分積分学A	1		4		
	幾何学A	1		2		
	微分積分学入門	1		4		
	情報処理演習Ⅰ	1		1		
	物理学概説	1		4		
	建築物理数学	1		2		
	近代デザイン史	1		2		
	微分積分学B	1・2		4		
	物理学A	1		2		
	幾何学B	1		2		
	家族・コミュニティ論	1		2		
	都市フィールド学	1		2		
	物理学実験A	2		2		
	確率・統計Ⅰ	2		2		
	物理学B	2		2		
	化学実験A	2		2		
	化学基礎Ⅰ	2		2		
	現代アート論	2		2		
	環境心理学	2		2		
	代数学概論	2		2		
	物理学Ⅲ	2		2		
	化学基礎Ⅱ	2		2		
	物理学Ⅳ	3		2		

授業科目の名称		授業を行 う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
			必修	選択	自由	
専攻科目 関連科目	職業指導Ⅰ(工業)	2・3・4		2		
	応用数学Ⅰ	2・3・4		2		
	職業指導Ⅱ(工業)	2・3・4		2		
	代数学Ⅰ	2・3・4		2		
	微分方程式Ⅰ	2・3・4		2		
	代数学Ⅱ	2・3・4		2		
	微分方程式Ⅱ	2・3・4		2		
	技術者倫理	2・3・4		2		
	知的財産権	2・3・4		2		
	確率・統計Ⅱ	2・3・4		2		
	応用数学Ⅱ	2・3・4		2		
	関数論Ⅰ	2・3・4		2		
	量子物理学Ⅰ	2・3・4		2		
	統計物理学Ⅰ	2・3・4		2		
	関数論Ⅱ	2・3・4		2		
	理工学A	2・3・4		2		
理工学B	2・3・4		2			

【履修要件】

- 1 同一授業科目を重複して履修することはできない。
- 2 上位年次の授業科目を履修することはできない。ただし、関連科目においては2年次から、専門選択科目においては3年次から、この制限を設けない。
- 3 他学部、他学科開講の授業科目を履修する場合には、受講者数に制限があるので担任者の許可が必要である。他学部、他学科が受講を認めない科目については履修できない。
- 4 1年間に履修できる単位数は、48単位を上限とし、かつ各セメスターに履修できる上限は24単位とする（通年科目については、その科目の単位数を二分割し、各セメスターの単位数として換算する。）。

【進級要件】

(1年次から2年次)

1年次終了までに、卒業要件単位数のうち、初年次ゼミナール2単位及び1年次履修の専門必修科目10単位を含む26単位以上を修得しなければならない。

(3年次から4年次)

必要単位数：卒業要件単位数のうち、別途定める必要修得科目を含めて100単位以上。ただし、編入学者に対しては別途認定する。

【学外単位認定制度】

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。

なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続により認定された単位。
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

【卒業要件】

- 1 4年以上在学し、次表の卒業要件単位数を修得しなければならない。

授業科目	共通教養科目								専攻科目				合計		
	共通基盤科目						共通テーマ科目	共通教養科目合計	専門科目			専攻科目合計			
	初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野			人間形成の分野	現代社会と市民	必修科目			選択科目	選択科目
単位数	2	8		4	4	4	2	2	32	36	57			93	125

(共通教養科目)

- 2 共通教養科目については、次の単位を含めて32単位以上修得すること。
 - (1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。
 - (2) 外国語科目は英語を8単位以上修得すること。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上。ただし、「キャリアデザイン」及び「国内インターンシップ」の単位は、卒業要件単位数に算入できない。
 - (5) 共通テーマ科目から2単位以上。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。

(専攻科目)

- 3 専攻科目については、次の単位を含めて93単位以上修得すること。
- 4 専門科目から必修科目36単位以上修得すること。
- 5 本学科が履修上の区分に応じて別に定める要件に従い、専門科目、基礎科目及び関連科目から57単位以上を修得すること。

(20) 化学生命学部 応用化学科 専攻科目

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数		
			必修	選択	自由			
学部 共通 科目	物理学概論	1		2		10単位 (※印の 選択科目 から4単位 を含む)		
	解析入門	1		2				
	線形代数Ⅰ(行列)	1		2				
	化学生命学概論Ⅰ	1	2					
	解析Ⅰ	1		2				
	線形代数Ⅱ(線形空間)	1		2				
	化学生命学概論Ⅱ	1	2					
	科学情報処理	1	2					
	地学Ⅰ	2		2				
	解析Ⅱ	2		2				
	化学生命SDGs論	2		2				※
	地学Ⅱ	2		2				
	化学生命キャリアデザイン	2		2				※
	総合物理学実験	3		1				
	知的財産権	3		2				※
科学と産業	3		2		※			
専攻 科目	物理化学Ⅰ	1	2			44単位	左欄の卒 業要件単 位数を含 む96単位	
	分析化学	1	2					
	化学概論	1	2					
	物理化学Ⅱ	1	2					
	有機化学Ⅰ	1	2					
	基礎化学実験	1	2					
	有機化学Ⅱ	2	2					
	無機化学Ⅰ	2	2					
	応用化学実験	2	4					
	物理化学演習	2	2					
	無機化学Ⅱ	2	2					
	応用化学専修実験	3	4					
	無機化学演習	3	2					
	応用化学輪講Ⅰ	3	2					
	応用化学研究Ⅰ	4	4					
応用化学輪講Ⅱ	4	2						
応用化学研究Ⅱ	4	4						
応用化学輪講Ⅲ	4	2						
学科 選択 科目	生活化学Ⅰ	1		2		学科選択 科目から 20単位		
	基礎生物学概論	1		2				
	基礎生物学実験	1		2				
	生活化学Ⅱ	2		2				
	香粧化学	2		2				
	分析化学演習	2		2				
	有機反応論	2		2				
	量子化学	2		2				
	触媒化学	2		2				
	配位化学	2		2				
	生命機能学実験	2		4				
	機器分析A	3		2				
	高分子科学Ⅰ	3		2				
	基礎電気化学	3		2				
	無機材料工学	3		2				
有機化学演習	3		2					

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専攻科目	学科選択科目	機器分析B	3		2		学科選択科目から20単位
		高分子科学Ⅱ	3		2		
		分子機能材料	3		2		
		立体有機化学	3		2		
		エネルギー化学	3		2		
		関連科目	遺伝学	1		2	左欄の卒業要件単位数を含む96単位
		動物生理学	1		2		
		生化学Ⅰ	1		2		
		食品化学	2		2		
		公衆衛生学	2		2		
		細胞生物学	2		2		
		生化学Ⅱ	2		2		
		食品栄養学	2		2		
		分子生物学	2		2		
		生化学演習	3		2		
		タンパク質工学	3		2		
		微生物学	3		2		
		植物生理学	3		2		
		有機医薬工業	3		2		
		生物有機化学	3		2		
	食品衛生学	3		2			
	環境化学	3		2			

〔履修要件〕

- 1 同一授業科目を重複して履修することはできない。
- 2 原則として、上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 3 他学部、他学科開講の授業科目を履修する場合には、受講者数に制限があるので担任者の許可が必要である。他学部、他学科が受講を認めない科目を履修することはできない。
- 4 履修科目の登録の上限は、1学期で24単位とする（通年科目については、その科目の単位数を2で除して得た数を、各学期の単位数として換算する。）。

〔進級要件〕

教育課程表に記載されていない資格教育課程の科目の単位は、進級要件の総単位数に含めない。ただし、教職課程本登録者が修得した工学部応用物理学科開講の「地学実験」（1単位）は進級要件の総単位数に含めることができる。

- 1 1年次から2年次
1年次終了までに、卒業要件単位数のうち、初年次ゼミナール2単位並びに学部共通科目及び学科必修科目から8単位以上を含む20単位以上を修得しなければならない。
- 2 2年次から3年次
2年次終了までに、卒業要件単位数のうち、1年次及び2年次の外国語科目の英語（必修）から各2単位以上並びに学部共通科目及び学科必修科目から20単位以上（1年次及び2年次の必修実験科目6単位を含む）を含む62単位以上を修得しなければならない。
- 3 3年次から4年次
3年次終了までに、卒業要件単位数のうち、外国語科目の英語（必修）8単位、3年次の必修実験科目4単位及び「輪講Ⅰ」2単位を含む104単位以上を修得しなければならない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。

なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各学期の履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続により認定された単位
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位

〔卒業要件〕

- 1 4年以上在学し、次表の卒業要件単位数を修得しなければならない。

科目区分	共通教養科目								専攻科目						合計		
	共通基盤科目							共通テーマ科目	学科必修科目	学部共通科目（必修）	学部共通科目（選択必修）	学部共通科目（選択）	学科選択科目	関連科目		専攻科目合計	
	初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野										現代社会と市民
単位数	2	8		4	4	4		2							32		44
		8									22						

（共通教養科目）

- 2 共通教養科目から、共通基盤科目（1）から（3）までと共通テーマ科目（4）を含む32単位以上を修得しなければならない。
 - （1）初年次ゼミナール2単位
 - （2）外国語科目から英語（必修）8単位
 - （3）人文・社会・自然の分野からそれぞれ4単位以上
 - （4）現代社会と市民から2単位以上

（専攻科目）

- 3 専攻科目から、次の（1）から（3）までを含む96単位以上を修得しなければならない。
 - （1）学部共通科目から必修科目6単位及び選択必修科目4単位を含む10単位以上
 - （2）学科必修科目から44単位
 - （3）学科選択科目から20単位以上
- 4 教育課程表に記載されていない資格教育課程の科目の単位は、卒業要件単位数に含めない。ただし、教職課程本登録者が修得した工学部応用物理学科開講の「地学実験」（1単位）は「関連科目」に算入できる。

(21) 化学生命学部 生命機能学科 専攻科目

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数		
			必修	選択	自由			
学部 共通科目	物理学概論	1		2		10単位 (※印の 選択科目 から4単位 を含む)		
	解析入門	1		2				
	線形代数Ⅰ(行列)	1		2				
	化学生命学概論Ⅰ	1	2					
	科学情報処理	1	2					
	解析Ⅰ	1		2				
	線形代数Ⅱ(線形空間)	1		2				
	化学生命学概論Ⅱ	1	2					
	地学Ⅰ	2		2				
	解析Ⅱ	2		2				
	化学生命SDGs論	2		2				※
	地学Ⅱ	2		2				
	化学生命キャリアデザイン	2		2				※
	総合物理学実験	3		1				
	知的財産権	3		2				※
	科学と産業	3		2				※
	専攻科目	学科 必修科目	遺伝学	1	2			
生物学概論			1	2				
生化学Ⅰ			1	2				
有機化学Ⅰ			1	2				
基礎生物学実験			1	2				
有機化学Ⅱ			2	2				
細胞生物学			2	2				
生化学Ⅱ			2	2				
分子生物学			2	2				
生命機能学実験			2	4				
生化学演習			3	2				
生命機能学専修実験			3	4				
有機化学演習			3	2				
生命機能学輪講Ⅰ			3	2				
生命機能学研究Ⅰ			4	4				
生命機能学輪講Ⅱ			4	2				
生命機能学研究Ⅱ			4	4				
生命機能学輪講Ⅲ	4	2						
専攻科目	学科 選択科目	動物生理学	1		2	選択科目 から20単位		
		生活化学Ⅰ	1		2			
		分析化学	1		2			
		基礎化学概論	1		2			
		基礎化学実験	1		2			
		生活化学Ⅱ	2		2			
		応用化学実験	2		4			
		食品化学	2		2			
		公衆衛生学	2		2			
		香粧化学	2		2			
		分析化学演習	2		2			
		食品栄養学	2		2			
		有機反応論	2		2			
		タンパク質工学	3		2			
		微生物学	3		2			
		植物生理学	3		2			
		生物有機化学	3		2			

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専攻科目	学科選択科目	有機医薬工業	3		2		選択科目から20単位
		機器分析B	3		2		
		食品衛生学	3		2		
		環境化学	3		2		
		関連科目	物理化学Ⅰ	1		2	左欄の卒業要件単位数を含む96単位
			物理化学Ⅱ	1		2	
			無機化学Ⅰ	2		2	
			無機化学Ⅱ	2		2	
			量子化学	2		2	
			触媒化学	2		2	
			配位化学	2		2	
			物理化学演習	2		2	
			無機化学演習	3		2	
			高分子科学Ⅰ	3		2	
			基礎電気化学	3		2	
			無機材料工学	3		2	
			機器分析A	3		2	
			高分子科学Ⅱ	3		2	
			分子機能材料	3		2	
			立体有機化学	3		2	
		エネルギー化学	3		2		

【履修要件】

- 1 同一授業科目を重複して履修することはできない。
- 2 原則として、上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 3 他学部、他学科開講の授業科目を履修する場合には、受講者数に制限があるので担任者の許可が必要である。他学部、他学科が受講を認めない科目を履修することはできない。
- 4 履修科目の登録の上限は、1学期で24単位とする（通年科目については、その科目の単位数を2で除して得た数を、各学期の単位数として換算する。）。

【進級要件】

教育課程表に記載されていない資格教育課程の科目の単位は、進級要件の総単位数に含めない。ただし、教職課程本登録者が修得した工学部応用物理学科開講の「地学実験」（1単位）は進級要件の総単位数に含めることができる。

- 1 1年次から2年次
1年次終了までに、卒業要件単位数のうち、初年次ゼミナール2単位並びに学部共通科目及び学科必修科目から8単位以上を含む20単位以上を修得しなければならない。
- 2 2年次から3年次
2年次終了までに、卒業要件単位数のうち、1年次及び2年次の外国語科目の英語（必修）から各2単位以上並びに学部共通科目及び学科必修科目から20単位以上（1年次及び2年次の必修実験科目6単位を含む）を含む62単位以上を修得しなければならない。
- 3 3年次から4年次
3年次終了までに、卒業要件単位数のうち、外国語科目の英語（必修）8単位、3年次の必修実験科目4単位及び「輪講Ⅰ」2単位を含む104単位以上を修得しなければならない。

【学外単位認定制度】

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。

なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各学期の履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続により認定された単位
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位

【卒業要件】

- 1 4年以上在学し、次表の卒業要件単位数を修得しなければならない。

科目区分	共通教養科目								専攻科目						合計		
	共通基盤科目							共通テーマ科目	共通教養科目合計	学科必修科目	学部共通科目（必修）	学部共通科目（選択必修）	学部共通科目（選択）	学科選択科目		関連科目	専攻科目合計
	初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野										
単位数	2	8		4	4	4		2	32	44	6	4		20		96	128
		8									22						

（共通教養科目）

- 2 共通教養科目から、共通基盤科目（1）から（3）までと共通テーマ科目（4）を含む32単位以上を修得しなければならない。
 - （1）初年次ゼミナール2単位
 - （2）外国語科目から英語（必修）8単位
 - （3）人文・社会・自然の分野からそれぞれ4単位以上
 - （4）現代社会と市民から2単位以上

（専攻科目）

- 3 専攻科目から、次の（1）から（3）までを含む96単位以上を修得しなければならない。
 - （1）学部共通科目から必修科目6単位及び選択必修科目4単位を含む10単位以上
 - （2）学科必修科目から44単位
 - （3）学科選択科目から20単位以上
- 4 教育課程表に記載されていない資格教育課程の科目の単位は、卒業要件単位数に含めない。ただし、教職課程本登録者が修得した工学部応用物理学科開講の「地学実験」（1単位）は「関連科目」に算入できる。

(22) 情報学部 計算機科学科 専攻科目

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専攻科目	必修科目	概論	計算機科学概論	1	2		46単位
		情報基盤と情報倫理	1	2			
		計算機システム基礎	2	2			
		基礎	離散数学Ⅰ	1	2		
			離散数学Ⅰ演習	1	2		
			離散数学Ⅱ	1	2		
			離散数学Ⅱ演習	1	2		
			確率統計学	2	2		
			アルゴリズム論	2	2		
		プログラミング	情報科学リテラシー	1	4		
			プログラミングA	1	2		
			プログラミングA演習	1	4		
	プログラミングB		2	4			
	プロジェクト	計算機科学実験	2	2			
		情報ゼミナール	3	2			
		輪講Ⅰ	4	1			
		卒業研究Ⅰ	4	4			
		輪講Ⅱ	4	1			
		卒業研究Ⅱ	4	4			
	選択必修科目	応用	データベースシステム	2		2	14単位
計算機アーキテクチャ			2		2		
オペレーティングシステム			2		2		
ソフトウェア工学			2		2		
情報システム論			3		2		
情報セキュリティ			3		2		
人工知能Ⅰ			3		2		
コンピュータネットワーク			3		2		
選択科目	概論	情報職業論	2		2	選択科目から 32単位	
		情報英語	3		2		
	基礎	オートマトン理論	2		2		
		算譜言語論	3		2		
		情報理論	3		2		
		コンパイラ	3		2		
		解析Ⅰ	1		2		
		線形代数Ⅰ(行列)	1		2		
		数学演習Ⅰ	1		2		
		解析Ⅱ	1		2		
		線形代数Ⅱ(線形空間)	1		2		
		数学演習Ⅱ	1		2		
		解析Ⅲ	2		2		
		線形代数Ⅲ(標準形)	2		2		
		代数学Ⅰ	2		2		
		幾何学Ⅰ	2		2		
		確率論Ⅰ	2		2		
		微分方程式論Ⅰ	2		2		
		複素関数論Ⅰ	2		2		
		代数学Ⅱ	2		2		
幾何学Ⅱ	2		2				
確率論Ⅱ	2		2				
微分方程式論Ⅱ	3		2				

授 業 科 目 の 名 称		授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			卒 業 要 件 単 位 数
			必 修	選 択	自 由	
専 攻 科 目	選 択 科 目	プログラミング 関数型プログラミング	2		2	選 択 科 目 か ら 32 単 位
		オブジェクト指向プログラミング	3		2	
	応 用	情報検索	2		2	
		自然言語解析	3		2	
		画像情報処理	3		2	
		コンピュータグラフィックス	3		2	
		情報科学特論Ⅰ	3		1	
		情報科学特論Ⅱ	3		1	
		人工知能Ⅱ	3		2	
		情報科学特論Ⅲ	3		1	
		情報科学特論Ⅳ	3		1	
		クラブ トピ ク	計算機科学発展演習	3		

〔履修要件〕

- 1 同一授業科目を重複して履修することはできない。
- 2 原則として、上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 3 他学部、他学科開講の授業科目を履修する場合には、受講者数に制限があるので担任者の許可が必要である。他学部、他学科が受講を認めない科目を履修することはできない。
- 4 履修科目の登録の上限は、1学期で24単位とする（通年科目については、その科目の単位数を2で除して得た数を、各学期の単位数として換算する。）。

〔進級要件〕

- 1 2年次から3年次
2年以上在学し、卒業要件単位数のうち、初年次ゼミナール2単位及び外国語科目の英語（必修）4単位を含む60単位以上を修得しなければならない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位数に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各学期の履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続により認定された単位
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位

〔卒業要件〕

- 1 4年以上在学し、次表の卒業要件単位数を修得しなければならない。

科目区分	共通教養科目								専攻科目				合計		
	共通基盤科目							共通テーマ科目	必修科目	選択必修科目	選択科目	専攻科目合計			
	初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	現代社会と市民							
単位数	2	8		4	4	4	2	2	32	46	14	32	92	124	
		6													

（共通教養科目）

- 2 共通教養科目から、共通基盤科目（1）から（4）までと共通テーマ科目（5）を含む32単位以上を修得しなければならない。
 - （1）初年次ゼミナール2単位
 - （2）外国語科目から英語（必修）8単位
 - （3）人文・社会・自然の分野からそれぞれ4単位以上
 - （4）人間形成の分野から2単位以上
 - （5）現代社会と市民から2単位以上

（専攻科目）

- 3 専攻科目から、次の（1）から（3）までを含む92単位以上を修得しなければならない。
 - （1）必修科目46単位
 - （2）選択必修科目から14単位以上
 - （3）選択科目から32単位以上

(23) 情報学部 システム数理学科 専攻科目

授業科目の名称			授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
				必修	選択	自由		
専攻科目	基礎科目	必修科目	解析Ⅰ	1	2		11単位	
			線形代数Ⅰ(行列)	1	2			
			解析Ⅱ	1	2			
			線形代数Ⅱ(線形空間)	1	2			
			情報処理演習Ⅰ	1	1			
			解析Ⅲ	2	2			
	必修科目			計算機概論Ⅰ	1	2		52単位
				論理学演習	1	2		
				システム数理概論	1	2		
				情報リテラシ演習	1	4		
				計算機概論Ⅱ	1	2		
				離散数学	1	2		
				離散数学演習	1	2		
				プログラミング技法Ⅰ	1	2		
				プログラミング技法Ⅰ演習	1	4		
				グラフ理論	2	2		
				確率統計学Ⅰ	2	2		
				プログラミング技法Ⅱ	2	2		
				プログラミング技法Ⅱ演習	2	2		
				確率統計学Ⅱ	2	2		
				アルゴリズムとデータ構造	2	2		
				技術者倫理	2	2		
				特別演習Ⅰ	3	2		
				知的財産権	3	2		
				特別演習Ⅱ	3	2		
				卒業研究Ⅰ	4	4		
	卒論ゼミⅠ	4	1					
	卒業研究Ⅱ	4	4					
	卒論ゼミⅡ	4	1					
	選択科目	(共通) A群		計算機概論Ⅲ	2		2	6単位
マルチメディア				2		2		
複素解析学				2		2		
情報理論				3		2		
データベースシステム				3		2		
ゲーム理論				3		2		
(高信頼システム) B群				情報論理学	2		2	6単位
				情報代数学	3		2	
				計算と論理	3		2	
				位相幾何学	3		2	
				位相と論理	3		2	
				システム検証	3		2	
(セキュアシステム) C群				オートマトンとコンパイラ	2		2	6単位
				情報セキュリティ	3		2	
	計算可能性			3		2		
	暗号理論			3		2		
	計算の複雑さ			3		2		
	プライバシー保護			3		2		

授業科目の名称			授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
				必修	選択	自由	
専攻科目	選択科目	(複雑知能システム) D群	システム工学	2		2	6単位
		人工知能	3		2		
		非線形数理	3		2		
		ベイズ理論	3		2		
		現場指向AIシステム論	3		2		
		機械学習	3		2		
		複雑系と生命数理	3		2		
		(データ分析システム) E群	数値解析	2		2	
	意思決定論	2		2			
	多変量解析	3		2			
	最適化数理	3		2			
	データマイニング	3		2			
	シミュレーション技法	3		2			
	科関連目連	情報と倫理	1			2	
情報と職業		1			2		

〔履修要件〕

- 1 同一授業科目を重複して履修することはできない。
- 2 原則として、上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 3 他学部、他学科開講の授業科目を履修する場合には、受講者数に制限があるので担任者の許可が必要である。他学部、他学科が受講を認めない科目を履修することはできない。
- 4 履修科目の登録の上限は、1学期で24単位とする（通年科目については、その科目の単位数を2で除して得た数を、各学期の単位数として換算する。）。

〔進級要件〕

- 1 1年次から2年次
1年次終了までに、卒業要件単位数のうち、初年次ゼミナール2単位を含む24単位以上を修得しなければならない。
- 2 2年次から3年次
2年次終了までに、卒業要件単位数のうち、「システム数理概論」2単位及び1年次履修の外国語科目の英語（必修）4単位を含む64単位以上を修得しなければならない。
- 3 3年次から4年次
3年次終了までに、卒業要件単位数のうち、「情報リテラシ演習」4単位及び「特別演習Ⅰ・Ⅱ」4単位を含む100単位以上を修得しなければならない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。
 なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各学期の履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続により認定された単位
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位

〔卒業要件〕

- 1 4年以上在学し、次表の卒業要件単位数を修得しなければならない。

科目区分	共通教養科目								専攻科目							専攻科目合計	合計			
	共通基盤科目							共通テーマ科目	基礎科目	必修科目	選択科目							関連科目		
	初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野				現代社会と市民	必修科目	A群	B群	C群				D群	E群
単位数	2	8		4	4	4	2	2	32	11	52	6	6	6	6	6		93	125	
		6																		

（共通教養科目）

- 2 共通教養科目から、共通基盤科目（1）から（4）までと共通テーマ科目（5）を含む32単位以上を修得しなければならない。
 - （1）初年次ゼミナール2単位
 - （2）外国語科目から英語（必修）8単位
 - （3）人文・社会・自然の分野からそれぞれ4単位以上
 - （4）人間形成の分野から2単位以上
 - （5）現代社会と市民から2単位以上

（専攻科目）

- 3 専攻科目から、次の（1）及び（2）を含む93単位以上を修得しなければならない。
 - （1）必修科目63単位
 - （2）選択科目のA群、B群、C群、D群、E群から各6単位以上